

科目ナンバリング： UGS002
授業形態： 講義
科目名： 日本国憲法
担当教員： 金子 匡良(KANEKO Masayoshi)

【授業の紹介】

この授業では、日本国憲法の土台をなす立憲主義およびそれを生み出した歴史的背景について理解した上で、日本国憲法の構造および主要な規定内容について学んでいく。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	

【到達目標】

この授業は、以下の事項を修得することを目標とする。
憲法の土台をなす立憲主義の内容について理解し、それを説明することができる。
立憲主義が誕生した歴史的背景と立憲主義の変遷について理解し、それを説明することができる。
日本国憲法の制定経緯について理解し、それを説明することができる。
日本国憲法の構造および主要な規定内容について理解し、それを説明することができる。
憲法の知識を通じて現代社会の諸問題を分析することができる。

【成績の評価】

成績評価は、定期試験の点数に基づいて行う（100％）。試験後に試験内容についてフィードバックを行う。

【使用テキスト】

なし。毎回の授業時に配布するプリントに基づいて授業を進める。

【参考文献】

長谷部恭男(解説)『日本国憲法』（岩波文庫、2019年）

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

国会議員政策担当秘書の実務経験がある。それを生かし、講義の中で憲法と現実政治との関連についても触れる。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	【憲法の意義と機能】 立憲主義の意義と憲法の規範構造について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
2	【憲法の歴史：近代憲法の成立】 近代憲法が成立した経緯について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
3	【憲法の歴史：近代憲法の変遷と現代憲法の成立】 近代憲法の変遷と現代憲法の成立について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
4	【日本国憲法の概要】 日本国憲法の全体構造と特徴について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
5	【国民主権】 国民主権の意義、およびその規範的意味について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
6	【天皇制】 象徴天皇制の概要と天皇の国事行為について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
7	【平和主義】 平和主義の意義と憲法9条に関する解釈・判例について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
8	【平等権】 平等権の意義と保障範囲、およびそれに関する判例について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
9	【表現の自由】 表現の自由の意義と保障範囲、およびそれに関する判例について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
10	【参政権】 参政権の意義と保障範囲、およびそれに関する判例について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
11	【社会権】 社会権の意義と保障範囲、およびそれに関する判例について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
12	【権力分立】 権力分立の意義およびその現代的変容について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
13	【違憲審査制】 違憲審査制の意義とその限界について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
14	【司法権の独立】 司法権の独立の意義とそれを脅かす要因につ	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	いて学ぶ。	復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
15	【授業のまとめ】 授業内容を振り返るとともに、試験を行った上でフィードバックを行う。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCI102

授業形態： 演習

科目名： 情報基礎演習

担当教員： 林 敏浩(HAYASHI Toshihiro)

【授業の紹介】

この授業は、情報リテラシーの知識・技能を修得するために、開講される授業科目で、座学・演習を組み合わせた授業形式になっています。情報リテラシーとは、単にコンピュータや特定のソフトウェアが使えるというだけではなく、その技術を利用して、さまざまな情報を収集・分析し、適切に判断する能力、それらをモラルに則って活用する能力のことです。特に、この授業では、文書作成のためのワープロ（Microsoft Word）の機能について学習し、さらにその間に「情報と社会」というテーマを挿入する形で、情報化社会で適切に行動するために必要な知識について学習します。また、毎回、学習した内容をワープロを用いてレポート（課題）作成しながら、ワープロに関するスキルアップを図ります。また、「数理・データサイエンス」の基礎知識についても併せて学習します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. パソコンの代表的な基本ソフトであるWindowsの基本操作ができる。
2. Microsoft Wordを対象としてワープロの主要な機能が使える。
3. ワープロを用いて指定された形式で文書が作成・編集できる。
4. 個人情報保護、情報倫理・情報モラル、知的財産権、ネット犯罪について説明できる。
5. 数理・データサイエンスの基礎知識について説明できる。

【成績の評価】

成績は必須課題（75%）と追加課題（25%）により評価します。また、優良な授業態度（演習時の他の学生サポートなど）に対しては加点する場合があります。毎回の課題については受理時に個々に一次講評し、さらに次の授業時間で総評することによりフィードバックを行います。希望者には電子メールで詳細な講評をして、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

杉本くみ子，大澤栄子著『30時間アカデミック office2021版』（実教出版株式会社，2022）ISBN:9784407359435

テキストに沿って説明したり、テキスト内の実習問題を課題とする場合がありますので必ず授業に持参ください。

【参考文献】

なし

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンス、Windowsの基本操作と日本語入力	準備学習1時間、事後学習1時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は当該回の予習などです（第1回目は高校まででどんな情報の学びをしたかまとめておいてください）。事後学習は自分のその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
2	文書作成（1） 基本操作と印刷	準備学習1時間、事後学習1時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
3	情報と社会（1） 電子メールによるコミュニケーション	準備学習1時間、事後学習1時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、インターネットでその回に関係する情報を調べ学習することが挙げられます。	
4	文書作成（2） 表の作	準備学習1時間、事後学習1時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
5	文書作成（3） 書式の設定	準備学習1時間、事後学習1時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
6	情報と社会（2） 個人情報保護	準備学習1時間、事後学習1時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、インターネットでその回に関係する情報を調べ学習することが挙げられます。	
7	文書作成（4） 図・画像などの挿入	準備学習1時間、事後学習1時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
8	文書作成（5） Webブラウザとの連携	準備学習1時間、事後学習1時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
9	数理・データサイエンス（1） 数理・データサイエンスとは何か？	準備学習1時間、事後学習1時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、インターネットでその回に関係する情報を調べ学習することが挙げられます。	
10	情報と社会（3） 情報倫理・情報モラル	準備学習1時間、事後学習1時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、インターネットでその回に	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		関係する情報を調べ学習することが挙げられます。	
11	情報と社会（４） 知的財産権	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、インターネットでその回に関係する情報を調べ学習することが挙げられます。	
12	文書作成（６） 図の作成と編集	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
13	文書作成（７） 縦書き、PDF変換	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
14	情報と社会（５） ネット犯罪	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、インターネットでその回に関係する情報を調べ学習することが挙げられます。	
15	数理・データサイエンス（２） 身の周りの数理・データサイエンス	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、インターネットでその回に関係する情報を調べ学習することが挙げられます。	
	定期試験(実施しない)		授業の進捗状況により各回の授業内容を調整する場合があります。

科目ナンバリング： UCI103
授業形態： 演習
科目名： 情報応用演習
担当教員： 林 敏浩(HAYASHI Toshihiro)

【授業の紹介】

この授業は、情報リテラシーの知識・技能を修得するために、開講される授業科目で、座学・演習を組み合わせた授業形式になっています。情報リテラシーとは、単にコンピュータや特定のソフトウェアが使えるというだけではなく、その技術を利用して、さまざまな情報を収集・分析し、適切に判断する能力、それらをモラルに則って活用する能力のことです。特に、この授業の前半で、表計算のためのソフトウェア（Microsoft Excel）の機能について学習し、さらに後半で、プレゼンテーションのためのソフトウェア（Microsoft PowerPoint）の機能について学習します。また、「数理・データサイエンス」の基礎知識についても併せて学習します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. Microsoft Excelを対象として表計算ソフトの主要な機能が使える。
2. 表計算ソフトを用いて指定された形式でデータを加工できる。
3. Microsoft PowerPointを対象としてプレゼンテーションソフトの主要な機能が使える。
4. プレゼンテーションソフトを用いて種々のプレゼンテーション資料を作成できる。
5. 数理・データサイエンスの基礎知識について説明できる。

【成績の評価】

成績は必須課題（75%）と追加課題（25%）により評価します。また、優良な授業態度（演習時の他の学生サポートなど）に対しては加点する場合があります。毎回の課題については受理時に個々に一次講評し、さらに次の授業時間で総評することによりフィードバックを行います。希望者には電子メールで詳細な講評をして、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

杉本くみ子，大澤栄子著『30時間アカデミック office2021版』（実教出版株式会社，2022）ISBN:9784407359435

テキストに沿って説明したり、テキスト内の実習問題を課題とする場合がありますので必ず授業に持参ください。

【参考文献】

なし

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンス、表計算（１） 基本操作と印刷	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は当該回の予習などです（第 1 回目は前期の情報基礎演習などのような情報の学びをしたかまとめておいてください）。事後学習は自分のその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
2	表計算（２） 表の作成	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
3	表計算（３） 基本編集	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
4	表計算（４） 表の書式設定と印刷	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
5	表計算（５） 数式（１） 絶対参照と相対参照、基本関数	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
6	表計算（６） 数式（２） 順位取得、条件判断	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
7	表計算（７） 数式（３） 表参照によるデータ取得、端数処理	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
8	表計算（８） 数式（４） エラー回避、文字列操作	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
9	数理・データサイエンス（１） データは人を騙す	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
10	数理・データサイエンス（２） Excelを使ったデータ処理の基礎	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
11	プレゼンテーション（１） 基本操作と印刷	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
12	プレゼンテーション（２） 図やオブジェクトの挿入	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
13	プレゼンテーション（３） SmartArt、グラフ、表の挿入	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
14	プレゼンテーション（４） 作図機能を用いた複雑な図の作成	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
15	プレゼンテーション（５） 特殊効果と自動実行	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
	定期試験(実施しない)		授業の進捗状況により各回の授業内容を調整する場合があります。

科目ナンバリング： UHH001
授業形態： 講義
科目名： 健康とスポーツ【発】
担当教員： 宮本 賢作(MIYAMOTO Kensaku)

【授業の紹介】

成長期から成人期に移行するこの時期に、正しいヘルスリテラシーを身につけるとともに、今後起こりうる健康問題について理解することで、その予防としての運動、食事、休養の重要性と、それをサポートする社会的なシステムについて理解する。またこれらを主体的かつ科学的に捉え、行動変容を意識した実践力と、その基盤となるエビデンスに基づいた健康づくりについて考察する。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	

【到達目標】

健康な生活を営む上で必要な基礎知識の理解を深めることができる。
ヒトの生涯のさまざまな場面で生じる疾病の予防および健康の維持と生体機能の関係について理解を深めることができる。

【成績の評価】

成績の評価は学期末試験（60%）、レポート・ミニテスト（30%）、学習態度（10%）によって行い、総計60%以上を合格とします。なお、レポートについては講評や添削を行い返却（フィードバック）します。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

シンプル衛生公衆衛生学2022（南江堂）
これからの健康とスポーツの科学 第5版（講談社）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・健康（及び疾病）の概念とヘルスプロモーション	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
2	健康を取り巻く環境についての理解	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
3	健康情報とヘルスリテラシー	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
4	幼少期～成長期の健康問題	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
5	成人期の健康問題	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
6	高齢期の健康問題	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
7	死生観と生命倫理	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
8	健康と運動・労働	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着す	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		るよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
9	健康と食事・栄養	毎回、授業の概要を紹介したレジюмеを配布します。レジюмеをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
10	健康と休養・睡眠	毎回、授業の概要を紹介したレジюмеを配布します。レジюмеをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
11	喫煙，飲酒，薬物乱用，メディアリテラシーと健康	毎回、授業の概要を紹介したレジюмеを配布します。レジюмеをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
12	運動の科学と健康	毎回、授業の概要を紹介したレジюмеを配布します。レジюмеをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
13	体力の評価と分析	毎回、授業の概要を紹介したレジюмеを配布します。レジюмеをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
14	エビデンスに基づいた医療と健康づくり&持続可能な健康づくり	毎回、授業の概要を紹介したレジюмеを配布します。レジюмеをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
15	まとめ（生涯にわたる健康増進とスポーツライフの継続を目指して）	毎回、授業の概要を紹介したレジюмеを配布します。レジюмеをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UHH002
授業形態： 実習
科目名： 健康とスポーツ実習【発A】
担当教員： 奥田 直希(OKUDA Naoki)

【授業の紹介】

この授業の目的は、生涯にわたってスポーツを楽しむ知識・態度・技能を養うことです。そのため、授業のはじめには、文化としてスポーツを捉えることの必要性を説明あるいは表現するとともに、新スポーツの創造活動におけるグループワークやプレゼンテーションを通して、スポーツの文化性についての理解を深めます。次に、ゴール型スポーツ（主にアルティメット、フラッグフットボール）、ネット型スポーツ（主にバドミントン、インディアカ）、ターゲット型スポーツ（主にユニカール、グラウンドゴルフ）といった様々なスポーツを題材として、スポーツの楽しさを理解し、より深くその楽しさを味わう技能を学びます。そして、これらスポーツ活動を通して、他者と協力しながらスポーツを楽しむ態度を身につけます。

なお、この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：nnu3ez1）を活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

- 1．文化としてのスポーツの捉え方を理解できる
- 2．新スポーツを企画・実行できる
- 3．スポーツの楽しさを理解し表現できる
- 4．他者と協力しスポーツを楽しむことができる

【成績の評価】

- ・プレゼンテーションに関する課題 30%
- ・グループワークに関する課題 40%
- ・小レポート 30%

《フィードバックの方法》

プレゼンテーションに関する課題およびグループワークに関する課題については、授業時間中に講評を行うことでフィードバックを実施します。小レポートについては、第15回終了後、オフィスアワーを活用してフィードバックを実施します。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

中村敏雄著『スポーツとは何か』（ポプラ・ブックス，1982年） 図書館に配架

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	【予習】GoogleClassroomに参加し、事前アンケートに回答する。（30分） 【復習】新スポーツの創造に関するアイデアを検討し、ノートにまとめておく。（30分）	
2	新スポーツ創造の意義	【予習】GoogleClassroomを通じて配布される事前アンケートに回答する。（30分） 【復習】新スポーツの創造に関するアイデアを検討し、ノートにまとめておく。（30分）	
3	新スポーツの創造：発案	【予習】GoogleClassroomを通じて配布される事前アンケートに回答する。（30分） 【復習】新スポーツの創造に関するアイデアを検討し、ノートにまとめておく。（30分）	
4	新スポーツの創造：計画	【予習】GoogleClassroomを通じて配布される事前アンケートに回答する。（30分） 【復習】新スポーツの実行可能性を検討する。（30分）	
5	新スポーツの創造：修正	【復習】新スポーツの創造に関するプレゼンテーション資料を作成する。（1時間）	
6	新スポーツの創造：発表	【復習】新スポーツの実践に伴う準備事項を検討する。（1時間）	
7	新スポーツの創造：実践	【復習】新スポーツの創造に関する活動を振り返り、レポートにまとめて提出する。（1時間）	
8	アルティメット（1）：ルールを理解する	【予習】実施する競技のルールや成り立ちを調べてノートにまとめる。（1時間）	
9	アルティメット（2）：競技を楽しむ	【復習】GoogleClassroomを通じて配布される事後アンケートに回答する。（1時間）	
10	フラッグフットボール（1）：ルールを理解する	【予習】実施する競技のルールや成り立ちを調べてノートにまとめる。（1時間）	
11	フラッグフットボール（2）：競技を楽しむ	【復習】GoogleClassroomを通じて配布される事後アンケートに回答する。（1時間）	
12	ネット型競技（1）：バドミントンの実践	【予習】実施する競技のルールや成り立ちを調べてノートにまとめる。（1時間）	
13	ネット型競技（2）：インディアカの実践	【予習】実施する競技のルールや成り立ちを調べてノートにまとめる。（1時間）	
14	ターゲット型競技（1）：グラウンドゴルフの実践	【予習】実施する競技のルールや成り立ちを調べてノートにまとめる。（1時間）	
15	ターゲット型競技（2）：ユニカールの実践	【予習】実施する競技のルールや成り立ちを調べてノートにまとめる。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UHH002
授業形態： 実習
科目名： 健康とスポーツ実習【発B】
担当教員： 奥田 直希(OKUDA Naoki)

【授業の紹介】

この授業の目的は、生涯にわたってスポーツを楽しむ知識・態度・技能を養うことです。そのため、授業のはじめには、文化としてスポーツを捉えることの必要性を説明あるいは表現するとともに、新スポーツの創造活動におけるグループワークやプレゼンテーションを通して、スポーツの文化性についての理解を深めます。次に、ゴール型スポーツ（主にアルティメット、フラッグフットボール）、ネット型スポーツ（主にバドミントン、インディアカ）、ターゲット型スポーツ（主にユニカール、グラウンドゴルフ）といった様々なスポーツを題材として、スポーツの楽しさを理解し、より深くその楽しさを味わう技能を学びます。そして、これらスポーツ活動を通して、他者と協力しながらスポーツを楽しむ態度を身につけます。

なお、この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：6hu244f）を活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

- 1．文化としてのスポーツの捉え方を理解できる
- 2．新スポーツを企画・実行できる
- 3．スポーツの楽しさを理解し表現できる
- 4．他者と協力しスポーツを楽しむことができる

【成績の評価】

- ・プレゼンテーションに関する課題 30%
- ・グループワークに関する課題 40%
- ・小レポート 30%

《フィードバックの方法》

プレゼンテーションに関する課題およびグループワークに関する課題については、授業時間中に講評を行うことでフィードバックを実施します。小レポートについては、第15回終了後、オフィスアワーを活用してフィードバックを実施します。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

中村敏雄著『スポーツとは何か』（ポプラ・ブックス，1982年） 図書館に配架

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	【予習】GoogleClassroomに参加し、事前アンケートに回答する。（30分） 【復習】新スポーツの創造に関するアイデアを検討し、ノートにまとめておく。（30分）	
2	新スポーツ創造の意義	【予習】GoogleClassroomを通じて配布される事前アンケートに回答する。（30分） 【復習】新スポーツの創造に関するアイデアを検討し、ノートにまとめておく。（30分）	
3	新スポーツの創造：発案	【予習】GoogleClassroomを通じて配布される事前アンケートに回答する。（30分） 【復習】新スポーツの創造に関するアイデアを検討し、ノートにまとめておく。（30分）	
4	新スポーツの創造：計画	【予習】GoogleClassroomを通じて配布される事前アンケートに回答する。（30分） 【復習】新スポーツの実行可能性を検討する。（30分）	
5	新スポーツの創造：修正	【復習】新スポーツの創造に関するプレゼンテーション資料を作成する。（1時間）	
6	新スポーツの創造：発表	【復習】新スポーツの実践に伴う準備事項を検討する。（1時間）	
7	新スポーツの創造：実践	【復習】新スポーツの創造に関する活動を振り返り、レポートにまとめて提出する。（1時間）	
8	アルティメット（1）：ルールを理解する	【予習】実施する競技のルールや成り立ちを調べてノートにまとめる。（1時間）	
9	アルティメット（2）：競技を楽しむ	【復習】GoogleClassroomを通じて配布される事後アンケートに回答する。（1時間）	
10	フラッグフットボール（1）：ルールを理解する	【予習】実施する競技のルールや成り立ちを調べてノートにまとめる。（1時間）	
11	フラッグフットボール（2）：競技を楽しむ	【復習】GoogleClassroomを通じて配布される事後アンケートに回答する。（1時間）	
12	ネット型競技（1）：バドミントンの実践	【予習】実施する競技のルールや成り立ちを調べてノートにまとめる。（1時間）	
13	ネット型競技（2）：インディアカの実践	【予習】実施する競技のルールや成り立ちを調べてノートにまとめる。（1時間）	
14	ターゲット型競技（1）：グラウンドゴルフの実践	【予習】実施する競技のルールや成り立ちを調べてノートにまとめる。（1時間）	
15	ターゲット型競技（2）：ユニカールの実践	【予習】実施する競技のルールや成り立ちを調べてノートにまとめる。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCE101
授業形態： 演習
科目名： 英語 【発あ】
担当教員： 藤井 昭洋(FUJII Akihiro)

【授業の紹介】

本授業では、中学校・高等学校で習った英語文法力の定着を図るとともに、卒業後の社会において求められる英語でのコミュニケーション力の強化のために必要となる聴解力と読解力の強化に努めます。家庭では予習と復習が求められ、その確認のため毎回授業のはじめに小テストを行います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

バランスの取れた英語力の習得のためには、当然のことながら文法・語法の理解は不可欠です。この授業で目指すものは、以下の三つです。

基礎的な文法を確実に理解し、使うことができる。
まとまった長さの英文を読み、内容を理解することができる。
実用英語技能検定試験準2級程度の英文を聞き、理解することができる。

【成績の評価】

小テスト(40%)、宿題(10%)および定期試験(50%)の結果を総合的に判断して行ないます。毎時間行なう小テストは、その直後に解答を解説します。また宿題としての提出物は、評価したものをその後の授業時に返却し、解説します。

【使用テキスト】

山田久美 他、 Starting Gate (「基礎から始める英語演習」) (南雲堂)

【参考文献】

オリエンテーションの時、指示します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・英語のbe動詞	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
2	一般動詞（現在）+ Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
3	一般動詞（過去）+ Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
4	進行形 + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
5	未来形 + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
6	助動詞 + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
7	名詞・冠詞 + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
8	代名詞 + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
9	前置詞 + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
10	形容詞・副詞+ Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		分)	
11	比較 + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。(15分) 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。(15分) 3. 次回の授業の予習をすること。(30分)	
12	命令文・感嘆文 + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。(15分) 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。(15分) 3. 次回の授業の予習をすること。(30分)	
13	接続詞() + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。(15分) 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。(15分) 3. 次回の授業の予習をすること。(30分)	
14	不定詞()・動名詞() + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。(15分) 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。(15分) 3. 次回の授業の予習をすること。(30分)	
15	受動態 + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。(15分) 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。(15分) 3. 次回の授業の予習をすること。(30分)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCE101

授業形態： 演習

科目名： 英語 【発い】

担当教員： 竹田 忠弘(TAKEDA Tadahiro)

【授業の紹介】

英語の4技能「聞く」「話す」「読む」「書く」をバランスよく配し、テキストに載っているまとまった内容の英文を聴いたり読んだりして内容を理解するとともに、自分の意見や感想を英語で発表したり書いたりします。75語～100語から成るReadingの素材は、天気、旅行、文化など身近な話題が中心で、受講生にとって取り組みやすいものとなっています。

受講生には、授業中の言語活動に積極的に参加するために、テキストの予習・復習を欠かさず、本文を何度も音読しながら、継続的に学ぶ姿勢が必須です。 Google Classroom Code: t2tpafg

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. まとまった英文を聴いたり読んだりして内容を理解するとともに、概要を伝えることができる。
2. 本文を音読することで英語に慣れ、覚えた英文を用いてコミュニケーションを図ることができる。
3. 自分の意見や感想を英語で発表したり、書いたりすることができる。

【成績の評価】

「授業への関心・意欲・態度」10%、「提出物等授業時間外に課す課題」15%、「小テスト」20%、「音読テスト」15%、「定期試験」40%の5項目を総合的に評価します。小テスト及び授業時間外に課す課題については、その都度評価及びフィードバックを行います。
なお、30分以上の遅刻は欠席とみなし、また、遅刻3回で欠席1回とみなします。

【使用テキスト】

Reading Links 2 (Andrew E. Bennett著、南雲堂、2021年)

【参考文献】

なし

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高校現場での英語指導の経験を活かして授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
2	Unit 1 Weather	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
3	Unit 1 Weather Unit 2 The Internet	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
4	Unit 2 The Internet Unit 3 Animals	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
5	Unit 3 Animals	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
6	Unit 4 Friends	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
7	Unit 4 Friends Unit 5 Helping Others	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
8	Unit 5 Helping Others Unit 6 Traveling	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
9	Unit 6 Traveling	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
10	Unit 7 Collections and Gifts	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
11	Unit 7 Collections and Gifts Unit 8 Careers	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
12	Unit 8 Careers Unit 9 European Cultures	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
13	Unit 9 European Cultures	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
14	Unit 10 Gifted Children Part 1: Child Prodigies	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
15	Unit 10 Gifted Children Part 2: What makes a prodigy?	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCE102
授業形態： 演習
科目名： 英語 【発あ】
担当教員： 藤井 昭洋(FUJII Akihiro)

【授業の紹介】

英語 に引き続き、この授業では文法力のさらなる定着を図るとともに、身近な話題を扱いながら、英語の4技能の運用能力をさらに高め、将来社会人として最低限必要な英語力の涵養に努めます。また、実用英語技能検定試験やTOEICの問題にあたりながら、英語による問題解決能力の向上をもめざします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

- 1．基本的な英文法を理解し、使うことができる。
- 2．平易な英文の読解ができる。
- 3．日常的な英文を聞いて、概要をつかむことができる。
- 4．英検準2級の問題は、ほぼ解くことができる。

【成績の評価】

小テスト(40%)、提出物(10%)および定期試験(50%)の結果を総合的に判断して行ないます。小テストは直後に解答を解説し、また提出物は、評価したものを次の授業時に返却し、解説します。

【使用テキスト】

前期の進度により、後期に使用するテキストは、前期の最後に指示します。

【参考文献】

オリエンテーションの時、指示します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・前期の復習	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
2	比較 + Reading & Listening	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
3	接続詞 + Reading & Listening	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
4	5文型 + Reading & Listening	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
5	各種疑問文 + Reading & Listening	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
6	不定詞 + Reading & Listening	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
7	Itの特別用法 + Reading & Listening	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
8	時制 + Reading & Listening	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
9	関係代名詞（1）（基本 + Reading & Listening	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
10	関係代名詞（2）（発展）+ Reading & Listening	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
11	完了形（結果、継続）+ Reading & Listening	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
12	完了形（経験）+ Reading & Listening	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
13	仮定法（基本）+ Reading & Listening	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
14	仮定法（過去完了）+ Reading & Listening	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
15	英語の重要構文と熟語 + Reading & Listening	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCE102

授業形態： 演習

科目名： 英語 【発い】

担当教員： 竹田 忠弘(TAKEDA Tadahiro)

【授業の紹介】

英語 に引き続き、英語の4技能「聞く」「話す」「読む」「書く」をバランスよく配し、テキストに載っているまとまった内容の英文を聴いたり読んだりして内容を理解するとともに、自分の意見や感想を英語で発表したり書いたりします。75語～100語から成るReadingの素材は、宇宙、文化、言語など身近な話題が中心で、受講生にとって取り組みやすいものとなっています。

受講生には、授業中の言語活動に積極的に参加するために、テキストの予習・復習を欠かさず、本文を何度も音読しながら、継続的に学ぶ姿勢が必須です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. まとまった英文を聴いたり読んだりして内容を理解するとともに、概要を伝えることができる。
2. 本文を音読することで英語に慣れ、覚えた英文を用いてコミュニケーションを図ることができる。
3. 自分の意見や感想を英語で発表したり、書いたりすることができる。

【成績の評価】

「授業への関心・意欲・態度」10%、「提出物等授業時間外に課す課題」15%、「小テスト」20%、「音読テスト」15%、「定期試験」40%の5項目を総合的に評価します。小テスト及び授業時間外に課す課題については、その都度評価及びフィードバックを行います。
なお、30分以上の遅刻は欠席とみなし、また、遅刻3回で欠席1回とみなします。

【使用テキスト】

Reading Links (Andrew E. Bennett著、南雲堂、2021年)

【参考文献】

なし

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高校現場での英語指導の経験を活かして授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
2	Unit 11 Restaurants	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
3	Unit 11 Restaurants Unit 12 Transportation	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
4	Unit 12 Transportation Unit 13 Homes	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
5	Unit 13 Homes	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
6	Unit 14 Space	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
7	Unit 14 Space Unit 15 Personality	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
8	Unit 15 Personality Unit 16 Design and Fashion	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
9	Unit 16 Design and Fashion	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
10	Unit 17 Asian Cultures	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
11	Unit 17 Asian Cultures Unit 18 Modern Life	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
12	Unit 18 Modern Life Unit 19 Growing Things	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
13	Unit 19 Growing Things	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
14	Unit 20 Languages Part 1: Sign Language	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
15	Unit 20 Languages Part 2: Learning English	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCF101

授業形態： 演習

科目名： フランス語

担当教員： エラリー ジャンクリストフ(Jean-Christophe Helary)

【授業の紹介】

「フランス語が難しければ、フランス人でも話せません!」という出発点から始まります。赤ちゃんは周りの音から少しずつ意味が取れるようになり、自分から表現できるようになります。このフランス語に参加される皆さんは赤ちゃんではありませんが、同じやり方で少しずつフランス語を自分のものにしていきます。ポイントは実際に話される内容を生かせることです。つまり、テキストの登場人物がやっていることを学んでいくのではなく、自分について、自分がやっていることについて、自分がやりたいことについて、そしてそれぞれについて仲間に尋ねる、という覚え方です。

15回の授業を2つのプロジェクトに分けます。それをさらに3つのテーマに分けて、各テーマに対して2つの授業をします。1つ目の授業は先生の話しているモデルに従った簡単な会話を中心に(話す力)、そして、その会話について簡単な文書を読みます(読む力)。2つ目の授業は身についた内容について簡単な作文をし(書く力)、それを発表して、会話に戻します(一つの「聞く、話す、読む、書く」循環が完成できました)。テーマを通じて、語彙や使える表現が少しずつ増やしていきます。プロジェクトごとにまとめ(復習)の授業があります。最後の授業は次のステップにつなげる内容を導入します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904 ~ 202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904 ~ 202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 実際の状況に応じて、コミュニケーションを図ることができる。
2. 総合的なフランス語能力を身につけるため、「聞く、話す、読む、書く」の循環を展開できる。

【成績の評価】

授業中の積極的な参加の評価 80%
テーマの復習 20% 総合合格点は60点以上です。
授業時間内に随時コメントを行うことでフィードバックを行います。

【使用テキスト】

必要な場合はプリント

【参考文献】

<https://ja.wikipedia.org/wiki/神経言語学的アプローチ>

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	（初級）自分について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
2	（初級）自分について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
3	（初級）家族、親戚について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
4	（初級）家族、親戚について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
5	（初級）友達、先生、バイト先の仲間について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
6	（初級）友達、先生、バイト先の仲間について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
7	（初級）テーマの復習	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
8	（中級）自分について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
9	（中級）自分について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
10	（中級）家族、親戚について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
11	（中級）家族、親戚について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
12	（中級）友達、先生、バイト先の仲間について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
13	（中級）友達、先生、バイト先の仲間について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
14	（中級）テーマの復習	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
15	（初級）日常生活について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCF102

授業形態： 演習

科目名： フランス語

担当教員： エラリー ジャンクリストフ(Jean-Christophe Helary)

【授業の紹介】

フランス語 を参照。

フランス語 は、同じ方法で、別のプロジェクトを通じてフランス語能力を高めていきます。フランス語検定5級を受けたい生徒に対して独学で受けられるようにヒントを提示します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 実際の状況に応じて、コミュニケーションを図ることができる。
2. 総合的なフランス語能力を身につけるため、「聞く、話す、読む、書く」の循環を展開できる。
3. 独学でフランス語検定5級を受けられる力を身につけることができる。

【成績の評価】

授業中の積極的な参加の評価 80%
テーマの復習 20% 総合合格点は60点以上です。
授業時間内に随時コメントを行うことでフィードバックを行います。

【使用テキスト】

必要な場合はプリント

【参考文献】

<https://ja.wikipedia.org/wiki/神経言語学的アプローチ>

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	（初級）日常生活について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
2	（初級）日常生活について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
3	（中級1）日常生活について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
4	（中級1）日常生活について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
5	（中級2）日常生活について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
6	（中級2）日常生活について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
7	テーマの復習（第1回～第6回）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
8	（初級）最近あったことについて、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
9	（初級）最近あったことについて、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
10	（初級）これからあることについて、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
11	（初級）これからあることについて、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
12	（中級）最近あったこと、これからあることについて、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
13	（中級）最近あったこと、これからあることについて、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
14	テーマの復習（第8回～第13回）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
15	（初級）自分の好みとその理由について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCC101
授業形態： 演習
科目名： 中国語
担当教員： 李 佳坤(Li JiaKun)

【授業の紹介】

この授業では、中国語を話し読むための発音記号（ピンイン）や中国語の基本文型を学習し、そのうえ、漢字を読み、単語を覚え、簡単な会話や挨拶を練習していきます。発音の練習は通信媒体の機能を利用して楽しく学習していきます。また、中国社会や中国文化についても紹介し、グローバルな思考を養います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

- 1．中国語の発音記号（ピンイン）を学習することによって中国語の漢字をすべて読むことができる。
- 2．中国語での挨拶や簡単な会話ができるようになる。
- 3．中国語基本文型の構造が理解できる。

【成績の評価】

授業中の各活動（10％）、授業時間外の学習ための問題（10％）、中間テスト（30％）、期末テスト（50％）
作文や小テストについては、その都度、結果を授業時に講評し、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

陳淑梅・劉光赤 著 「実学実用 初級中国語」 朝日出版社

【参考文献】

日中・中日辞書
自編教材『ピンインをマスターできる』

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーションと単母音	予習：教科書の8ページの単母音 復習：学習内容をノートにまとめ。	
2	子音と単母音	予習：教科書の14ページの子音 復習：配ったプリントで復習する。	
3	子音と複合母音	予習：教科書の複合母音 復習：配ったプリントで復習する。	
4	子音と鼻音	予習：教科書の鼻音 復習：配ったプリントで復習する。	
5	ピンインの復習と簡単な挨拶	予習：教科書20ページまで 復習：配ったプリントで復習する。	
6	ピンインテスト	予習：教科書20ページまで 復習：配ったプリントで復習する。	
7	名前の言い方	予習：自分の名前を中国語で読めるようにピンインを付ける。 復習：自己紹介の練習	
8	「是」の使い方	予習：教科書の24 - 27ページ 復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。	
9	動詞述語	予習：教科書の7課の内容 復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。	
10	動詞「喜欢」の使い方	予習：教科書の8課の内容 復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。	
11	動詞「有」の使い方	予習：教科書の9課の内容 復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。	
12	時間名詞と使い方	予習：教科書の内容 復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。	
13	「在」	予習：教科書の内容 復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。	
14	形容詞述語	予習：教科書の内容 復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。	
15	復習	予習：教科書の内容	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCC102
授業形態： 演習
科目名： 中国語
担当教員： 李 佳坤(Li JiaKun)

【授業の紹介】

この授業では、中国語 を学習した学生を対象にさらに語彙を増やし、基本文型を学習し、それを使って会話をしたり、中国語の文章を読んだり、書いたりします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

- 1．簡単な会話ができる。
- 2．簡単な中国語を読んだり、書くことができる。

【成績の評価】

小テスト（プリント）（25％）、中間テスト（25％）、期末テスト（50％）
作文や小テストについては、その都度、結果を授業時に講評し、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

陳 淑梅・劉光赤著 「実学実用 初級中国語」（朝日出版社）

【参考文献】

『中日・日中辞典』

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	前置詞「从・往・离」	予習：教科書の11課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
2	動詞「在」と文末の「了」	予習：教科書の12課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
3	時刻、時量詞	予習：教科書の13課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
4	比較の言い方	予習：教科書の14課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
5	助動詞「可以」、方向補語	予習：教科書の15課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
6	復習	予習：教科書の11課～15課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
7	中間テスト	予習：教科書の11課～15課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
8	結果補語、助動詞「会」	予習：教科書の16課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
9	二重目的語、様態補語と助動詞「能」	予習：教科書の17課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
10	可能補語	予習：教科書の18課の前半 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
11	程度補語	予習：教科書の18課の後半 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
12	「是...的」の使い方	予習：教科書の19課の前半 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
13	進行と持続の表現	予習：教科書の19課の後半 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
14	存現文	予習：教科書の20課	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
15	復習	予習：教科書の16課～20課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCK101
授業形態： 演習
科目名： 韓国語 【A】
担当教員： 崔 榮晋(CHOI Youngjin)

【授業の紹介】

この授業は、実務経験のある教員が担当しています。授業では、韓国語を読む・書くための文字であるハングルの基本文字（24字）と基本文法を学習します。日本語の文法と似ているので、単語を覚えていくと会話がより豊になります。多くの学習者が苦手とする、発音は日本語の単語から分かりやすく説明し練習して綺麗な発音が習得できます。また、韓国の文化・社会などについても紹介し理解を深め、グローバルな思考力も養います。楽しく学んで韓国語でのコミュニケーションを楽しみましょう。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 韓国語の固有文字であるハングルの読み書きを正確な発音として習得できる。
2. 韓国語での基本的な挨拶や簡単な会話が出来ることによってコミュニケーションの楽しさを経験できる。
3. 韓国語の語順や文型は、日本語と同様な部分が多く日本語ベースで構造を理解することができる。
4. 韓国語だけではなく、社会・文化・経済・政治・歴史などにも理解を深めることができる。

【成績の評価】

授業への取り組みや各活動（20%）、小テスト・課題・レポート（50%）、期末試験（30%）小テスト。レポートについては、その都度、結果を授業時に講評します。定期試験については、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにします。

【使用テキスト】

「WE CAN 韓国語」（入門から初級へ） 金世徳・張京花 著（博英社） ISBN 978-4-910132-15-0

【参考文献】

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーションと基本母音（10個）		
2	基礎子音（14個）合成母音		
3	韓国語の仕組み		
4	終声(パッチム)と発音のルール		
5	まとめ（母音・子音の発音と成り立ちの習得を確認）		
6	～です/ですか / ～は（自己紹介）		
7	～ではありません。		
8	あります/います / ～に		
9	ありません/いません		
10	まとめ（母音・子音を用いて自由に書き取りができる。自己紹介などの基本挨拶の表現ができる）		
11	「この、その、あの」+N		
12	助詞「～と、～も」		
13	～です・～ます「名詞文の 体」		
14	助詞「～を、～で」		
15	漢数字の言い方		
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCK101
授業形態： 演習
科目名： 韓国語 【B】
担当教員： 朴 英信

【授業の紹介】

この授業は、実務経験のある教員が担当しています。授業では、韓国語を読む・書くための文字であるハングルの基本文字（24字）と基本文法を学習します。日本語の文法と似ているので、単語を覚えていくと会話がより豊になります。多くの学習者が苦手とする、発音は日本語の単語から分かりやすく説明し練習して綺麗な発音が習得できます。また、韓国の文化・社会などについても紹介し理解を深め、グローバルな思考力も養います。楽しく学んで韓国語でのコミュニケーションを楽しみましょう。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

- 1． 韓国語の固有文字であるハングルの読み書きを正確な発音として習得できる。
- 2． 韓国語での基本的な挨拶や簡単な会話が出来ることによってコミュニケーションの楽しさを経験できる。
- 3． 韓国語の語順や文型は、日本語と同様な部分が多く日本語ベースで構造を理解することができる。
- 4． 韓国語だけではなく、社会・文化・経済・政治・歴史などにも理解を深めることができる。

【成績の評価】

授業への取り組みや各活動（20%）、小テスト・課題・レポート（50%）、期末試験（30%）小テスト。レポートについては、その都度、結果を授業時に講評します。定期試験については、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにします。

【使用テキスト】

「WE CAN 韓国語」（入門から初級へ） 金世徳・張京花 著（博英社） ISBN 978-4-910132-15-0

【参考文献】

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーションと基本母音（10個）		
2	基礎子音（14個）合成母音		
3	韓国語の仕組み		
4	終声(パッチム)と発音のルール		
5	まとめ（母音・子音の発音と成り立ちの習得を確認）		
6	～です/ですか / ～は（自己紹介）		
7	～ではありません。		
8	あります/います / ～に		
9	ありません/いません		
10	まとめ（母音・子音を用いて自由に書き取りができる。自己紹介などの基本挨拶の表現ができる）		
11	「この、その、あの」+N		
12	助詞「～と、～も」		
13	～です・～ます「名詞文の 体」		
14	助詞「～を、～で」		
15	漢数字の言い方		
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCK102
授業形態： 演習
科目名： 韓国語 【A】
担当教員： 崔 榮晋(CHOI Youngjin)

【授業の紹介】

この授業は、実務経験のある教員が担当しています。「韓国語」を履修した学生を対象とします。「韓国語」で学んだ内容を確実に復習した上、より多彩な表現と文法を学習し、多様な場面でコミュニケーションができるように練習します。また、韓国の文化・社会などについても紹介し理解を深め、グローバルな思考力も養います。楽しく学んで韓国語でのコミュニケーションを楽しみましょう。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 「韓国語」で学んだ内容を理解し、韓国の日常生活や文化を深める。
2. より複雑な表現と文法を理解することができる。
3. 学習した内容を実際に利用し、多様な場面でコミュニケーションすることができる。
4. 簡単な文の内容と書き手の意図を理解し、自分の意見を表現することができる。
5. 韓国語だけではなく、社会・文化・経済・政治・歴史などにも理解を深めることができる。
6. ハングル能力検定4級以上の合格を目標とする。

【成績の評価】

授業への取り組みや各活動(20%)、小テスト・課題・レポート(50%)、期末試験(30%)
小テスト。レポートについては、その都度、結果を授業時に講評します。定期試験については、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにします。

【使用テキスト】

「WE CAN 韓国語」(入門から初級へ) 金世徳・張京花 著 (博英社) ISBN 978-4-910132-15-0

【参考文献】

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーションと韓国語 のまとめ		
2	過去形（でした、ました、でしたか、ましたか）		
3	～ （～する前に）		
4	～ （～ましょうか）		
5	～ （～したいです）		
6	～ 「勧誘や希望の言い方（ きましょう 。 したい）」		
7	～ （～した後に）		
8	～ （～ただ、ひたすら、だけ、のみ）		
9	～するつもりです・～予定です「予定、意思」		
10	～ （～しているところ）		
11	～しようとする。（予定や計画、～）		
12	～ ～ （～から～まで）		
13	～ 。（～することにする）		
14	～ / 。（状態の継続）		
15	状態の継続のまとめ（～ている）		
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCK102
授業形態： 演習
科目名： 韓国語 【B】
担当教員： 朴 英信

【授業の紹介】

この授業は、実務経験のある教員が担当しています。「韓国語」を履修した学生を対象とします。「韓国語」で学んだ内容を確実に復習した上、より多彩な表現と文法を学習し、多様な場面でコミュニケーションができるように練習します。また、韓国の文化・社会などについても紹介し理解を深め、グローバルな思考力も養います。楽しく学んで韓国語でのコミュニケーションを楽しみましょう。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 「韓国語」で学んだ内容を理解し、韓国の日常生活や文化を深める。
2. より複雑な表現と文法を理解することができる。
3. 学習した内容を実際に利用し、多様な場面でコミュニケーションすることができる。
4. 簡単な文の内容と書き手の意図を理解し、自分の意見を表現することができる。
5. 韓国語だけではなく、社会・文化・経済・政治・歴史などにも理解を深めることができる。
6. ハングル能力検定4級以上の合格を目標とする。

【成績の評価】

授業への取り組みや各活動（20%）、小テスト・課題・レポート（50%）、期末試験（30%）小テスト。レポートについては、その都度、結果を授業時に講評します。定期試験については、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにします。

【使用テキスト】

「WE CAN 韓国語」（入門から初級へ） 金世徳・張京花 著（博英社） ISBN 978-4-910132-15-0

【参考文献】

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーションと韓国語 のまとめ		
2	過去形（でした、ました、でしたか、ましたか）		
3	～ （～する前に）		
4	～ （～ましょうか）		
5	～ （～したいです）		
6	～ 「勧誘や希望の言い方（ きましょう 。 したい）」		
7	～ （～した後に）		
8	～ （～ただ、ひたすら、だけ、のみ）		
9	～するつもりです・～予定です「予定、意思」		
10	～ （～しているところ）		
11	～しようとする。（予定や計画、～）		
12	～ ～ （～から～まで）		
13	～ 。（～することにする）		
14	～ / 。（状態の継続）		
15	状態の継続のまとめ（～ている）		
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： TISE5
授業形態： 講義
科目名： 国語（書写を含む）
担当教員： 澤田 文男(SAWADA Fumio)

【授業の紹介】

○小学校や幼稚園などで国語教育に従事するための理論や表現力を身に付けることをねらいとした授業です。

○ディスカッションやプレゼンテーションなどの手法を取り入れた授業活動の中で、テキストの詳細な読解を通じて「国語」の指導力を高めます。

○また、書写については、毎授業冒頭で平仮名・片仮名の実践的な練習をします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	6. 教育・保育に関する多様な情報を収集・分析して、論理的な思考力と創造力を用いて適切に判断できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	思考力・判断力・表現力	6
		専門的知識と実践力	4

【到達目標】

この授業の到達目標は、発達科学部の教育課程編成・実施の方針の「教育に関する研究能力を涵養」するとともに「主体的な学びの姿勢を形成」し、「論理的に判断し、それを適切な方法で表現する能力の獲得を図るため、以下のように設定しています。

学生が、幼稚園・小学校教育に携わる教員として必要な国語を適切に表現し、理解する力をつけることができます。

学生が、授業を通じて思考力や想像力、言語感覚を養い、国語を尊重する態度を育てる力をつけることができます。

学生が、主体的に取り組むアクティブラーニングを通じ、自らの意見を表現する力を身につけることができます。

【成績の評価】

ノートの評価... ノートができていない場合はテストを受ける資格がありません。

授業に取り組む姿勢(30%)

定期試験の成績(70%)

の合計点で総合的に評価します。

フィードバック

定期試験の結果については、試験終了後、正答例を研究室前に掲示します。

【使用テキスト】

○ひらがな練習帳(子どものひらがな練習帳 桂聖 実務教育出版 2012年)

○自作資料集

○『やまなし』・『よだかの星』・『注文の多い料理店』・『なめとこ山の熊』（筑摩書房 宮沢賢治全集 1980年）

【参考文献】

○保育所保育指針（平成29年3月告示 厚生労働省）

○幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省）

○小学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）

○関連する参考図書については、授業の中で適宜紹介します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。教育現場での授業経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	○授業のオリエンテーション ○書写練習 く～つ ○読み合わせ『やまなし』 ○『やまなし』の読解 ・第一章の内容について	予習 ○『やまなし』全篇を読む。(30分) ○第一章を、語句などに注意して調べる。(30分) ○その疑問・感想・意見を書く。(60分) ○他の作品を読む。(60分) 復習 ○書写練習(60分)	
2	○書写練習 し～の ○『やまなし』の読解 ・第二章の内容について ・第一章と第二章の関連	予習 ○第二章を、語句などに注意して調べる。(60分) ○その疑問・感想・意見を書く。(60分) ○他の作品を読む。(60分) 復習 ○書写練習(60分)	
3	○書写練習 こ～に ○『やまなし』の読解 ・『やまなし』の全体像 ・作者のメッセージについて	予習 ○全編について疑問・感想・意見を書く。(60分) ○作者のメッセージについて考える。(60分) ○他の作品を読む。(60分) 復習 ○書写練習(60分)	
4	○書写練習 け～ひ ○文章表現の様々な技法について ・リフレイン ・直喩・隠喩 ・体言止め	予習 ○「リフレイン」の例文を収集する。(60分) ○「直喩・隠喩」の例文を収集する。(60分) ○「体言止め」の例文を収集する。(60分) 復習 ○書写練習(60分)	
5	○書写練習 さ～ち ○文章表現の様々な技法について ・誇張 ・押韻 頭韻・中間韻 ・押韻 脚韻	予習 ○「誇張」の例文を収集する。(60分) ○「押韻」「頭韻」・「中間韻」の例文を収集する。(60分) ○「押韻」「脚韻」の例文を収集する。(60分) 復習 ○書写練習(60分)	
6	○書写練習 ら～め ○文章表現の様々な技法について ・擬音語 ・擬声語 ・擬態語	予習 ○擬音語の例文を収集する。(60分) ○擬声語の例文を収集する。(60分) ○擬態語の例文を収集する。(60分) 復習 ○書写練習(60分)	
7	○書写練習 す～ね ○文章表現の様々な技法について ・擬人法 ・擬物法 ・対句法	予習 ○擬人法の例文を収集する。(60分) ○擬物法の例文を収集する。(60分) ○対句法の例文を収集する。(60分) 復習 ○書写練習(60分)	
8	○書写練習 め～な ○文章表現の様々な技法について ・倒置法 ・リズム 五七調 ・リズム 七五調	予習 ○倒置法の例文を収集する。(60分) ○リズム 五七調の例文を収集する。(60分) ○リズム 七五調の例文を収集する。(60分) 復習 ○書写練習(60分)	
9	○書写練習 え～を ○表現技法に関する練習 ・これまでの整理 ・問題演習	予習 ○様々な技法を用いて短文を作る。(180分) 復習 ○書写練習(60分)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	・技法を使用して表現する		
10	○書写練習 フ～マ ○『注文の多い料理店』読み合わせ ○『注文の多い料理店』読解 ・登場人物について ・構成について	予習 ○『注文の多い料理店』全篇を読む。(40分) ○登場人物の像について考える。(40分) ○構成について考える(40分) ○他の作品を読む。(60分) 復習 ○書写練習(60分)	
11	○書写練習 ヌ～ナ ○『注文の多い料理店』読解 ・印象的な表現 ・虚構の役割について ・作者のメッセージ	予習 ○印象的な表現について考える。(40分) ○虚構の役割について考える。(40分) ○作者のメッセージについて考える。(40分) ○他の作品を読む。(60分) 復習 ○書写練習(60分)	
12	○書写練習 チ～カ ○『よだかの星』読み合わせ ○『よだかの星』読解 ・よだかについて ・構成について	予習 ○『よだかの星』全篇を読む。(40分) ○「よだか」について考える。(40分) ○構成について考える。(40分) ○他の作品を読む。(60分) 復習 ○書写練習(60分)	
13	○書写練習 テ～リ ○『よだかの星』読解 ・印象的な表現 ・風景と感情表現の関係 ・作者のメッセージ	予習 ○印象的な表現について考える。(40分) ○風景と感情表現の関係について考える。(40分) ○作者のメッセージについて考える。(40分) ○他の作品を読む。(60分) 復習 ○書写練習(60分)	
14	○書写練習 サ～ツ ○『なめとこ山の熊』読み合わせ ○『なめとこ山の熊』読解 ・登場人物の像 ・作者のメッセージ	予習 ○『なめとこ山の熊』全篇を読む。(40分) ○登場人物について考える。(40分) ○作者のメッセージについて考える。(40分) ○他の作品を読む。(60分) 復習 ○書写練習(60分)	
15	○書写練習 ン～コ ○これまでの書写・技法の整理 ○宮沢賢治の考えたことについて ○定期試験予告	予習 ○これまでの書写・技法を整理する。(60分) ○宮沢賢治の考えたことをまとめる。(60分) ○他の作品を読む。(60分) 復習 ○書写練習(60分)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： TISE6
授業形態： 講義
科目名： 社会
担当教員： 野村 一夫(NOMURA Kazuo)

【授業の紹介】

学習指導要領の分析を通して社会の変化と社会科の果たす役割や小学校社会科の内容構成や目標、内容、教材、評価などの基本的な考え方、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた社会科授業の在り方を追究していきます。

またディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションなどを通して、社会的な事象に対する興味・関心を高めるとともに社会的な見方と社会的な意味について考え、社会科教育の在り方を追究します。

この授業ではClassroom(クラスコード：yld7vux)を使用し、資料配付や課題「授業リフレクション」の提示などを行います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	5. 子どもの教育・保育にかかる諸問題を自ら発見し、その問題を解決することができる。
		6. 教育・保育に関する多様な情報を収集・分析して、論理的な思考力と創造力を用いて適切に判断できる。
		7. 教育・保育に係る資質向上に向けて継続的に学ぶ能力を持っている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

1. 社会の変化と学校教育における社会科の役割を考え、自分の言葉で社会科の本質を述べることができる。
2. 社会科、地理歴史科、公民科の関連を理解し、小学校社会科の内容構成の特色を述べることができる。

【成績の評価】

学修内容の理解度はもとより、学修に対する意欲と態度を評価します。

「今日の？」の作成及び発表(40%)、「授業リフレクション」の提出(20%)、定期試験(40%)とします。

「授業リフレクション」は、Classroomを用いて提出し、返却時にコメントを記述します。

定期試験は、採点基準を説明します。

【使用テキスト】

小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編 平成30年 文部科学省
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編 平成30年 文部科学省
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編 平成30年 文部科学省
小学校教科書「新しい社会」3年、4年、5年上・下、6年上・下 令和2年 東京書籍
小学校教科書「楽しく学ぶ小学生の地図帳」 令和2年 帝国書院

【参考文献】

日本社会科教育学会編 新版 社会科教育事典 2012年 ぎょうせい
全国社会科教育学会 新 社会科授業づくりハンドブック 小学校編 2015年 明治図書
その他、随時紹介する。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。教育行政と小学校教員の経験を活かし、社会科教育の実務的な課題や具体的な指導の在り方などを解説します。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・社会科の歴史	予習として、小学校での社会科学習を振り返り、最も印象に残っている学習内容と学習活動をノート等にまとめておくこと。（1時間）復習として、小学校社会科教育の歴史を整理し、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
2	社会の変化と社会科教育	予習として、小学校入学時の社会と現在を比較し、変化したことを具体的にノート等にまとめておくこと。（1時間）復習として、社会の変化と社会科教育の役割を整理し、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
3	社会科の本質・目標	予習として、社会科教育の学校教育において果たす役割を考え、ノート等にまとめておくこと。（1時間）復習として、小学校社会科教育の目標を分析し、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
4	小学校社会科と中学校社会科、地理歴史科、公民科との関連	予習として、小学校の教育課程を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）復習として、社会科教育の範囲とシーケンスを整理し、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
5	小学校社会科と総合的な学習の時間、特別の教科道徳等との関連	予習として、小学校での総合的な学習の時間と特別活動の目標を整理し、ノート等にまとめておくこと。（1時間）復習として、小学校社会科と総合的な学習の時間及び特別活動との異同関係を整理し、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
6	小学校社会科における地域学習・郷土学習	予習として、身近な地域における社会的事象を複数見つけ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）復習として、小学校社会科教育における地域学習・郷土学習の必要性を整理し、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
7	小学校社会科における社会的事象の地理的な見方・考え方	予習として、地理的な見方について自分なりの考え方をノート等にまとめておくこと。（1時間）復習として、社会的事象の見方・考え方を整理し、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
8	小学校社会科における歴史的学習	予習として、印象に残っている歴史的学習を振り返り、ノート等にまとめておくこと。（1時間）復習として、小学校社会科教育の歴史的学習の特徴を整理し、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
9	小学校社会科における公民的学習	予習として、小学校での社会科学習を振り返り、最も印象に残っている学習内容と学習活動をノート等にまとめておくこと。（1時間）復習として、小学校社会科教育の歴史を整理し、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
10	小学校社会科指導計画の作成と配慮事項	予習として、指導計画の必要性について自分なりの考えを整理し、ノート等にまとめておくこと。（1時間）復習として、指導計画を作成することの必要性和留意事項等を整理し、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
11	小学校社会科の学習過程と学習形態	予習として、小学校での社会科学習を振り返り、最も印象に残っている学習活動をノート等にまとめておくこと。（1時間）復習とし	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		て、多様な学習形態を整理し、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
12	小学校社会科の評価	予習として、学習評価の必要性と留意点などについて考えていることをノート等にまとめておくこと。（1時間）復習として、小学校社会科における学習評価の在り方を整理し、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
13	小学校社会科における教材・教具の開発と活用	予習として、小学校での社会科学習を振り返り、最も印象に残っている教材・教具をノート等にまとめておくこと。（1時間）復習として、学習指導における教材・教具を開発することの必要性を整理し、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
14	小学校社会科における学習の個別・最適化とICT活用	予習として、ICTを用いた社会科学習を振り返り、最も印象に残っている学習内容と学習活動をノート等にまとめておくこと。（1時間）復習として、指導の個別化と学習の個性化に果たすICTの役割を整理し、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
15	「社会に開かれた教育課程」における小学校社会科の在り方	予習として、小学校での社会科学習を振り返り、ゲストティーチャーによる学習経験をノート等にまとめておくこと。（1時間）復習として、「社会に開かれた教育課程」の理念を整理し、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： TISE7
授業形態： 講義
科目名： 算数
担当教員： 土井 理裕(DOI Masahiro)

【授業の紹介】

この授業は、算数・数学に関する問題に対し、あなたが考え、あなたが解決する時間です。四則演算などの原理・原則や指導方法を学ぶことを通して、数学的な見方・考え方を認識し、算数・数学を学ぶ意義を考え、それを子どもたちに伝えていこうとする力を育てていきます。また、プログラミングを体験しながら、プログラミング的思考を育むための指導方法についても実践します。
この授業ではGoogle Classroom(クラスコード：ykkvpiw)を使用し、ICTを活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

- ・ 数学的な見方・考え方を認識し、算数・数学を学ぶ意義を理解することができる。
- ・ 数と計算（四則演算）及び図形（正多角形）の指導方法を身に付けることができる。
- ・ プログラミング的思考を理解することができる。
- ・ プログラミング教育の指導方法（計画・実施）を身に付けることができる。

【成績の評価】

受講態度（10％） 課題レポート（80％） 最終課題レポート（10％）
・ 毎回の授業の最後に、課題レポートを提出する（コメント等を記入して返却します）
・ 最終課題（算数・数学を学ぶ意義 プログラミング的思考について のレポート）を作成し、第15回の最終授業時に提出する。

【使用テキスト】

- ・ 小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 算数編（文部科学省、日本文教出版、2018年）
- ・ 必要に応じて授業プリント及び資料を配付します。

【参考文献】

- ・ 数学の学び方・教え方（遠山啓、岩波新書、1972年）
- ・ 水道方式とはなにか 遠山啓著作集 数学教育論シリーズ3（遠山啓、太郎次郎社、1980年）
- ・ Scratchの絵本（株式会社アंक、株式会社アंक、2020年）
- ・ 小学校を中心としたプログラミング教育ポータル
（未来の学びコンソーシアム、<https://miraino-manabi.mext.go.jp/>）

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高等学校・特別支援学校での学校現場指導を活かし、具体的な算数・数学に関する事例を示しながら授業していきます。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス、これまでの算数・数学教育の振り返り	小学校第1学年における「数の数え方や計算の仕方」について、小学校学習指導要領解説算数編などで調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業内容を振り返り、ノート等にまとめておく。（2時間）	
2	加法・減法（1）：タイルを使った位取り指導（位取りの原理と補数）	授業内容を確認し、それに関連したことについて、小学校学習指導要領解説算数編などで調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業内容を振り返り、ノート等にまとめておく。（2時間）	
3	加法、減法（2）：筆算の指導	授業内容を確認し、それに関連したことについて、小学校学習指導要領解説算数編などで調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業内容を振り返り、ノート等にまとめておく。（2時間）	
4	乗法	授業内容を確認し、それに関連したことについて、小学校学習指導要領解説算数編などで調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業内容を振り返り、ノート等にまとめておく。（2時間）	
5	除法（1）：等分除と包含除	授業内容を確認し、それに関連したことについて、小学校学習指導要領解説算数編などで調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業内容を振り返り、ノート等にまとめておく。（2時間）	
6	除法（2）：除法のアルゴリズムと筆算	授業内容を確認し、それに関連したことについて、小学校学習指導要領解説算数編などで調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業内容を振り返り、ノート等にまとめておく。（2時間）	
7	平面図形（正多角形）の性質	授業内容を確認し、それに関連したことについて、小学校学習指導要領解説算数編などで調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業内容を振り返り、ノート等にまとめておく。（2時間）	
8	プログラミング的思考	授業内容を確認し、それに関連したことについて、小学校学習指導要領解説算数編などで調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業内容を振り返り、ノート等にまとめておく。（2時間）	
9	Scratchを用いたプログラミング実習（1）：基本的な操作、フローチャート作成	授業内容を確認し、それに関連したことについて調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業内容を振り返り、ノート等にまとめておく。（2時間）	
10	Scratchを用いたプログラミング実習（2）：正多角形の作図	授業内容を確認し、それに関連したことについて調べ、具体的なプログラムを考察し、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業内容を振り返り、ノート等にまとめておく。（2時間）	
11	Scratchを用いたプログラミング実習（3）：正多角形の作図についての考察、条件分岐	授業内容を確認し、それに関連したことについて調べ、具体的なプログラムを考察し、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業内容を振り返り、ノート等にまとめておく。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
12	Scratchを用いたプログラミング教育実習	授業内容を確認し、それに関連したことについて「小学校を中心としたプログラミング教育ポータル」サイト等で調べ、指導案等を考察し、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業内容を振り返り、ノート等にまとめておく。（2時間）	
13	加法、減法の筆算におけるアルゴリズム（1）：フローチャート作成	授業内容を確認し、それに関連したことについて調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業内容を振り返り、ノート等にまとめておく。（2時間）	
14	加法、減法の筆算におけるアルゴリズム（2）：授業での指導	授業内容を確認し、それに関連したことについて調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業内容を振り返り、ノート等にまとめておく。（2時間）	
15	楽しい算数・数学授業の在り方	これまでの授業内容を振り返り、楽しい算数・数学授業の在り方について考察し、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業内容を振り返り、ノート等にまとめておく。（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： TISE10
授業形態： 講義
科目名： 理科
担当教員： 糸目 真也(ITOME Shinya)

【授業の紹介】

この授業科目は、小学校や特別支援学校の教員として必要な理科の資質・能力を身に付けるため、次のア～ウの学習活動に取り組む。
ア小学校での理科教育や環境教育等に関する内容を、小学校学習指導要領解説理科編及び教科書をもとに把握する。
イ小学校理科の学習の内容区分である「生命・地球」に関する観察、実験、野外実習などの活動を通して、観察、実験などについての基本的な技能を身に付け、自然を愛する心情を養う。
ウ小学校理科の学習の内容区分である「物質・エネルギー」に関する実験などの活動を通して、器具や機器などを目的に応じて工夫して扱う技能を身に付け、主体的に問題解決しようとする態度を養う。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

- ・将来、小学校や特別支援学校の教員として必要な素養と幅広い人間性、理科に関する専門的な知識と観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。
- ・実物を見る、実物に触れる、実際につくる、実際にやってみることを大切にして、手と目と足と頭を使って、問題解決の力を伸長することができる。
- ・レポート作成や学生実験などを通して、文章を組み立てる力、情報を活用する力、プレゼンテーションする力、コミュニケーションする力を伸長することができる。

【成績の評価】

- ・レポート（課題提出）及び学生実験など授業の成果を70%、小テストの成績を30%として評価する。
- ・レポートや小テストは評価と解説を行い、授業で返却する。

【使用テキスト】

授業で適宜連絡します。以下の内容に関する資料を配布あるいは提示の予定。
文部科学省「小学校学習指導解説 理科編」（平成29年告示）
小学校理科の教科書 等

【参考文献】

授業で適宜連絡します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。担当教員が高等学校で理科の授業をした経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
2	小学校理科の目標と内容の取り扱い	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
3	春の自然観察会（学内や春日川の動植物）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をパワーポイントで作成して提出すること（2時間）	担当：糸目真也
4	地学野外観察会（屋島）事前学習	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
5	地学野外観察：屋島の地形（メサ）と高松平野の特徴	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として野外観察の最後に課す地学巡検に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
6	地学野外観察：瀬戸内火山活動に伴う流紋岩質凝灰岩（雪の庭）と讃岐岩質安山岩（置石）の露頭観察	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として野外観察の最後に課す地学巡検に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
7	環境教育の考え方	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
8	小学校理科「物質・エネルギー」の学習内容	予習として、その前の授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
9	小学校理科「物質・エネルギー」の教師実験	予習として、その前の授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
10	小学校理科「物質・エネルギー」の実験についての探究活動	予習として、その前の授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまと	担当：糸目真也

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>めておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）</p>	
11	小学校理科「物質・エネルギー」の実験教材の作成	<p>予習として、その前の授業で指定する教科書の実験内容を事前に読み、予備実験をし、留意事項等をノート等にまとめておくこと（3時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）</p>	担当：糸目真也
12	小学校理科「物質・エネルギー」の学生実験-Part1-（3年生の教科書の実験より）	<p>予習として、その前の授業で指定する教科書の実験内容を事前に読み、予備実験をし、留意事項等をノート等にまとめておくこと（3時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）</p>	担当：糸目真也
13	小学校理科「物質・エネルギー」の学生実験-Part2-（4年生の教科書の実験より）	<p>予習として、その前の授業で指定する教科書の実験内容を事前に読み、予備実験をし、留意事項等をノート等にまとめておくこと（3時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）</p>	担当：糸目真也
14	小学校理科「物質・エネルギー」の学生実験-Part3-（5年生の教科書の実験より）	<p>予習として、その前の授業で指定する教科書の実験内容を事前に読み、予備実験をし、留意事項等をノート等にまとめておくこと（3時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）</p>	担当：糸目真也
15	小学校理科「物質・エネルギー」の学生実験-Part4-（6年生の教科書の実験より）	<p>復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）</p>	担当：糸目真也
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： TISE9
授業形態： 講義
科目名： 生活
担当教員： 高橋 佳生(TAKAHASHI Yoshio)

【授業の紹介】

生活科教育の目標や内容，創設の背景，現状や課題などを把握し，その在り方を考える学習を通して，現在の学校教育についての認識を深めます。また，フィールドワーク（自然探索）やものづくり，討論，思考ツールの活用など体験的な学習を通じて，生活科の特徴や他教科との関連，幼児教育との接続などに気づき，関心・意欲や技能など実践力を高めていくようにします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

1. 生活科の目標や内容，創設の背景を理解するとともに，フィールドワークやものづくり，討論などを通して体験的に学び，教育実践のあり方について考えを深めることができる。
2. 学習指導要領や生活科にかかわる学習論の学びを通して，児童主体の教育方法の理解を深め，教育・保育について学ぶための資質・能力を身に付けることができる。

【成績の評価】

授業ワークシート(80%)，小テスト2回(10%)，授業への参加態度・日常活動(10%)。
授業ワークシート，小テストについては，その都度，結果を授業時に説明，講評する。

【使用テキスト】

小学校学習指導要領解説生活編(平成29年3月告示 文部科学省)
教科書「あたらしいせいかつ(上)，新しい生活(下)」 東京書籍

【参考文献】

授業において適宜紹介，資料配布する。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は，実務経験のある教員による授業です。小学校現場での授業実践と教員指導の経験を活かし，具体的な活動や視覚的提示を行いながら授業を展開します。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション, 「私にとっての生活科」	小学校低学年の生活科で学んだことや印象をまとめておく。(1時間)	
2	生活科の目標・内容とその意味(グループワーク)	小学校学習指導要領解説生活編から, 生活科の目標と内容を調べておく。(1時間) / 資料・ワークシートを見直し整理する。(30分)	
3	生活科の課題と学習指導要領の改訂(ディスカッション)	小学校学習指導要領解説生活編P5「生活科改訂の趣旨」から, 生活科の成果と課題を調べておく。(1時間) / 資料・ワークシートを見直し整理する。(30分)	
4	生活科の内容と体験活動 「自然探索フィールドワーク」	野外での自然探索に必要なものや図鑑を調べ, 準備する。(1時間) / 資料・ワークシートを見直し整理する。(30分)	
5	生活科の特色と教育的意義(ディスカッション)	小学校学習指導要領解説生活編P10～「教科目標の趣旨」から, 生活科の特徴を調べておく。(1時間) / 資料・ワークシートを見直し整理する。(30分)	
6	生活科の内容と体験活動 「思考ツールの活用」(グループワーク)	「思考ツール」とはどのようなものを調べ, 活用法を考えておく。(1時間) / 資料・ワークシートを見直し整理する。(30分)	
7	生活科の内容と体験活動 「自然のものづくり」(制作)	教科書(上)P80・81をみて, 制作物を考え, ドングリなどの材料や, はさみ・ボンドなどの用具を準備する。(4時間) / 資料・ワークシートを見直し整理する。(30分)	
8	生活科の創設と時代的背景 (グループワーク)	生活科が創設された時代や背景について調べておく。(1時間) / 資料・ワークシートを見直し整理する。(30分)	
9	生活科の教育理念(グループワーク) ・小テスト「生活科の目標」	生活科の目標について, 要点となるキーワードを覚える。(30分) / 資料・ワークシートを見直し整理する。(30分)	
10	生活科の内容と体験活動 「動くおもちゃ作り」(制作)	教科書(下)P56～58をみて, つくるおもちゃを考え, 紙コップ・輪ゴムなどの材料や, 穴あけ・ソロテープなどの用具を準備する。(3時間) / 資料・ワークシートを見直し整理する。(30分)	
11	生活科と他教科とのかかわり (グループワーク) ・小テスト「生活科の内容」	生活科の内容について, 要点となるキーワードを覚える。(30分) / 資料・ワークシートを見直し整理する。(30分)	
12	生活科と見方・考え方, 資質・能力(ディスカッション)	「見方・考え方」「資質・能力」とはどのようなものが調べておく。(1時間) / 資料・ワークシートを見直し整理する。(30分)	
13	生活科と幼児期・中学年以降とのつながり(グループワーク)	小学校学習指導要領解説生活編P82を読み, 幼児期・中学年以降とのつながりを調べておく。(1時間) / 資料・ワークシートを見直し整理する。(30分)	
14	生活科と総合的な学習(ディスカッション)	生活科と総合的な学習の共通点や相違点を考えておく。(30分) / 資料・ワークシートを見直し整理する。(30分)	
15	まとめ, 生活科と学力	これまで用いた資料・ワークシートを見直し整理しておく。(30分)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ONGA6

授業形態： 演習

科目名： 音楽 -

担当教員： 水嶋 育(MIZUSHIMA Ikumu), 藤原 フサエ(FUJIWARA Fusae)

【授業の紹介】

小学校音楽科の授業、また音楽に関連した特別活動の指導上必要な専門的知識と実践的能力を身に付けられるよう以下の項目を中心に学びます。

- ・ピアノを中心とした鍵盤楽器の演奏技能。
- ・授業展開に必要な音楽理論。
- ・小学校音楽科で扱われる種々の楽器の取り扱いと演奏技術。
- ・歌唱共通教材を中心に、八、二、へ、ト、変口長調の階名唱。
- ・簡単な合奏と、4分の2、4分の3、4分の4、8分の6拍子の指揮法。

また自ら継続的に学ぶ能力を養うために、毎週系統的な課題に臨み、安定した学びの習慣を確立します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	3. 子どもの育ちを支えるために必要な教育・保育の実践力を有する。
		7. 教育・保育に係る資質向上に向けて継続的に学ぶ能力を持っている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

- 1 児童教育現場で、授業を円滑に行うために必要な歌唱および器楽の演奏技術と音楽理論を修得できる。
- 2 曲想と音楽の構造との関わりについて理解して演奏することができる。
- 3 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培うことができる。
- 4 小学校教諭にとって音楽に関する必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識を教育の実践と関連づけて理解することができる。

【成績の評価】

定期試験-筆記(35%)、定期試験-実技(35%)、予習・復習と授業に取り組む姿勢(30%)
実技の試験や発表に対する評価は個別に説明を行う。筆記試験や提出物は採点、添削の上返却する。

【使用テキスト】

小学校教員養成課程用 最新 初等科音楽教育法 2017年告示「小学校学習指導要領」準拠
(平成30年2月発行、初等科音楽教育研究会 編、音楽之友社)

【参考文献】

小学校学習指導要領解説 音楽編(平成29年6月 文部科学省)

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（唱歌のあゆみとナポリ民謡 “O sole mio” についての講話）、楽譜の説明	予習（15分）：O sole mio の音源を見つけて聴いておく。 復習（90分）：理論に関する復習プリントおよび指定された実技練習。 実技練習に関しては、学習成果を把握できるようワークシート上にチェック項目を記すこととする。	
2	ピアノ奏法（1）、八長調、イ短調音階、八長調の階名唱、I度の三和音	予習（30分）：指定された実技練習。 復習（90分）：理論に関する復習プリントおよび指定された実技練習。 実技練習に関しては、学習成果を把握できるようワークシート上にチェック項目を記すこととする。	
3	ピアノ奏法（2）、ト長調、ホ短調音階、ト長調の階名唱、V度の三和音	予習（30分）：指定された実技練習。 復習（90分）：理論に関する復習プリントおよび指定された実技練習。 実技練習に関しては、学習成果を把握できるようワークシート上にチェック項目を記すこととする。	
4	ピアノ奏法（3）、ニ長調、ロ短調音階、ニ長調階名唱、IV度の三和音	予習（30分）：指定された実技練習。 復習（90分）：理論に関する復習プリントおよび指定された実技練習。 実技練習に関しては、学習成果を把握できるようワークシート上にチェック項目を記すこととする。	
5	ピアノ奏法（4）、ヘ長調、二短調音階、ヘ長調の階名唱、V7の和音	予習（30分）：指定された実技練習。 復習（90分）：理論に関する復習プリントおよび指定された実技練習。 実技練習に関しては、学習成果を把握できるようワークシート上にチェック項目を記すこととする。	
6	ピアノ奏法（5）、変ロ長調、ト短調音階、変ロ長調の階名唱、和音の転回	予習（30分）：指定された実技練習。 復習（90分）：理論に関する復習プリントおよび指定された実技練習。 実技練習に関しては、学習成果を把握できるようワークシート上にチェック項目を記すこととする。	
7	ピアノ奏法（6）、基本的な伴奏法	予習（30分）：指定された実技練習。 復習（90分）：理論に関する復習プリントおよび指定された実技練習。 実技練習に関しては、学習成果を把握できるようワークシート上にチェック項目を記すこととする。	
8	ピアノ奏法（7）、簡単なコード（C,F,G,G7）による伴奏法	予習（30分）：指定された実技練習。 復習（90分）：理論に関する復習プリントおよび指定された実技練習。 実技練習に関しては、学習成果を把握できるようワークシート上にチェック項目を記すこととする。	
9	歌唱共通教材を使用した歌唱法	予習（30分）：指定された実技練習。 復習（90分）：歌唱に関する復習プリントおよび指定された実技練習。 実技練習に関しては、学習成果を把握できるようワークシート上にチェック項目を記すこととする。	
10	歌唱共通教材のピアノ弾き歌い	予習（30分）：指定された実技練習。 復習（90分）：弾き歌いに関する復習プリントおよび指定された実技練習。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		実技練習に関しては、学習成果を把握できるようワークシート上にチェック項目を記すこととする。	
11	リコーダー奏法	予習（30分）：指定された実技練習。 復習（90分）：リコーダー指導に関する復習プリントおよび指定された実技練習。 実技練習に関しては、学習成果を把握できるようワークシート上にチェック項目を記すこととする。	
12	鍵盤ハーモニカ奏法	予習（30分）：指定された実技練習。 復習（90分）：指定された実技練習。 実技練習に関しては、学習成果を把握できるようワークシート上にチェック項目を記すこととする。	
13	さまざまな打楽器の奏法、ボディ・パーカッションと音楽遊び	予習（30分）：指定された実技練習。 復習（90分）：指定された実技練習。 実技練習に関しては、学習成果を把握できるようワークシート上にチェック項目を記すこととする。	
14	4分の2，あるいは4分の4拍子の合奏曲と指揮法	予習（30分）：指定された実技練習。 復習（90分）：指定された実技練習。 実技練習に関しては、学習成果を把握できるようワークシート上にチェック項目を記すこととする。	
15	4分の3および8分の6拍子の合奏曲と指揮法	予習（30分）：指定された実技練習。 復習（90分）：指定された実技練習。 実技練習に関しては、学習成果を把握できるようワークシート上にチェック項目を記すこととする。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ONGA7

授業形態： 演習

科目名： 音楽 -

担当教員： 水嶋 育(MIZUSHIMA Ikumu), 藤原 フサエ(FUJIWARA Fusae)

【授業の紹介】

小学校音楽科の授業、また音楽に関連した特別活動の指導上必要な専門的知識と実践的能力を身に付けられるよう、音楽I-Iに引き続き、以下の項目を中心に学びます。

- ・ピアノを中心とした鍵盤楽器の演奏技能。
- ・授業展開に必要な音楽理論。
- ・小学校音楽科で扱われる種々の楽器の取り扱いと演奏技術。
- ・階名唱の反復練習、簡単な弾き歌い、および2部合唱。
- ・出来るだけ多くの楽器の体験。
- ・(既存の合奏譜に加える形で)打楽器パートのリズム譜の作成とその演奏。

また自ら継続的に学ぶ能力を養うために、毎週系統的な課題に臨み、安定した学びの習慣を確立します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	3. 子どもの育ちを支えるために必要な教育・保育の実践力を有する。
		7. 教育・保育に係る資質向上に向けて継続的に学ぶ能力を持っている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

- 1 児童教育現場で、授業を円滑に行うために必要な歌唱および器楽の演奏技術と音楽理論を修得できる。
- 2 曲想と音楽の構造との関わりについて理解して演奏することができる。
- 3 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培うことができる。
- 4 小学校教諭にとって音楽に関する必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識を教育の実践と関連づけて理解することができる。

【成績の評価】

定期試験-筆記(35%)、定期試験-実技(35%)、予習・復習と授業に取り組む姿勢(30%)
実技の試験や発表に対する評価は個別に説明を行う。筆記試験や提出物は採点、添削の上返却する。

【使用テキスト】

小学校教員養成課程用 最新 初等科音楽教育法 2017年告示「小学校学習指導要領」準拠
(平成30年2月発行、初等科音楽教育研究会 編、音楽之友社)

【参考文献】

小学校学習指導要領解説 音楽編(平成29年6月 文部科学省)

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション、前期の復習	予習（30分）：ワークシートに前期の復習を行い、疑問点を纏めておく。 復習（60分）：指定の実技練習、音楽理論課題をワークシートに従って行う。実技練習に関しては学習成果を把握できるようワークシート上に示されたチェック項目に回答する。	
2	ピアノ奏法（1）拍子の確認	予習（60分）：指定の実技練習、音楽理論課題をワークシートに従って行う。実技練習に関しては学習成果を把握できるようワークシート上に示されたチェック項目に回答する。 復習（60分）：指定の実技練習、音楽理論課題をワークシートに従って行う。実技練習に関しては学習成果を把握できるようワークシート上に示されたチェック項目に回答する。	
3	ピアノ奏法（2）音価の確認	予習（60分）：指定の実技練習、音楽理論課題をワークシートに従って行う。実技練習に関しては学習成果を把握できるようワークシート上に示されたチェック項目に回答する。 復習（60分）：指定の実技練習、音楽理論課題をワークシートに従って行う。実技練習に関しては学習成果を把握できるようワークシート上に示されたチェック項目に回答する。	
4	ピアノ奏法（3）I/IV/V/V7の和音の確認	予習（60分）：指定の実技練習、音楽理論課題をワークシートに従って行う。実技練習に関しては学習成果を把握できるようワークシート上に示されたチェック項目に回答する。 復習（60分）：指定の実技練習、音楽理論課題をワークシートに従って行う。実技練習に関しては学習成果を把握できるようワークシート上に示されたチェック項目に回答する。	
5	ピアノ奏法（4）和音の転回の確認	予習（60分）：指定の実技練習、音楽理論課題をワークシートに従って行う。実技練習に関しては学習成果を把握できるようワークシート上に示されたチェック項目に回答する。 復習（60分）：指定の実技練習、音楽理論課題をワークシートに従って行う。実技練習に関しては学習成果を把握できるようワークシート上に示されたチェック項目に回答する。	
6	ピアノ奏法（5）コード表記（C,F,G,G7）の確認	予習（60分）：指定の実技練習、音楽理論課題をワークシートに従って行う。実技練習に関しては学習成果を把握できるようワークシート上に示されたチェック項目に回答する。 復習（60分）：指定の実技練習、音楽理論課題をワークシートに従って行う。実技練習に関しては学習成果を把握できるようワークシート上に示されたチェック項目に回答する。	
7	弾き歌い（1）低学年の曲から	予習（60分）：指定の実技練習、音楽理論課題をワークシートに従って行う。実技練習に関しては学習成果を把握できるようワークシート上に示されたチェック項目に回答する。 復習（60分）：指定の実技練習、音楽理論	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		課題をワークシートに従って行う。実技練習に関しては学習成果を把握できるようワークシート上に示されたチェック項目に回答する。	
8	弾き歌い（２）中学年の曲から	予習（６０分）：指定の実技練習、音楽理論課題をワークシートに従って行う。実技練習に関しては学習成果を把握できるようワークシート上に示されたチェック項目に回答する。 復習（６０分）：指定の実技練習、音楽理論課題をワークシートに従って行う。実技練習に関しては学習成果を把握できるようワークシート上に示されたチェック項目に回答する。	
9	合唱（１）さまざまな練習法、パート練習	予習（６０分）：指定の実技練習、音楽理論課題をワークシートに従って行う。実技練習に関しては学習成果を把握できるようワークシート上に示されたチェック項目に回答する。 復習（６０分）：指定の実技練習、音楽理論課題をワークシートに従って行う。実技練習に関しては学習成果を把握できるようワークシート上に示されたチェック項目に回答する。	
10	合唱（２）全体練習、留意点の確認	予習（６０分）：指定の実技練習、音楽理論課題をワークシートに従って行う。実技練習に関しては学習成果を把握できるようワークシート上に示されたチェック項目に回答する。 復習（６０分）：指定の実技練習、音楽理論課題をワークシートに従って行う。実技練習に関しては学習成果を把握できるようワークシート上に示されたチェック項目に回答する。	
11	合唱（３）発表、ふり返り	予習（６０分）：指定の実技練習、音楽理論課題をワークシートに従って行う。実技練習に関しては学習成果を把握できるようワークシート上に示されたチェック項目に回答する。 復習（６０分）：指定の実技練習、音楽理論課題をワークシートに従って行う。実技練習に関しては学習成果を把握できるようワークシート上に示されたチェック項目に回答する。	
12	合奏（１）リズム譜の作成	予習（６０分）：指定の実技練習、音楽理論課題をワークシートに従って行う。実技練習に関しては学習成果を把握できるようワークシート上に示されたチェック項目に回答する。 復習（６０分）：指定の実技練習、音楽理論課題をワークシートに従って行う。実技練習に関しては学習成果を把握できるようワークシート上に示されたチェック項目に回答する。	
13	合奏（２）さまざまな練習法、パート練習	予習（６０分）：指定の実技練習、音楽理論課題をワークシートに従って行う。実技練習に関しては学習成果を把握できるようワークシート上に示されたチェック項目に回答する。 復習（６０分）：指定の実技練習、音楽理論課題をワークシートに従って行う。実技練習に関しては学習成果を把握できるようワークシート上に示されたチェック項目に回答する。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		る。	
14	合奏（3）全体練習、留意点の確認	<p>予習（60分）：指定の実技練習、音楽理論課題をワークシートに従って行う。実技練習に関しては学習成果を把握できるようワークシート上に示されたチェック項目に回答する。</p> <p>復習（60分）：指定の実技練習、音楽理論課題をワークシートに従って行う。実技練習に関しては学習成果を把握できるようワークシート上に示されたチェック項目に回答する。</p>	
15	合奏（4）発表、ふり返し	<p>予習（60分）：指定の実技練習、音楽理論課題をワークシートに従って行う。実技練習に関しては学習成果を把握できるようワークシート上に示されたチェック項目に回答する。</p> <p>復習（30分）：ワークシートに従い、振り返しを行う。</p>	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： TISE14
授業形態： 演習
科目名： 図画工作 -
担当教員： 佐々木 啓祐(SASAKI Keisuke)

【授業の紹介】

この科目は、図画工作科で児童の造形表現力を育てるために必要な指導力を身に付けるための科目です。そのため、学校現場で指導することができるよう、小学校低学年から中学年の図画工作科で取り扱われている実施頻度の高い造形遊びを中心とした教材を体験します。同時に、そのことで、造形活動に必要な基礎的な知識や技能を身に付けるとともに、造形的なセンスを高めることができるよう、造形性の高い作品づくりを行います。

また、現在、教室など校内に掲示されている多くの子どもたちの作品を画像で知るとともに、子どもたちのつまずきへの対応など、現場の実態に応じた具体的な指導方法を学ぶことで、授業者としての指導力を身に付けることができると考えています。

なお、この科目は、小学校教諭一級免許状取得のための必修科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	3. 子どもの育ちを支えるために必要な教育・保育の実践力を有する。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

- ・小学校図画工作科で、よく取り扱われている造形遊びを中心とした教材について理解し、教材の制作を通して造形活動に必要な基礎的な知識や技能を身に付けることができる。
- ・作品制作や鑑賞の活動を通して、造形表現活動を楽しむことができる。

【成績の評価】

課題作品（技能、創意工夫）60%、授業態度（制作態度、準備物、発表など）40%
課題についてはその都度評価し、評価基準を説明する。
20分以上の遅刻は欠席とする。また欠席3回で欠席1回とする。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

令和2年～5年使用 小学校図画工作科 教科用図書
「図画工作」（日本文教出版）、「図画工作」（開隆堂出版）
「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 図画工作編」（平成29年7月 文部科学省）

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

本授業を担当する教員は、小学校で8年間の実務経験（図画工作科の専科教員）を有するとともに、香川県教育委員会の図画工作科担当指導主事として、長きに渡って現場の先生方に図画教育科の指導を行ってきました。

また、香川県教育委員会から幼児の造形活動の指導員として委嘱され、4年間、県内の幼稚園や保育所等で、2歳児から5歳児までの子どもたちと造形活動を行ってきました。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション、幼児の作品鑑賞 授業計画や活動内容、評価の観点について知り、授業に臨む心構えを自覚する。 ここ数年間における香川県内の小学校で制作された作品（壁面掲示作品や展覧会の作品）を鑑賞し、小学校図画工作科の意義や目的、図工教育の現状と課題について考える。	授業で配布された「鑑賞シート」「アンケート」を仕上げておくこと（1時間）	
2	「自画像づくり」 構想 ホームルーム教室に掲示する自画像を、色画用紙を切って貼ってつくる。自画像を描くことに抵抗感があったり、絵を描くことが苦手であったりする子どもたちも一生懸命取り組むことができる。	予習として、どのような「自画像」をつくるか構想を練っておくこと（1時間）	
3	「自画像づくり」 制作・仕上げ	授業時間内に完成しない場合は、持ち帰って完成させておく。（1時間以上）	
4	「ふしぎな たまご」（日文1・2下）から構想	予習として、どのような「ふしぎなたまご」をつくるか構想を練っておくこと（1時間）	
5	「ふしぎな たまご」（日文1・2下）から制作・仕上げ 画用紙にいろんな模様の卵を描き、それを2つに切って（割って）、中から、生まれて飛び出してくるものを想像して描いて、それらを画用紙に貼って構成し、作品にする。	授業時間内に完成しない場合は、持ち帰って完成させておく。（1時間以上）	
6	「バブルアート」 制作 シャボン液に絵の具で色を付けて、画用紙にシャボン液の泡を落とし込み、シャボン玉が割れると、丸く弾けた形で色がつく。色の着いた泡がどンドンと盛り重なっていくことを楽しむことができる。	予習として、「バブルアート」の技法や作品についてネットで調べ、材料を持参する（1時間）	
7	「バブルアート」 トリミング・額装	授業時間内に完成しない場合は、持ち帰って完成させておく。（1時間以上）	
8	「ローラーペインティング・スタンピング」制作 「ぺったんコロコロ」（日文1・2上）、「スタンプ、スタンプ!」（開隆1・2上）から「ぺったん」は身近な材料を使ったスタンピング、「コロコロ」はローラーペインティングであり、これらの技法を使った模様づくりを楽しむ。	予習として、「ローラーペインティング・スタンピング」の技法や作品についてネットで調べ、材料を持参する（1時間）	
9	「ローラーペインティング・スタンピング」制作・仕上げ	授業時間内に完成しないと見込まれる場合は、持ち帰って作業を進めておく。（1時間以上）	
10	ローラーペインティング・スタンピング トリミング・額装	授業時間内に完成しない場合は、持ち帰って完成させておく。（1時間以上）	
11	絵の具を使った複合技法 制作 「絵の具を使ったいろんな表し方」（日文3・4下）から 「絵の具を使ったいろんな表し方をくふうしよう」（開隆3・4下）から 「ドリッピング、デカルコマニー、スパッタリング、ローラー・スポンジ・刷毛で描く」など、様々な技法を使って、またそれらの複数の技法を組み合わせるなどして偶然できる形や色の面白さ、美しさを体験する。	予習として、「ドリッピング、デカルコマニー、スパッタリング、ローラー・スポンジ・刷毛で描くなど」の技法や作品についてネットで調べ、材料を持参する（1時間）	
12	絵の具を使った複合技法 制作・仕上げ	授業時間内に完成しないと見込まれる場合は、作業を進めておく。（1時間以上）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
13	絵の具を使った複合技法 トリミング・額装	授業時間内に完成しないと見込まれる場合は、作業を進めておく。（1時間以上）	
14	これまで制作した作品の台紙への貼付や額装をする。	授業時間内に完成しない場合は、持ち帰って完成させておく。（1時間以上）	
15	作品の自己評価、相互評価 自他の作品を並べて、作品鑑賞会を開催する。	授業で配布された「作品鑑賞会 評価シート」を仕上げておくこと（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： TISE15
授業形態： 演習
科目名： 図画工作 -
担当教員： 佐々木 啓祐(SASAKI Keisuke)

【授業の紹介】

この科目は、図画工作科で児童の造形表現力を育てるために必要な指導力を身に付けるための科目です。そのため、小学校現場で指導することができるよう、小学校中学年から高学年の図画工作科で取り扱われている実施頻度の高い造形遊びを中心とした教材を体験します。同時に、そのことで、造形活動に必要な基礎的な知識や技能を身に付けるとともに、造形的なセンスを高めることができるよう、造形性の高い作品づくりを行います。

また、現在、教室など校内に掲示されている多くの子どもたちの作品を画像で知るとともに、子どもたちのつまずきへの対応など、現場の実態に応じた具体的な指導方法を学ぶことで、授業者としての指導力を身に付けることができると考えています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	3. 子どもの育ちを支えるために必要な教育・保育の実践力を有する。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

- ・小学校図画工作科で、よく取り扱われている実施頻度が高く指導力が求められる木版画等の教材について理解し、教材の制作を通して造形活動に必要な基礎的な知識や技能を身に付けることができる。
- ・作品制作や鑑賞の活動を通して、造形表現活動を楽しむことができる。

【成績の評価】

課題作品（技能、創意工夫）60%、授業態度（制作態度、発表、準備物など）40%
課題についてはその都度評価し、評価基準を説明する
20分以上の遅刻は欠席とする。また欠席3回で欠席1回とする。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

令和2年～5年使用 小学校図画工作科 教科用図書
「図画工作」（日本文教出版）、「図画工作」（開隆堂出版）
「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 図画工作編」（平成29年7月 文部科学省）

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

本授業を担当する教員は、小学校で8年間の実務経験（図画工作科の専科教員）を有するとともに、香川県教育委員会の図画工作科担当指導主事として、長きに渡って現場の先生方に図画教育科の指導を行ってきました。

また、香川県教育委員会から幼児の造形活動の指導員として委嘱され、4年間、県内の幼稚園や保育所等で、2歳児から5歳児までの子どもたちと造形活動を行ってきました。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	「創造性テスト」や「発想トレーニング」をとおして、創造性を高めるための造形教育の役割や意義について考える。	復習として、創造性や発想等の造形用語の意味をプリント資料で整理しておく。（1時間）	
2	【共通課題】 コラージュによる作品づくり 素材集め 「これでえがくと」（開隆3・4下）から いろいろな布（麻布、化繊など）や紙、ダンボール紙、毛糸や紐、綿など、手触りの異なるいろいろな素材を組み合わせて台紙に貼り付け、テクスチュア（画肌の感じ）の感じを楽しむとともに、絵の具で加筆するなどして作品づくりをする。	予習として、作品制作の構想を練り、必要な材料を持参する。（1時間以上）	
3	コラージュによる作品づくり 構成	授業時間内に完成しないと見込まれる場合は、作業を進めておく。（1時間以上）	
4	コラージュによる作品づくり 貼り付け	授業時間内に完成しない場合は、持ち帰って完成させておく。（1時間以上）	
5	白黒木版画 作品鑑賞 「ほって すって 見つけて」（日文3・4下） 「木はん画に表そう」（開隆3・4下）から ・木版画の制作手順について知り、線描きの下絵をつくる。 ・白黒のバランスを考えて彫りの計画を立て、彫刻刀で版木を彫っていく。	予習として、白黒木版画の主題を決め、必要な写真資料等を持参する。（1時間）	
6	白黒木版画 テーマの決定・下絵づくり	作業の進度が遅れている場合は、持ち帰って作業を進めておく（1時間以上）	
7	白黒木版画 彫り	作業の進度が遅れている場合は、持ち帰って作業を進めておく（1時間以上）	
8	白黒木版画 彫り	作業の進度が遅れている場合は、持ち帰って作業を進めておく（1時間以上）	
9	白黒木版画 摺り	授業時間内に完成しない場合は、授業時間外の時間を使って、作品を完成させておく。（1時間以上）	
10	「牛乳パックで手すきハガキをつくる」 牛乳パックから取り出したパルプを細かくちぎってミキサーでドロドロにし、ハガキ大の網付きの枠にまんべんなく流し込んで枠を引き上げてパルプを乾燥させてつくる。	自宅で牛乳パックを2日以上水に浸し、両面のポリエチレンを剥がし、持参する。（1時間以上）	
11	絵手紙を描こう 絵を描く様々な材料や技法体験をし、その中から自分が好む描き方で、手づくりハガキに絵を描く。	絵手紙の構想を練り、描く対象物や描画道具を持参する。（1時間以上） 授業時間内に完成しない場合は、持ち帰って完成させておく。（1時間以上）	
12	選択課題 発想・構想 次の2つの教材のうち1つを選び制作する。 「でこぼこの絵」（日文5・6上）から 板を思いのまま自由に切って、並べたり、重ねたりして、抽象半立体作品をつくる。教科書では糸鋸で板を切っているが、本授業ではカッターナイフでステンボードを切ってボンドで貼り付けてつくる。 「だんボールで、試して、つくって」（開隆5・6上）から ダンボールを切ったり、曲げたり、剥がしたり、いろいろ試して、そこから思いついたものをつくる。	予習として、作品制作の構想を練り、必要な材料を持参する。（1時間以上）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
13	選択課題 制作	作業の進度が遅れている場合は、持ち帰って作業を進めておく（1時間以上）	
14	第14回 選択課題 制作・仕上げ	授業時間内に完成しない場合は、持ち帰って完成させておく。（1時間以上）	
15	作品鑑賞会 出来上がった作品の相互鑑賞	授業で配布された「作品鑑賞会 評価シート」を仕上げしておくこと（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： TISE20
授業形態： 演習
科目名： 家庭
担当教員： 大西 えい子(OONISHI Eiko)

【授業の紹介】

家庭科は家庭生活を中心とした生活を学習対象として、体験的・実践的に学習し、ひとりひとりがよりよく生きることを目標としている教科です。指導する教員は生活者としての視点と生活実践力を持つことが必要とされます。

この授業では、小学校家庭科の学習内容に関する演習や実習などの実践的・体験的な活動を中心として、小学校で家庭科の授業を行うために必要な知識と基礎的な技能を習得し、生活実践力の獲得にも繋がります。また、そのような活動を通じて生活者としての視点を養い、小学校家庭科の教材についての認識を深め、教材研究をする力を培います。被服製作実習では裁縫道具及び布地などの資材、調理実習では白衣またはエプロン、三角巾、マスク、布巾などの準備が必要です。また、共通で使用するものの材料費として受講生全員から実習費を徴収します。なお、設備の都合で受講人数を制限することもあります。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

生活者としての視点を持ち生活実践力を養うために、継続的に学ぼうとする態度を身に付けることができる。

小学校家庭科の授業を行うために必要な知識や基礎的な技能を習得することができる。

小学校家庭科の学習内容を把握した上で教材研究ができる。

【成績の評価】

授業態度及び意欲（10％）、予習復習の課題（20％）、提出物の提出状況や提出内容（50％）、教材研究のプレゼンテーション（20％）。提出物の未提出、本人からの事前連絡なしの遅刻、欠席は減点とする。30分以上の遅刻、または遅刻3回で欠席1回とみなす。被服製作及び調理実習については準備なしでの授業への参加は認めない。被服製作実習での製作物の提出及び調理実習の授業への参加は必須である。レポート等の課題及び評価については授業時間内に解説する。

【使用テキスト】

「小学校学習指導要領解説 家庭編」文部科学省、東洋館出版社、2017年

「わたしたちの家庭科5・6」開隆堂、2024年

【参考文献】

「人生の答えは家庭科に聞け！」堀内かおる、南野忠晴共著、岩波書店、2016

「シアワセなお金の使い方」南野忠晴著、岩波書店、2015

「僕が家庭科教師になったわけ：詰まるところの「生きる力」」小平陽一著、太郎次郎社エディタス、2016

「人生で大切なことはすべて家庭科で学べる：ふくしまの男性教員による授業」末松孝治著、文芸社、2014

「正しいパンツのたたみ方：新しい家庭科勉強法」南野忠治著、岩波書店、2011

その他関連する参考文献については講義の中で適宜説明する。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。小学校での家庭科指導の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	・オリエンテーション（授業のねらいと進め方について） ・「A家族・家庭生活」自立とは	予習として次回の授業内容を確認し、その範囲のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと（2時間）。	
2	・「A家族・家庭生活」家族・生活時間について ・「B衣食住の生活」「C消費生活・環境」エコ掃除について 指編みのエコたわしの製作	予習として次回の授業内容を確認し、その範囲のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと（2時間）。	
3	・「B衣食住の生活」衣生活分野 被服製作の基礎知識 ・「B衣食住の生活」衣生活分野 手縫いの基礎とボタンつけ	予習として次回の授業内容を確認し、その範囲のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと（2時間）。	
4	・「B衣食住の生活」衣生活分野 手縫い教材 あずま袋の製作 半返し縫い ・「B衣食住の生活」衣生活分野 手縫い教材 あずま袋の製作 仕上げ、ワッペン作り	予習として次回の授業内容を確認し、その範囲のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと（2時間）。	
5	・「B衣食住の生活」衣生活分野 ミシンの仕組み、ミシン縫いの基礎 ・「B衣食住の生活」衣生活分野 ミシン縫い教材 エコバッグの製作 脇縫い	予習として次回の授業内容を確認し、その範囲のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと（2時間）。	
6	・「B衣食住の生活」衣生活分野 ミシン縫い教材 エコバッグの製作 ひもつけ、仕上げ ・「B衣食住の生活」衣生活分野 「生活を豊かにするための布を用いた製作」型紙作成と裁断・しるしつけ	予習として次回の授業内容を確認し、その範囲のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと（2時間）。	
7	・「B衣食住の生活」衣生活分野 「生活を豊かにするための布を用いた製作」本縫い 脇縫い、あき口の始末 ・「B衣食住の生活」衣生活分野 「生活を豊かにするための布を用いた製作」本縫い 入れ口の始末	予習として次回の授業内容を確認し、その範囲のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと（2時間）。	
8	・「B衣食住の生活」衣生活分野 「生活を豊かにするための布を用いた製作」本縫い まち作り ・「B衣食住の生活」衣生活分野 「生活を豊かにするための布を用いた製作」本縫い ひも通し、仕上げ	予習として次回の授業内容を確認し、その範囲のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと（2時間）。	
9	・「B衣食住の生活」食生活分野 毎日何を食べていますか？自分の食生活を把握しよう ・「B衣食住の生活」食生活分野 何をどう食べるのか	予習として次回の授業内容を確認し、その範囲のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと（2時間）。	
10	・「B衣食住の生活」食生活分野	予習として次回の授業内容を確認し、その範	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	調理の基礎 ・「B衣食住の生活」食生活分野 鍋でご飯を炊いてみよう	困のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと（2時間）。	
11	・「B衣食住の生活」食生活分野 茹でる料理について ・「B衣食住の生活」食生活分野 茹でる料理の調理と評価	予習として次回の授業内容を確認し、その範囲のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと（2時間）。	
12	・「B衣食住の生活」食生活分野 味噌汁について ・「B衣食住の生活」食生活分野 味噌汁の調理と評価	予習として次回の授業内容を確認し、その範囲のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと（2時間）。	
13	・「B衣食住の生活」食生活分野 炒める料理について ・「B衣食住の生活」食生活分野 炒める料理の調理と評価	予習として次回の授業内容を確認し、その範囲のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと（2時間）。	
14	・教材研究のプレゼンテーション 衣・食分野 ・プレゼンテーションについての質疑応答	予習として次回の授業内容を確認し、その範囲のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと（2時間）。	
15	・教材研究のプレゼンテーション 住・環境分野 ・プレゼンテーションについての質疑応答	予習として次回の授業内容を確認し、その範囲のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと（2時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： KARA10
授業形態： 演習
科目名： 体育 -
担当教員： 花城 清紀(HANASHIRO Kiyonori)

【授業の紹介】

幼児や児童を対象として運動遊びや体育を指導するための実践的な能力を養成することを目的とする。従って授業では、各運動の特性を理解すると共に、運動の実践能力、さらには授業を行う際の指導法の基礎を獲得することが求められる。自ら体を動かしつつ、「各運動のコツ」について体験を通じて学習し、以下の内容について学びを深める。

- ・子どもの育ちを支えるための教育的実践力を学ぶ。
- ・体ほぐし運動や基礎・基本的な運動学習を通して、他者とのコミュニケーション能力を育む。
- ・わかって、できる論理的な思考力や創造力を生かした実践的指導力を養う。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	コミュニケーション能力	5
		専門的知識と実践力	5

【到達目標】

1. 小学校学習指導要領体育科における教科目標及び内容、指導上の留意点を理解できる。
2. 体づくり運動（特に体ほぐし）の基礎・基本を習得することができる。
3. 様々な基礎・基本的な運動（歩・走・跳・投・打・蹴）を習得することができる。

【成績の評価】

授業態度（40%）、小レポート（20%）、定期試験（40%）
出席率70%以上を原則として、評価点が全体の60%以上を合格とする。
定期試験の結果はオフィスアワーの際に解説する。小テスト、レポートは添削して授業時に返却する。
模範解答を示し、採点基準を説明する。

【使用テキスト】

使用せず、毎回資料を配布する。

【参考文献】

小学校学習指導要領解説 体育編（平成29年6月 文部科学省）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として子どもの身体や運動について日頃より興味のある用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（30分） 復習としてガイダンスの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
2	子どもの心とからだの発育発達特性（小学校低学年）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
3	子どもの心とからだの発育発達特性（小学校中学年）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
4	子どもの心とからだの発育発達特性（小学校高学年）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
5	体づくり運動（小学校低学年）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
6	体づくり運動（小学校中学年）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
7	体づくり運動（小学校高学年）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
8	基礎・基本的動作（立つ・歩く）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと	担当：花城 清紀

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		(30分)	
9	基礎・基本的動作（走る）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
10	基礎・基本的動作（跳ぶ）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
11	基礎・基本的動作（打つ・蹴る・泳ぐ）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
12	子どもの運動実践と心理的意義	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
13	子どもの運動実践と身体的意義	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
14	子どもの運動実践と社会的意義	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
15	まとめ（これまでの講義の復習及び質疑応答）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
	定期試験(実施する)		担当：花城 清紀

科目ナンバリング： KARA11
授業形態： 演習
科目名： 体育 -
担当教員： 花城 清紀(HANASHIRO Kiyonori)

【授業の紹介】

幼児や児童を対象として運動遊びや体育を指導するための実践的な能力を養成することを目的とする。従って授業では、各運動の特性を理解すると共に、運動の実践能力、さらには授業を行う際の指導法の基礎を獲得することが求められる。自ら体を動かしつつ、「各運動のコツ」について体験を通じて学習し、以下の内容について学びを深める。

- ・教師としての使命感、倫理観をもって児童と向かう。
- ・体の動きを高める運動を知識と実践を関連づけて学ばせる。
- ・自ら考えると共に仲間と意見交換しながら、課題解決していく協同性を養う。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	コミュニケーション能力	5
		専門的知識と実践力	5

【到達目標】

1. 小学校学習指導要領体育科における教科目標及び内容、指導上の留意点を説明できる。
2. 体づくり運動（特に体の動きを高める運動）の基礎・基本を習得することができる。
3. 基礎・基本的な運動を活用した組み合わせ運動を習得することができる。

【成績の評価】

授業態度（40%）、小レポート（20%）、定期試験（40%）
出席率70%以上を原則として、評価点が全体の60%以上を合格とする。
定期試験の結果はオフィスアワーの際に解説する。小テスト、レポートは添削して授業時に返却する。
模範解答を示し、採点基準を説明する。

【使用テキスト】

使用せず、毎回資料を配布する。

【参考文献】

小学校学習指導要領解説 体育編（平成29年6月 文部科学省）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として子どもの身体や運動について日頃より興味のある用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（30分） 復習としてガイダンスの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
2	子どもの心とからだの体力的特性（小学校低学年）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
3	子どもの心とからだの体力的特性（小学校中学年）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
4	子どもの心とからだの体力的特性（小学校高学年）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
5	子どもの運動能力的特性（小学校低学年）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
6	子どもの運動能力的特性（小学校中学年）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
7	子どもの運動能力的特性（小学校高学年）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
8	体の動きを高める段階的運動指導法（小学校低学年）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
9	体の動きを高める段階的運動指導法（小学校中学年）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、	担当：花城 清紀

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
10	体の動きを高める段階的運動指導法（小学校高学年）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
11	子どもの体力的特性を踏まえた運動指導法	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
12	子どもの心理的特性を配慮した運動指導法	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
13	子どもの社会性を踏まえた運動指導法	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
14	運動会を楽しむ指導法	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
15	まとめ（これまでの講義の復習及び質疑応答）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
	定期試験(実施する)		担当：花城 清紀

科目ナンバリング： TISE8
授業形態： 講義
科目名： 小学校英語
担当教員： 竹田 忠弘(TAKEDA Tadahiro)

【授業の紹介】

小学校英語教育についての基礎的な知識・理解を深め、子どもの第二言語習得についての知識とその活用法を学び、授業実践に必要な基礎的な指導技術を修得する。知識・理解を深めるために、調べてきたことや準備してきたことを発表する授業形態をとり、知識の活用法や指導技術を身に付けるために、ペアワークやグループワークによる言語活動を学生が自ら体験しながら学ぶ。
また、講義、演習、実習を組み合わせ、主体的・対話的で深い学びになるよう、講義中心ではなくワークショップ中心の授業を行う。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	6. 教育・保育に関する多様な情報を収集・分析して、論理的な思考力と創造力を用いて適切に判断できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

- ・ 小学校における外国語活動（英語）の学習、指導、評価に関する基本的な知識や指導技術を身に付けることができる。
- ・ 英語を使ってコミュニケーションを図るための素地を児童に効果的に習得させることができる。
- ・ 英語の発音やアクセントなど、音声指導が確実にできる。
- ・ 小学校英語教育に求められる英語力を身に付けることができる。

【成績の評価】

「授業への関心・意欲・態度」10%、「レポート等、授業以外に課す課題」10%、「小テスト」20%、「絵本の読み聞かせ及びShow & Tell」20%、「定期試験」40%の5項目を総合的に評価します。レポート、小テスト、絵本の読み聞かせ及びShow & Tellについては、その都度フィードバックを行います。
なお、30分以上の遅刻は欠席とみなし、また、遅刻3回で欠席1回とみなします。

【使用テキスト】

小学校英語 はじめる教科書 改訂版
外国語科・外国語活動指導者養成のために コア・カリキュラムに沿って
(小川隆夫、東仁美著、mpi松香フォニックス、2021)

【参考文献】

小学校学習指導要領、小学校学習指導要領解説 外国語編及び外国語活動編
(平成29年3月 文部科学省)

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 「第二部 外国語に関する専門的事項」について	予習として、テキストの各回に実施する範囲を読み、内容を発表できるようにして授業に臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）	
2	Unit 1 小学校英語教育の変遷 Unit 2 英語の音声	予習として、テキストの各回に実施する範囲を読み、内容を発表できるようにして授業に臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）	
3	Unit 3 発音と綴りの関係 Unit 4 英語の文構造・文法	予習として、テキストの各回に実施する範囲を読み、内容を発表できるようにして授業に臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）	
4	Unit 5 英語の語彙 Unit 6 第二言語習得に関する基本的な知識	予習として、テキストの各回に実施する範囲を読み、内容を発表できるようにして授業に臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）	
5	Unit 5 英語の語彙 Unit 6 第二言語習得に関する基本的な知識	予習として、テキストの各回に実施する範囲を読み、内容を発表できるようにして授業に臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）	
6	「絵本の読み聞かせ」テスト	予習として、テキストの各回に実施する範囲を読み、内容を発表できるようにして授業に臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）	
7	Unit 9 異文化理解 Unit 10 英語の書き方	予習として、テキストの各回に実施する範囲を読み、内容を発表できるようにして授業に臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）	
8	Unit 11 英語コミュニケーション（聞くこと）	予習として、テキストの各回に実施する範囲を読み、内容を発表できるようにして授業に臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）	
9	Unit 12 英語コミュニケーション（読むこと）	予習として、テキストの各回に実施する範囲を読み、内容を発表できるようにして授業に臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）	
10	Unit 13 英語コミュニケーション（話すこと）	予習として、テキストの各回に実施する範囲を読み、内容を発表できるようにして授業に臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）	
11	Unit 14 英語コミュニケーション（書くこと）	予習として、テキストの各回に実施する範囲を読み、内容を発表できるようにして授業に臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）	
12	Unit 15 英語コミュニケーション(領域統合型の言語活動)	予習として、テキストの各回に実施する範囲を読み、内容を発表できるようにして授業に臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）	
13	"Show & Tell" テスト	予習として、スピーチの原稿を読んで覚え、発表できるようにしてくる。（2時間）また、復習として、思うようにできなかった箇所を見直し、今後の改善につなげる。（2時間）	
14	教室英語の小テスト 小学校教員採用試験問題（英語）にTry!	予習として、小テスト勉強をするとともに、過去10年分の香川県教員採用試験問題（英語）に実力で取り組んでくる。（2時間）また、復習として、解説を聞いて間違った問題の復習をする。（2時間）	
15	教室英語の小テスト 小学校教員採用試験問題（英語）の復習	予習として、小テスト勉強をするとともに、過去10年分の香川県教員採用試験問題（英語）に実力で取り組んでくる。（2時間）また、復習として、解説を聞いて間違った問題の復習をする。（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： KYOU1

授業形態： 演習

科目名： 国語指導法

担当教員： 秋山 達也(AKIYAMA Tatsuya)

【授業の紹介】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。小学校の教育現場での授業や教育研究会での公開授業・提案発表の経験を生かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

「国語指導法」は、小学校の国語科「思考力・判断力・表現力」の全領域「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」を、その目的、内容評価について、原理原論的立場からと、実践的立場からの両面について考えます。

*リモートでの実施に備え、Classroomへの参加、準備をお願いします。

クラス名：2024国語指導法 クラスコード：4rw24s4

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

国語科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、国語科の全領域を指導するために必要な指導力を明らかにします。様々な学習指導理論を検討し、確かな理論に基づく指導を展開できる実践的実践力の向上をめざします。「学位授与の方針」にある「知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解」することの基礎として、次の3点を到達目標とします。

学習指導要領における国語科の目標・主要内容・全体構造を理解できる。

PISA調査で明らかになった「読解力」の課題と、新学習指導要領改訂への繋がりを理解できる。

具体的な指導場面を通して、「思考力・判断力・表現力」を育成する授業のあり方を考えることができる。

【成績の評価】

・期末試験を基本とし(80%)、実践記録感想文等の提出物(10%)、授業への取り組み・授業態度(10%)等を併せ総合的に評価します。定期試験は後期授業に返却、解説し内容の定着を図ります。

【使用テキスト】

- 『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編』(東洋館出版、2018年)
- 『新編 あたらしいこくご』(一上～六上)(東京書籍、令和2年版)

【参考文献】

- ・教師修行9 国語の授業が楽しくなる(向山洋一著、明治図書、1986年)
- ・読解力を高める国語科授業の改革 PISA型読解力を中心に(鶴田清司著、明治図書、2008年)
- ・国語科授業批判(宇佐見寛著、明治図書、1986年)

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。小学校の現場での授業実践の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス（授業のすすめ方、実践記録を読むことの必要性、「百人一首」札取りの分担）	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科教育の実践記録を読み、指導理論・方法についてまとめる（毎月：A41枚1400字程度） ・小学校の担当漢字に関するテストを毎回実施します。読み・筆順等の学習を行って来てください。また、学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身につけるよう努力してください。 毎日、最低でも30分以上の時間を上記2点の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねること。 	
2	PISA調査と「読解力」（1）PISA調査の概要と日本の児童生徒の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科教育の実践記録を読み、指導理論・方法についてまとめる（毎月：A41枚1400字程度） ・小学校の担当漢字に関するテストを毎回実施します。読み・筆順等の学習を行って来てください。また、学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身につけるよう努力してください。 毎日、最低でも30分以上の時間を上記2点の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねること。 	
3	PISA調査と「読解力」（2）PISA2003年調査以降の「読解力」向上の施策	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科教育の実践記録を読み、指導理論・方法についてまとめる（毎月：A41枚1400字程度） ・小学校の担当漢字に関するテストを毎回実施します。読み・筆順等の学習を行って来てください。また、学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身につけるよう努力してください。 毎日、最低でも30分以上の時間を上記2点の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねること。 	
4	国語科の全体構造と新旧学習指導要領の比較	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科教育の実践記録を読み、指導理論・方法についてまとめる（毎月：A41枚1400字程度） ・小学校の担当漢字に関するテストを毎回実施します。読み・筆順等の学習を行って来てください。また、学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身につけるよう努力してください。 毎日、最低でも30分以上の時間を上記2点の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねること。 	
5	「話すこと・聞くこと」の理論（「思考力・判断力・表現力」と「知識及び技能」）	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科教育の実践記録を読み、指導理論・方法についてまとめる（毎月：A41枚1400字程度） ・小学校の担当漢字に関するテストを毎回実施します。読み・筆順等の学習を行って来てください。また、学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身につけるよう努力してください。 毎日、最低でも30分以上の時間を上記2点の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねること。 	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
6	「話すこと・聞くこと」の実際（１）「思考力・判断力・表現力」を身につける「言語活動例」	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科教育の実践記録を読み、指導理論・方法についてまとめる（毎月：A41枚1400字程度） ・小学校の配当漢字に関するテストを毎回実施します。読み・筆順等の学習を行って来てください。また、学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身につけるよう努力してください。 毎日、最低でも30分以上の時間を上記２点の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねること。 	
7	「話すこと・聞くこと」の実際（２）「言語活動例」を通した「知識及び技能」の指導	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科教育の実践記録を読み、指導理論・方法についてまとめる（毎月：A41枚1400字程度） ・小学校の配当漢字に関するテストを毎回実施します。読み・筆順等の学習を行って来てください。また、学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身につけるよう努力してください。 毎日、最低でも30分以上の時間を上記２点の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねること。 	
8	「書くこと」の理論（「思考力・判断力・表現力」と「知識及び技能」）	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科教育の実践記録を読み、指導理論・方法についてまとめる（毎月：A41枚1400字程度） ・小学校の配当漢字に関するテストを毎回実施します。読み・筆順等の学習を行って来てください。また、学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身につけるよう努力してください。 毎日、最低でも30分以上の時間を上記２点の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねること。 	
9	「書くこと」の実際（１）「思考力・判断力・表現力」を身につける「言語活動例」	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科教育の実践記録を読み、指導理論・方法についてまとめる（毎月：A41枚1400字程度） ・小学校の配当漢字に関するテストを毎回実施します。読み・筆順等の学習を行って来てください。また、学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身につけるよう努力してください。 毎日、最低でも30分以上の時間を上記２点の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねること。 	
10	「書くこと」の実際（２）「言語活動例」を通した「知識及び技能」の指導	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科教育の実践記録を読み、指導理論・方法についてまとめる（毎月：A41枚1400字程度） ・小学校の配当漢字に関するテストを毎回実施します。読み・筆順等の学習を行って来てください。また、学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身につけるよう努力してください。 毎日、最低でも30分以上の時間を上記２点の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねること。 	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	「読むこと」の理論（「思考力・判断力・表現力」と「知識及び技能」）	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科教育の実践記録を読み、指導理論・方法についてまとめる（毎月：A41枚1400字程度） ・小学校の配当漢字に関するテストを毎回実施します。読み・筆順等の学習を行って来てください。また、学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身につけるよう努力してください。 毎日、最低でも30分以上の時間を上記2点の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねること。 	
12	「読むこと」の実際（1）「思考力・判断力・表現力」を身につける「言語活動例」	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科教育の実践記録を読み、指導理論・方法についてまとめる（毎月：A41枚1400字程度） ・小学校の配当漢字に関するテストを毎回実施します。読み・筆順等の学習を行って来てください。また、学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身につけるよう努力してください。 毎日、最低でも30分以上の時間を上記2点の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねること。 	
13	「読むこと」の実際（2）「言語活動例」を通じた「知識及び技能」の指導	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科教育の実践記録を読み、指導理論・方法についてまとめる（毎月：A41枚1400字程度） ・小学校の配当漢字に関するテストを毎回実施します。読み・筆順等の学習を行って来てください。また、学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身につけるよう努力してください。 毎日、最低でも30分以上の時間を上記2点の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねること。 	
14	国語科における「主体的・対話的で深い学びの実現を図る」デジタル教科書の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科教育の実践記録を読み、指導理論・方法についてまとめる（毎月：A41枚1400字程度） ・小学校の配当漢字に関するテストを毎回実施します。読み・筆順等の学習を行って来てください。また、学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身につけるよう努力してください。 毎日、最低でも30分以上の時間を上記2点の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねること。 	
15	これからの読書指導（大村はま実践とアニメーション等）	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科教育の実践記録を読み、指導理論・方法についてまとめる（毎月：A41枚1400字程度） ・小学校の配当漢字に関するテストを毎回実施します。読み・筆順等の学習を行って来てください。また、学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身につけるよう努力してください。 毎日、最低でも30分以上の時間を上記2点の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねること。 	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： KYOU2
授業形態： 演習
科目名： 国語指導法
担当教員： 秋山 達也(AKIYAMA Tatsuya)

【授業の紹介】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。小学校の教育現場での授業や教育研究会での公開授業・提案発表の経験を生かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。
国語科の全領域を、実際に教壇に立った際に指導できるために必要な実践的指導力のトレーニングを行います。その活動を通して、「思考力・判断力・表現力」の育成を検討します。

* リモートでの実施に備え、Classroomへの参加、準備をお願いします。
クラス名：2024国語指導法 ・ クラスコード：4rw24s4

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

模擬授業等の活動を通し、「学位授与の方針」にある「知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解することとして、次の実践的指導力を身に付けることができる。」
1. 目標を明確にした授業略案と板書計画案をそれぞれA4用紙1枚程度に表すことができる。
2. 発問・指示・説明(指導言)を吟味し、揺れのない明確な指導言を発することができる。
3. 必要な教材教具の準備ができ、授業において効果的に活用できる。

【成績の評価】

「話すこと・聞くこと」「音読」「漢字」「百人一首」の各指導(10%)、「模擬授業」(50%)の評価を基本とし、授業への取り組み・授業態度(10%)等を併せ総合的に評価します。各指導・模擬授業は授業において随時、評価・解説し、改善点等を示します。

【使用テキスト】

- 『小学校学習指導要領解説(平成29年告示) 国語編』(東洋館出版、2018年)
- 『新編 あたらしいこくご(一上～六上)』(東京書籍、令和2年版)

【参考文献】

- ・教育新書1 授業の腕を上げる法則(向山洋一著、明治図書、1985年)
- ・教員採用試験 シリーズ「模擬授業・場面指導」(野口芳宏著、一ツ橋書店、2016年)

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。小学校の現場での授業実践の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	学習計画説明（「範読」「音読指導」「話すこと・聞くことの指導」「漢字指導」「模擬授業」の分担）	<p>模擬授業に関する資料参照、学習指導案作成のアドバイス等オフィスアワーを含め随時対応しますので、空き時間を利用して、積極的に実践的指導力の向上を図ってください。 空き時間等に学友と模擬授業を見せ合い、多様な視点からの授業づくりに心がけてください。</p> <p>学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身につけるよう努力してください。 毎日、最低でも30分以上の時間を の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねてください。</p>	
2	教科書教材の「範読」（１）音読・朗読における「知識及び技能」 学生による「範読」活動	<p>模擬授業に関する資料参照、学習指導案作成のアドバイス等オフィスアワーを含め随時対応しますので、空き時間を利用して、積極的に実践的指導力の向上を図ってください。 空き時間等に学友と模擬授業を見せ合い、多様な視点からの授業づくりに心がけてください。</p> <p>学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身につけるよう努力してください。 毎日、最低でも30分以上の時間を の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねてください。</p>	
3	教科書教材の「範読」（２）音読・朗読と「思考力・判断力・表現力」 学生による「範読」活動	<p>模擬授業に関する資料参照、学習指導案作成のアドバイス等オフィスアワーを含め随時対応しますので、空き時間を利用して、積極的に実践的指導力の向上を図ってください。 空き時間等に学友と模擬授業を見せ合い、多様な視点からの授業づくりに心がけてください。</p> <p>学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身につけるよう努力してください。 毎日、最低でも30分以上の時間を の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねてください。</p>	
4	「話すこと・聞くこと」の指導における「知識及び技能」 学生による模擬授業	<p>模擬授業に関する資料参照、学習指導案作成のアドバイス等オフィスアワーを含め随時対応しますので、空き時間を利用して、積極的に実践的指導力の向上を図ってください。 空き時間等に学友と模擬授業を見せ合い、多様な視点からの授業づくりに心がけてください。</p> <p>学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身につけるよう努力してください。 毎日、最低でも30分以上の時間を の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねてください。</p>	
5	「話すこと・聞くこと」の指導における「思考力・判断力・表現力」 学生による模擬授業	<p>模擬授業に関する資料参照、学習指導案作成のアドバイス等オフィスアワーを含め随時対応しますので、空き時間を利用して、積極的に実践的指導力の向上を図ってください。 空き時間等に学友と模擬授業を見せ合い、多様な視点からの授業づくりに心がけてください。</p> <p>学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>につけるよう努力してください。 毎日、最低でも30分以上の時間を の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねてください。</p>	
6	<p>「話すこと・聞くこと」の振り返り 指導技術と評価のあり方 デジタル教科書の活用</p>	<p>模擬授業に関する資料参照、学習指導案作成のアドバイス等オフィスアワーを含め随時対応しますので、空き時間を利用して、積極的に実践的指導力の向上を図ってください。 空き時間等に学友と模擬授業を見せ合い、多様な視点からの授業づくりに心がけてください。 学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身につけるよう努力してください。 毎日、最低でも30分以上の時間を の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねてください。</p>	
7	<p>「音読指導」における「知識及び技能」 学生による模擬授業</p>	<p>模擬授業に関する資料参照、学習指導案作成のアドバイス等オフィスアワーを含め随時対応しますので、空き時間を利用して、積極的に実践的指導力の向上を図ってください。 空き時間等に学友と模擬授業を見せ合い、多様な視点からの授業づくりに心がけてください。 学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身につけるよう努力してください。 毎日、最低でも30分以上の時間を の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねてください。</p>	
8	<p>「音読指導」における「思考力・判断力・表現力」 学生による模擬授業</p>	<p>模擬授業に関する資料参照、学習指導案作成のアドバイス等オフィスアワーを含め随時対応しますので、空き時間を利用して、積極的に実践的指導力の向上を図ってください。 空き時間等に学友と模擬授業を見せ合い、多様な視点からの授業づくりに心がけてください。 学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身につけるよう努力してください。 毎日、最低でも30分以上の時間を の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねてください。</p>	
9	<p>「音読指導」の振り返り 指導技術と評価のあり方 デジタル教科書の活用</p>	<p>模擬授業に関する資料参照、学習指導案作成のアドバイス等オフィスアワーを含め随時対応しますので、空き時間を利用して、積極的に実践的指導力の向上を図ってください。 空き時間等に学友と模擬授業を見せ合い、多様な視点からの授業づくりに心がけてください。 学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身につけるよう努力してください。 毎日、最低でも30分以上の時間を の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねてください。</p>	
10	<p>「漢字指導」における「知識及び技能」 学生による模擬授業</p>	<p>模擬授業に関する資料参照、学習指導案作成のアドバイス等オフィスアワーを含め随時対応しますので、空き時間を利用して、積極的に実践的指導力の向上を図ってください。 空き時間等に学友と模擬授業を見せ合い、</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>多様な視点からの授業づくりに心がけてください。</p> <p>学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身につけるよう努力してください。</p> <p>毎日、最低でも30分以上の時間を の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねてください。</p>	
11	<p>「漢字指導」における「思考力・判断力・表現力」 学生による模擬授業</p>	<p>模擬授業に関する資料参照、学習指導案作成のアドバイス等オフィスアワーを含め随時対応しますので、空き時間を利用して、積極的に実践的指導力の向上を図ってください。</p> <p>空き時間等に学友と模擬授業を見せ合い、多様な視点からの授業づくりに心がけてください。</p> <p>学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身につけるよう努力してください。</p> <p>毎日、最低でも30分以上の時間を の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねてください。</p>	
12	<p>「漢字指導」の振り返り 指導技術と評価のあり方 デジタル教科書の活用</p>	<p>模擬授業に関する資料参照、学習指導案作成のアドバイス等オフィスアワーを含め随時対応しますので、空き時間を利用して、積極的に実践的指導力の向上を図ってください。</p> <p>空き時間等に学友と模擬授業を見せ合い、多様な視点からの授業づくりに心がけてください。</p> <p>学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身につけるよう努力してください。</p> <p>毎日、最低でも30分以上の時間を の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねてください。</p>	
13	<p>教科書教材を用いた模擬授業（１）「知識及び技能」に関わる指導</p>	<p>模擬授業に関する資料参照、学習指導案作成のアドバイス等オフィスアワーを含め随時対応しますので、空き時間を利用して、積極的に実践的指導力の向上を図ってください。</p> <p>空き時間等に学友と模擬授業を見せ合い、多様な視点からの授業づくりに心がけてください。</p> <p>学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身につけるよう努力してください。</p> <p>毎日、最低でも30分以上の時間を の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねてください。</p>	
14	<p>教科書教材を用いた模擬授業（２）「思考力・判断力・表現力」の指導</p>	<p>模擬授業に関する資料参照、学習指導案作成のアドバイス等オフィスアワーを含め随時対応しますので、空き時間を利用して、積極的に実践的指導力の向上を図ってください。</p> <p>空き時間等に学友と模擬授業を見せ合い、多様な視点からの授業づくりに心がけてください。</p> <p>学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身につけるよう努力してください。</p> <p>毎日、最低でも30分以上の時間を の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねてください。</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
15	教科書教材を用いた模擬授業の振り返り 指導技術と評価のあり方 デジタル教科書の活用	<p>模擬授業に関する資料参照、学習指導案作成のアドバイス等オフィスアワーを含め随時対応しますので、空き時間を利用して、積極的に実践的指導力の向上を図ってください。空き時間等に学友と模擬授業を見せ合い、多様な視点からの授業づくりに心がけてください。</p> <p>学内で実施される「漢字能力検定」「日本語検定」を積極的に受検するなど、教科の指導を担えるだけの基礎的・基本的な学力を身につけるよう努力してください。</p> <p>毎日、最低でも30分以上の時間を の学習にあて、教職に就くにあたって必要とされる知識・教養・技能を積み重ねてください。</p>	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： KYOU3
授業形態： 演習
科目名： 社会科指導法
担当教員： 野村 一夫(NOMURA Kazuo)

【授業の紹介】

学校学習指導要領に示された社会科の目標、内容及び内容の取扱いを踏まえた授業設計や教材の開発、指導法、評価等についての基礎的な理解を深め、学習指導案が作成できるようになることを目指します。また、ディスカッション、グループワーク及びプレゼンテーションを通して、小学校教員としての資質・能力の基礎を培い実践力の育成を図ります。この授業ではClassroom(クラスコード：k6kx3gh)を使用し、資料配付や課題「授業リフレクション」の提示などを行います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	5. 子どもの教育・保育にかかる諸問題を自ら発見し、その問題を解決することができる。
		6. 教育・保育に関する多様な情報を収集・分析して、論理的な思考力と創造力を用いて適切に判断できる。
		7. 教育・保育に係る資質向上に向けて継続的に学ぶ能力を持っている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

1. 小学校社会科の目標や各学年の目標、内容、内容の取扱い、評価などについて理解し、児童の発達段階を踏まえその特色を述べることができる。
2. 指導案作成の意義と基本を理解し、単元構想を具現化する学習指導案を作成することができる。

【成績の評価】

学修内容の理解度はもとより、学修に対する意欲と態度を評価します。「教材開発アイデア素材集(デジタルスクラップブック)」の提出(40%)、「授業リフレクション」の提出(20%)、定期試験(40%)とします。「授業リフレクション」の提出はClassroomで行い、返却の際にコメントします。「教材開発アイデア素材集(デジタルスクラップブック)」を紹介し、相互評価します。定期試験は、採点基準を説明します。

【使用テキスト】

小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編 平成30年 文部科学省
小学校教科書「新しい社会」3年、4年、5年上・下、6年上・下 令和2年 東京書籍
小学校教科書「楽しく学ぶ小学生の地図帳」 令和2年 帝国書院

【参考文献】

香川県小学校社会科教育研究会 社会に開かれた教育課程による2タイプの社会科学習 2019年 東洋館出版社

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。教育行政と小学校教員の経験を活かし、社会科指導のポイント及び留意事項等について解説します。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（小学校社会科学習のイメージ）	予習として、社会科指導を通じて留意したい点を考え、ノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、小学校社会科指導における留意点を整理し、授業リフレクションを記入すること。（1時間）	
2	小学校社会科の目標と内容及び内容の取扱い：解説の構成と読み方	予習として新聞やニュース、旅行先、身近な地域などで気にかかる社会事象や社会問題を収集し、「教材開発アイデア素材集(デジタルスクラップブック)」を作成すること。（1時間）復習として、学習指導要領解説の活用法を整理し、授業リフレクションに記入すること。（1時間）	
3	単元構想と問題解決的な学習の進め方	予習として新聞やニュース、旅行先、身近な地域などで気にかかる社会事象や社会問題を収集し、「教材開発アイデア素材集(デジタルスクラップブック)」を作成すること。（1時間）復習として、問題解決的な学習活動を取り入れた単元計画の在り方を整理し、授業リフレクションに記入すること。（1時間）	
4	情報機器及び映像資料等の特色と活用：指導計画作成上の配慮事項	予習として新聞やニュース、旅行先、身近な地域などで気にかかる社会事象や社会問題を収集し、「教材開発アイデア素材集(デジタルスクラップブック)」を作成すること。（1時間）復習として、情報機器等の活用法を整理し、授業リフレクションに記入すること。（1時間）	
5	地域教材の開発と観察や見学・調査など体験的な学習の進め方：指導計画作成上の配慮事項	予習として新聞やニュース、旅行先、身近な地域などで気にかかる社会事象や社会問題を収集し、「教材開発アイデア素材集(デジタルスクラップブック)」を作成すること。（1時間）復習として、地域教材開発の在り方を整理し、授業リフレクションに記入すること。（1時間）	
6	教科書や副読本、資料、地図、地球儀の役割と活用：指導計画作成上の配慮事項	予習として新聞やニュース、旅行先、身近な地域などで気にかかる社会事象や社会問題を収集し、「教材開発アイデア素材集(デジタルスクラップブック)」を作成すること。（1時間）復習として、学習材の必要性を整理し、授業リフレクションに記入すること。（1時間）	
7	国土と産業に関する学習の進め方：指導計画作成上の配慮事項	予習として新聞やニュース、旅行先、身近な地域などで気にかかる社会事象や社会問題を収集し、「教材開発アイデア素材集(デジタルスクラップブック)」を作成すること。（1時間）復習として、地理的な見方・考え方のポイントを整理し、授業リフレクションに記入すること。（1時間）	
8	政治・国際、歴史に関する学習の進め方：指導計画作成上の配慮事項	予習として新聞やニュース、旅行先、身近な地域などで気にかかる社会事象や社会問題を収集し、「教材開発アイデア素材集(デジタルスクラップブック)」を作成すること。（1時間）復習として、指導計画作成上のポイントを整理し、授業リフレクションに記入すること。（1時間）	
9	教科書及び実践記録等の分析（第3学年）	予習として新聞やニュース、旅行先、身近な地域などで気にかかる社会事象や社会問題を収集し、「教材開発アイデア素材集(デジタルスクラップブック)」を作成すること。（1時間）復習として、第3学年の内容構成と指導のポイントを整理し、授業リフレク	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		シヨンに記入すること。（1時間）	
10	教科書及び実践記録等の分析（第4学年）	予習として新聞やニュース、旅行先、身近な地域などで気にかかる社会事象や社会問題を収集し、「教材開発アイデア素材集(デジタルスクラップブック)」を作成すること。 （1時間）復習として、第4学年の内容構成と指導のポイントを整理し、授業リフレクシヨンに記入すること。（1時間）	
11	教科書及び実践記録等の分析（第5学年）	予習として新聞やニュース、旅行先、身近な地域などで気にかかる社会事象や社会問題を収集し、「教材開発アイデア素材集(デジタルスクラップブック)」を作成すること。 （1時間）復習として、第5学年の内容構成と指導のポイントを整理し、授業リフレクシヨンに記入すること。（1時間）	
12	教科書及び実践記録等の分析（第6学年）	予習として新聞やニュース、旅行先、身近な地域などで気にかかる社会事象や社会問題を収集し、「教材開発アイデア素材集(デジタルスクラップブック)」を作成すること。 （1時間）復習として、第6学年の内容構成と指導のポイントを整理し、授業リフレクシヨンに記入すること。（1時間）	
13	単元構想と学習指導案の作成方法	予習として新聞やニュース、旅行先、身近な地域などで気にかかる社会事象や社会問題を収集し、「教材開発アイデア素材集(デジタルスクラップブック)」を作成すること。 （1時間）復習として、学習指導案の作成方法を整理し、授業リフレクシヨンに記入すること。（1時間）	
14	単元構想と学習指導案の作成と相互評価	予習として新聞やニュース、旅行先、身近な地域などで気にかかる社会事象や社会問題を収集し、「教材開発アイデア素材集(デジタルスクラップブック)」を作成すること。 （1時間）復習として、学習指導案の在り方を整理し、授業リフレクシヨンに記入すること。（1時間）	
15	「教材開発素材集」の発表と相互評価	予習として新聞やニュース、旅行先、身近な地域などで気にかかる社会事象や社会問題を収集し、「教材開発アイデア素材集(デジタルスクラップブック)」を作成すること。 （1時間）復習として、教材開発のポイントを整理し、授業リフレクシヨンに記入すること。（1時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： KYOU4
授業形態： 演習
科目名： 社会科指導法
担当教員： 野村 一夫(NOMURA Kazuo)

【授業の紹介】

小学校学習指導要領に示された社会科の目標、内容及び内容の取扱いを踏まえた授業設計や教材の開発、指導法、評価等についての基礎的な理解を深め、小学校教員としての資質・能力の基礎を培い実践力を育成することを目指します。

また、指導案、板書計画案及び配付資料等を作成して模擬授業を行い、ディスカッションやグループワークを通して個別最適な学習指導の在り方を考え、追究します。

この授業ではClassroom(クラスコード：2wx5vy3)を使用し、模擬授業に係る資料配付や課題「授業リフレクション」の提示などを行います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	5. 子どもの教育・保育にかかる諸問題を自ら発見し、その問題を解決することができる。
		6. 教育・保育に関する多様な情報を収集・分析して、論理的な思考力と創造力を用いて適切に判断できる。
		7. 教育・保育に係る資質向上に向けて継続的に学ぶ能力を持っている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

1. 小学校社会科の目標、各学年の内容、方法及び評価について理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計ができる。
2. 模擬授業を通して、授業改善の在り方を具体的に述べることができる。

【成績の評価】

学修内容の理解度はもとより、学修に対する意欲と態度を評価します。

修正学習指導案(40%)、「授業リフレクション」の提出(20%)、定期試験(40%)とします。

「授業リフレクション」の提出は、Classroomをで行い、課題返却の際にコメントします。

<<各回の資料配布・課題提出>>Google Classroom

定期試験は、採点基準を説明します。

【使用テキスト】

小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編 平成30年 文部科学省

小学校教科書「新しい社会」3年、4年、5年上・下、6年上・下 令和2年 東京書籍

小学校教科書「楽しく学ぶ小学生の地図帳」 令和2年 帝国書院

【参考文献】

随時紹介する

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。教育行政と小学校教員の経験を活かし、社会科指導の在り方と指導上の留意事項などを解説します。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（印象に残っている小学校社会科授業）	予習として、印象に残っている社会科学習を分析し、その理由をノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、模擬授業の指導案を作成する際のポイントを整理し、授業リフレクションに記入すること。（1時間）	
2	各学年の目標、内容及び内容の取扱い	予習として模擬授業の実施に向けて教材研究を行い、学習指導案と板書計画及び資料等を作成すること。（1時間）復習として模擬授業の相互評価で学んだことを毎回整理し、「樹豪リフレクション」を記入すること。（1時間）	
3	模擬授業と授業改善：第3学年 地域社会の社会的事象	予習として模擬授業の実施に向けて教材研究を行い、学習指導案と板書計画及び資料等を作成すること。（1時間）復習として模擬授業の相互評価で学んだことを毎回整理し、「樹豪リフレクション」を記入すること。（1時間）	
4	模擬授業と授業改善：第3学年 地域社会の社会的事象	予習として模擬授業の実施に向けて教材研究を行い、学習指導案と板書計画及び資料等を作成すること。（1時間）復習として模擬授業の相互評価で学んだことを毎回整理し、「樹豪リフレクション」を記入すること。（1時間）	
5	模擬授業と授業改善：第4学年 地域社会の社会的事象	予習として模擬授業の実施に向けて教材研究を行い、学習指導案と板書計画及び資料等を作成すること。（1時間）復習として模擬授業の相互評価で学んだことを毎回整理し、「樹豪リフレクション」を記入すること。（1時間）	
6	模擬授業と授業改善：第4学年 地域社会の社会的事象	予習として模擬授業の実施に向けて教材研究を行い、学習指導案と板書計画及び資料等を作成すること。（1時間）復習として模擬授業の相互評価で学んだことを毎回整理し、「樹豪リフレクション」を記入すること。（1時間）	
7	模擬授業と授業改善：第4学年 地域社会の社会的事象	予習として模擬授業の実施に向けて教材研究を行い、学習指導案と板書計画及び資料等を作成すること。（1時間）復習として模擬授業の相互評価で学んだことを毎回整理し、「樹豪リフレクション」を記入すること。（1時間）	
8	模擬授業と授業改善：第5学年 我が国の国土や産業	予習として模擬授業の実施に向けて教材研究を行い、学習指導案と板書計画及び資料等を作成すること。（1時間）復習として模擬授業の相互評価で学んだことを毎回整理し、「樹豪リフレクション」を記入すること。（1時間）	
9	模擬授業と授業改善：第5学年 我が国の国土や産業	予習として模擬授業の実施に向けて教材研究を行い、学習指導案と板書計画及び資料等を作成すること。（1時間）復習として模擬授業の相互評価で学んだことを毎回整理し、「樹豪リフレクション」を記入すること。（1時間）	
10	模擬授業と授業改善：第5学年 我が国の国土や産業	予習として模擬授業の実施に向けて教材研究を行い、学習指導案と板書計画及び資料等を作成すること。（1時間）復習として模擬授業の相互評価で学んだことを毎回整理し、「樹豪リフレクション」を記入すること。（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	模擬授業と授業改善：第6学年 我が国の政治の働き	予習として模擬授業の実施に向けて教材研究を行い、学習指導案と板書計画及び資料等を作成すること。（1時間）復習として模擬授業の相互評価で学んだことを毎回整理し、「樹豪リフレクション」を記入すること。（1時間）	
12	模擬授業と授業改善：第6学年 我が国の歴史上の主な事象	予習として模擬授業の実施に向けて教材研究を行い、学習指導案と板書計画及び資料等を作成すること。（1時間）復習として模擬授業の相互評価で学んだことを毎回整理し、「樹豪リフレクション」を記入すること。（1時間）	
13	模擬授業と授業改善：第6学年 我が国の歴史上の主な事象	予習として模擬授業の実施に向けて教材研究を行い、学習指導案と板書計画及び資料等を作成すること。（1時間）復習として模擬授業の相互評価で学んだことを毎回整理し、「樹豪リフレクション」を記入すること。（1時間）	
14	模擬授業と授業改善：第6学年 グローバル化する世界と日本の役割	予習として模擬授業の実施に向けて教材研究を行い、学習指導案と板書計画及び資料等を作成すること。（1時間）復習として模擬授業の相互評価で学んだことを毎回整理し、「樹豪リフレクション」を記入すること。（1時間）	
15	社会科指導の在り方：まとめ	予習として、社会科指導案作成のポイントをノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、社会科指導において最も留意したいことをまとめ、授業リフレクションに記入すること。（1時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： KYOU5
授業形態： 演習
科目名： 算数指導法
担当教員： 土井 理裕(DOI Masahiro)

【授業の紹介】

この授業では、算数・数学の見方・考え方に触れ、算数の授業に必要な知識や技能を幅広く学ぶことで、算数の指導に必要な力を育てていきます。さらに、領域ごとの指導内容について、系統性や発展性を踏まえて研究・報告し、それを共有することで、小学校算数での指導内容についての理解を深め、児童の発達段階に応じた指導方法について考察していきます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	1. 教育・保育に携わる者に求められる高い使命感・倫理観や豊かな心を持っている。
		2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。
		7. 教育・保育に係る資質向上に向けて継続的に学ぶ能力を持っている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

- ・楽しい・分かる算数の授業のあり方について理解することができる。
- ・算数で指導される領域ごとの内容や指導体系について理解することができる。
- ・算数教育に必要な知識を体系的に整理し、実践と関係づけて理解することができる。

【成績の評価】

受講態度（20%）振り返りレポート（40%）最終課題レポート（40%）
・毎回の授業振り返りレポートを提出し、コメントを記入して返却する。
・最終課題は、1つの領域の中の単元を決め、その単元の指導内容や指導体系についてまとめ、そのレポートを15回目の最終授業時に提出する。

【使用テキスト】

- ・小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 算数編(文部科学省、日本文教出版、2018)
- ・わくわく算数(1～6年)(寺垣内政一他著、新興出版社啓林館、令和5年検定済)

【参考文献】

- ・さぬきの授業基礎・基本[改訂版](矢木澤崇他著、香川県教育委員会、2018)
(<https://www.pref.kagawa.lg.jp/documents/14668/kisokihon-all.pdf>)

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高等学校・特別支援学校での学校現場指導を活かし、具体的な算数・数学の授業実践事例等を示しながら授業していきます。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス、算数科の目標及び内容	授業内容を確認し、それに関連したことについて、教科書や小学校学習指導要領解説算数編などで調べ、ノート等にまとめておく。 （2時間） ・授業の振り返りをまとめ、レポートとして提出する。（2時間）	
2	内容領域の構成、数学的活動	授業内容を確認し、それに関連したことについて、教科書や小学校学習指導要領解説算数編などで調べ、ノート等にまとめておく。 （2時間） ・授業の振り返りをまとめ、レポートとして提出する。（2時間）	
3	学習内容の系統性と発展性、楽しく・分かる授業	授業内容を確認し、それに関連したことについて、教科書や小学校学習指導要領解説算数編などで調べ、ノート等にまとめておく。 （2時間） ・授業の振り返りをまとめ、レポートとして提出する。（2時間）	
4	「数と計算」領域の内容（1・2年）	・授業内容を確認し、それに関連したことについて、教科書や小学校学習指導要領解説算数編などで調べ、ノート等にまとめておく。報告者は、配布資料等を作成しておく。（2時間） ・授業の振り返りをまとめ、レポートとして提出する。（2時間）	
5	「数と計算」領域の内容（3・4年）	・授業内容を確認し、それに関連したことについて、教科書や小学校学習指導要領解説算数編などで調べ、ノート等にまとめておく。報告者は、配布資料等を作成しておく。（2時間） ・授業の振り返りをまとめ、レポートとして提出する。（2時間）	
6	「数と計算」領域の内容（5年）	・授業内容を確認し、それに関連したことについて、教科書や小学校学習指導要領解説算数編などで調べ、ノート等にまとめておく。報告者は、配布資料等を作成しておく。（2時間） ・授業の振り返りをまとめ、レポートとして提出する。（2時間）	
7	「数と計算」領域の内容（6年）	・授業内容を確認し、それに関連したことについて、教科書や小学校学習指導要領解説算数編などで調べ、ノート等にまとめておく。報告者は、配布資料等を作成しておく。（2時間） ・授業の振り返りをまとめ、レポートとして提出する。（2時間）	
8	「図形」領域の内容（1・2年）	・授業内容を確認し、それに関連したことについて、教科書や小学校学習指導要領解説算数編などで調べ、ノート等にまとめておく。報告者は、配布資料等を作成しておく。（2時間） ・授業の振り返りをまとめ、レポートとして提出する。（2時間）	
9	「図形」領域の内容（3・4年）	・授業内容を確認し、それに関連したことについて、教科書や小学校学習指導要領解説算数編などで調べ、ノート等にまとめておく。報告者は、配布資料等を作成しておく。（2時間） ・授業の振り返りをまとめ、レポートとして提出する。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
10	「図形」領域の内容（5・6年）	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を確認し、それに関連したことについて、教科書や小学校学習指導要領解説算数編などで調べ、ノート等にまとめておく。報告者は、配布資料等を作成しておく。（2時間） ・授業の振り返りをまとめ、レポートとして提出する。（2時間） 	
11	「測定」領域の内容（1～3年）	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を確認し、それに関連したことについて、教科書や小学校学習指導要領解説算数編などで調べ、ノート等にまとめておく。報告者は、配布資料等を作成しておく。（2時間） ・授業の振り返りをまとめ、レポートとして提出する。（2時間） 	
12	「変化と関係」領域の内容（4～6年）	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を確認し、それに関連したことについて、教科書や小学校学習指導要領解説算数編などで調べ、ノート等にまとめておく。報告者は、配布資料等を作成しておく。（2時間） ・授業の振り返りをまとめ、レポートとして提出する。（2時間） 	
13	「データの活用」領域の内容（1～6年）	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を確認し、それに関連したことについて、教科書や小学校学習指導要領解説算数編などで調べ、ノート等にまとめておく。報告者は、配布資料等を作成しておく。（2時間） ・授業の振り返りをまとめ、レポートとして提出する。（2時間） 	
14	楽しい・分かる授業をするためのポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を確認し、それに関連したことについて、教科書や小学校学習指導要領解説算数編などで調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） ・授業の振り返りをまとめ、レポートとして提出する。（2時間） 	
15	学習指導案作成のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を確認し、それに関連したことについて、教科書や小学校学習指導要領解説算数編などで調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） ・授業の振り返りをまとめ、レポートとして提出する。（2時間） 	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： KYOU6
授業形態： 演習
科目名： 算数指導法
担当教員： 土井 理裕(DOI Masahiro)

【授業の紹介】

授業では、前期に算数指導法 で学習したことをもとに、それぞれが学習指導案を作成します。それをもとにして全員が、授業者と児童として模擬授業に参加し、全体で授業討議を行います。具体的な授業を通して、教材研究の在り方を学び、指導技術の向上を図っていきます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	1. 教育・保育に携わる者に求められる高い使命感・倫理観や豊かな心を持っている。
		2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。
		7. 教育・保育に係る資質向上に向けて継続的に学ぶ能力を持っている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

- ・ 学習指導要領における算数科の目標、内容及び全体構造を理解することができる。
- ・ 算数科の教材をもとに、学習指導案を作成することができる。
- ・ 学習指導案をもとに、授業の基本的な技能を生かし、授業を展開することができる。
- ・ 算数科の学習評価の考え方を理解し、それを授業に生かすことができる。

【成績の評価】

受講態度（10％）模擬授業（30％）指導案・授業記録・討議記録（30％）最終課題レポート（30％）

- ・ 指導案、授業記録、討議記録をまとめ、レポートとして提出し、コメントを記入して返却する。
- ・ 最終課題は、「楽しい算数の授業づくりについて」、「楽しい算数の授業の指導案」のレポートを作成し、15回目の最終授業時に提出する。

【使用テキスト】

- ・ 小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 算数編(文部科学省、日本文教出版、2018)
- ・ わくわく算数(1～6年)(寺垣内政一他著、新興出版社啓林館、令和5年検定済)

【参考文献】

- ・ さぬきの授業基礎・基本[改訂版](矢木澤崇他著、香川県教育委員会、2018)
(<https://www.pref.kagawa.lg.jp/documents/14668/kisokihon-all.pdf>)

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高等学校・特別支援学校での学校現場指導を活かし、具体的な算数・数学の授業実践事例等を示しながら授業していきます。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス、授業をイメージした学習指導案の作り方	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導案作りについて、教科書や学習指導要領解説算数編、さぬきの授業基礎・基本[改訂版]などをもとに研究し、ノート等にまとめておく。（2時間） ・授業記録、討議記録をまとめ、レポートとして提出する。（2時間） 	
2	模擬授業のための学習指導案づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導案作りについて、教科書や学習指導要領解説算数編、さぬきの授業基礎・基本[改訂版]などをもとに研究し、ノート等にまとめておく。（2時間） ・授業記録、討議記録をまとめ、レポートとして提出する。（2時間） 	
3	模擬授業と授業討議（1年：たしざん（2）、ものとひとつのかず）	<ul style="list-style-type: none"> ・指導案作りのための教材研究を、教科書や学習指導要領解説算数編などをもとに行い、指導方法を考えておく。授業者は、配布用の指導案・資料等を作成しておく。（2時間） ・授業記録、討議記録をまとめ、レポートとして提出する。（2時間） 	
4	模擬授業と授業討議（2年上：図をつかって考えよう、2年下：かけ算（2））	<ul style="list-style-type: none"> ・指導案作りのための教材研究を、教科書や学習指導要領解説算数編などをもとに行い、指導方法を考えておく。授業者は、配布用の指導案・資料等を作成しておく。（2時間） ・授業記録、討議記録をまとめ、レポートとして提出する。（2時間） 	
5	模擬授業と授業討議（3年上：わり算、時ごとと時間）	<ul style="list-style-type: none"> ・指導案作りのための教材研究を、教科書や学習指導要領解説算数編などをもとに行い、指導方法を考えておく。授業者は、配布用の指導案・資料等を作成しておく。（2時間） ・授業記録、討議記録をまとめ、レポートとして提出する。（2時間） 	
6	模擬授業と授業討議（3年上：あまりのあるわり算、3年下：計算のじゅんじょ）	<ul style="list-style-type: none"> ・指導案作りのための教材研究を、教科書や学習指導要領解説算数編などをもとに行い、指導方法を考えておく。授業者は、配布用の指導案・資料等を作成しておく。（2時間） ・授業記録、討議記録をまとめ、レポートとして提出する。（2時間） 	
7	模擬授業と授業討議（3年下：分数、4年上：割合）	<ul style="list-style-type: none"> ・指導案作りのための教材研究を、教科書や学習指導要領解説算数編などをもとに行い、指導方法を考えておく。授業者は、配布用の指導案・資料等を作成しておく。（2時間） ・授業記録、討議記録をまとめ、レポートとして提出する。（2時間） 	
8	模擬授業と授業討議（4年下：2けたでわるわり算の筆算、小数のかけ算やわり算）	<ul style="list-style-type: none"> ・指導案作りのための教材研究を、教科書や学習指導要領解説算数編などをもとに行い、指導方法を考えておく。授業者は、配布用の指導案・資料等を作成しておく。（2時間） ・授業記録、討議記録をまとめ、レポートとして提出する。（2時間） 	
9	模擬授業と授業討議（4年下：分数、5年：小数のかけ算）	<ul style="list-style-type: none"> ・指導案作りのための教材研究を、教科書や学習指導要領解説算数編などをもとに行い、指導方法を考えておく。授業者は、配布用の指導案・資料等を作成しておく。（2時間） ・授業記録、討議記録をまとめ、レポートとして提出する。（2時間） 	
10	模擬授業と授業討議（5年：小数のわり算、整数）	<ul style="list-style-type: none"> ・指導案作りのための教材研究を、教科書や学習指導要領解説算数編などをもとに行い、指導方法を考えておく。授業者は、配布用の指導案・資料等を作成しておく。（2時間） 	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		・授業記録、討議記録をまとめ、レポートとして提出する。（2時間）	
11	模擬授業と授業討議（5年：面積、割合）	・指導案作りのための教材研究を、教科書や学習指導要領解説算数編などをもとに行い、指導方法を考えておく。授業者は、配布用の指導案・資料等を作成しておく。（2時間） ・授業記録、討議記録をまとめ、レポートとして提出する。（2時間）	
12	模擬授業と授業討議（5年：分数（2）、速さ）	・指導案作りのための教材研究を、教科書や学習指導要領解説算数編などをもとに行い、指導方法を考えておく。授業者は、配布用の指導案・資料等を作成しておく。（2時間） ・授業記録、討議記録をまとめ、レポートとして提出する。（2時間）	
13	模擬授業と授業討議（6年：文字と式、分数÷分数）	・指導案作りのための教材研究を、教科書や学習指導要領解説算数編などをもとに行い、指導方法を考えておく。授業者は、配布用の指導案・資料等を作成しておく。（2時間） ・授業記録、討議記録をまとめ、レポートとして提出する。（2時間）	
14	模擬授業と授業討議（6年：比とその応用、場合を順序よく整理して）	・指導案作りのための教材研究を、教科書や学習指導要領解説算数編などをもとに行い、指導方法を考えておく。授業者は、配布用の指導案・資料等を作成しておく。（2時間） ・授業記録、討議記録をまとめ、レポートとして提出する。（2時間）	
15	教育実習への心構え	・教育実習について、さぬきの授業基礎・基本[改訂版]や学習指導要領解説算数編などをもとに研究し、ノートにまとめておく。（2時間） ・授業記録、討議記録をまとめ、レポートとして提出する。（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： KYOU7
授業形態： 演習
科目名： 理科指導法
担当教員： 糸目 真也(ITOME Shinya)

【授業の紹介】

小学校教諭1種免許状を取得することを目的に、小学校理科の授業を実施するための基本的な内容を身につけるとともに、授業に役立つ理科学的な実習ならびに教材研究の実習とその報告を作成する。授業に役立つ理科学的な実習を一通り行ったのち、理科教材としての実験・観察について、教員と学生が相談して扱う対象を決め、全学生が実演し、その原理と教育的意味を報告し、そのあと検討の議論を行う。理科学的実習の成果はレポートに、教材研究の実験は実験カードにまとめる。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

- ・理科の観察・実験・実習の方法を理解し、その方法にもとづいて観察・実験・実習を行うことができる。
- ・取り上げられた物理・化学・生物・地学の各トピックの基礎的な概念を身に着け、実習・実験の考察に使用できる。
- ・簡単な探究的な課題に取り組み、そのレポートを書くことができる。
- ・実験を行う上での安全への適切な配慮を示すことができる。
- ・理科室の管理・運営に関する基本的な理解をもって行動することができる。
- ・理科授業において効果的な実験教材を限られた期間内に準備して予備実験を済ませ、実際に演示しわかりやすく説明し、ワークシートを作成することができる。

【成績の評価】

発表及び実験態度(30%)課題レポート、レポートやワークシートなどの提出物(70%)を総合評価し単位を認定する。演示した実験の教育的意義、難易度、実施できた水準、原理の考察の度合い、演示におけるコミュニケーション力などを総合判断して評価する。レポートは次時間での解説、演示した実験に関しては終了時に教員から講評を受けることでフィードバックを行う。無断欠席またはレポート未提出があれば単位を認定しないことがある。

【使用テキスト】

テキストは次のものを使用する。また、教材実験は、図書館の教材、インターネットに掲載されている実験なども参考とする。
・小学校教科書 新編 新しい理科 3 - 6年 東京書籍
・小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 理科編 文部科学省
なお、必要に応じて中学校の教科書の学習内容も参考とする。

【参考文献】

授業で適宜連絡します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。担当教員が高等学校で理科の授業をした経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	授業内容の説明。 小学校理科の目標と内容構成	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
2	理科室の基本的な運営管理。 観察・実験の指導方法と安全管理	予習として次回の実験テーマに関する調べ学習をして、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
3	「A物質・エネルギー」（3年）の学習内容と実験	予習として次回の実験テーマに関する調べ学習をして、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
4	「B生命・地球」（3年）の学習内容と観察・実験	予習として次回の実験テーマに関する調べ学習をして、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
5	「A物質・エネルギー」（4年）の学習内容と実験	予習として次回の実験テーマに関する調べ学習をして、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
6	「B生命・地球」（4年）の学習内容と観察・実験	予習として次回の実験テーマに関する調べ学習をして、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
7	「A物質・エネルギー」（5年）の学習内容と実験	予習として次回の実験テーマに関する調べ学習をして、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
8	「B生命・地球」（5年）の学習内容と観察・実験	予習として次回の実験テーマに関する調べ学習をして、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
9	「A物質・エネルギー」（6年）の学習内容と実験	予習として次回の実験テーマに関する調べ学習をして、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
10	「B生命・地球」（6年）の学習内容と観察・実験	予習として次回の授業内容を確認し、実験内容に関する調べ学習をして、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること	担当：糸目真也

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		（2時間）	
11	学生演示実験についての検討・下調べ・予備実験	予習として次回の実験テーマに関する調べ学習と予備実験をして、ワークシートにまとめておくこと（4時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
12	「A物質・エネルギー」のエネルギー領域の学生演示実験	予習として次回の実験テーマに関する調べ学習と予備実験をして、ワークシートにまとめておくこと（4時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
13	「A物質・エネルギー」の粒子領域の学生演示実験	予習として次回の実験テーマに関する調べ学習と予備実験をして、ワークシートにまとめておくこと（4時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
14	「B生命・地球」の生命領域の学生演示観察・実験	予習として次回の実験テーマに関する調べ学習と予備実験をして、ワークシートにまとめておくこと（4時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
15	「B生命・地球」の地球領域の学生演示観察・実験	復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： KYOU8
授業形態： 演習
科目名： 理科指導法
担当教員： 糸目 真也(ITOME Shinya)

【授業の紹介】

教育実習の前に身につけておくべきことの習得を目指して、理科の単元案及び学習指導案を作成し、模擬授業を行うまでの実践力を育む。

分野ごとにどの単元案をつくるか決める。学生がそれぞれの単元の実践例などで参考になるものを探し、それと教科書の流れを比較し、その違いについてまとめて報告する。単元案を作成して報告する。また、模擬授業を行うところを選び、その学習指導案を作成し、模擬授業を行って、その内容について議論し、より良い学習指導案に改善することによって授業を行うにあたって教師が考えるべきことについて学ぶ。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	6. 教育・保育に関する多様な情報を収集・分析して、論理的な思考力と創造力を用いて適切に判断できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

- ・理科の単元案を、グループで相談しながら構想し、学習指導要領、教科書の内容の分析・検討を的確に行い、簡潔にまとめることができる。
- ・学習指導案及びその改善案を自身で作成する方法を学び、その学びを生かした模擬授業を行うことができる。

【成績の評価】

レポートの成績（30％）、模擬授業の態度、発表・模擬授業における生徒との応答の実際、討議における発言内容（30％）作成した「学習指導案」（40％）を総合的に判断して評価する。レポートは次時間による解説、模擬授業は、教員から講評を受けることでフィードバックを行う。

【使用テキスト】

テキストは次のものを使用する。また、模擬授業では、図書館の教材、インターネットに掲載されている実験なども参考とする。

- ・小学校教科書 新編 新しい理科 3 - 6年 東京書籍
 - ・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 理科編 文部科学省
- なお、必要に応じて中学校の教科書の学習内容も参考とする。

【参考文献】

授業で適宜連絡します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です担当教員が高等学校で理科の授業をした経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	これからの理科教育 概論	今回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
2	これからの理科教育 ICT機器の活用等	今回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
3	板書の工夫と単元計画について	今回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
4	単元計画の作成	今回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
5	学習指導案の書き方：作成に関するガイドラインの説明	今回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
6	学習指導案の書き方：各自で学習指導案を作成する	今回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
7	各自が行う模擬授業の分野の決定と下調べ	予習として次回の実験内容に関する調べ学習と予備実験、学習指導案を作成しておくこと（4時間） 復習として授業の学習指導案を修正し、実験の改善等について振り返り、ノート等にまとめておくこと（2時間）	担当：糸目真也
8	模擬授業の実施及びその授業検討：「A物質・エネルギー」（3年）の領域	予習として次回の実験内容に関する調べ学習と予備実験、学習指導案を作成しておくこと（4時間） 復習として授業の学習指導案を修正し、実験の改善等について振り返り、ノート等にまとめておくこと（2時間）	担当：糸目真也
9	模擬授業の実施及びその授業検討：「B生命・地球」（3年）の領域	予習として次回の実験内容に関する調べ学習と予備実験、学習指導案を作成しておくこと（4時間） 復習として授業の学習指導案を修正し、実験の改善等について振り返り、ノート等にまとめておくこと（2時間）	担当：糸目真也
10	模擬授業の実施及びその授業検討：「A物質・エネルギー」（4年）の領域	予習として次回の実験内容に関する調べ学習と予備実験、学習指導案を作成しておくこと（4時間） 復習として授業の学習指導案を修正し、実験の改善等について振り返り、ノート等にまと	担当：糸目真也

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		めておくこと（2時間）	
11	模擬授業の実施及びその授業検討：「B 生命・地球」（4年）の領域	予習として次回の実験内容に関する調べ学習と予備実験、学習指導案を作成しておくこと（4時間） 復習として授業の学習指導案を修正し、実験の改善等について振り返り、ノート等にまとめておくこと（2時間）	担当：糸目真也
12	模擬授業の実施及びその授業検討：「A 物質・エネルギー」（5年）の領域	予習として次回の実験内容に関する調べ学習と予備実験、学習指導案を作成しておくこと（4時間） 復習として授業の学習指導案を修正し、実験の改善等について振り返り、ノート等にまとめておくこと（2時間）	担当：糸目真也
13	模擬授業の実施及びその授業検討：「B 生命・地球」（5年）の領域	予習として次回の実験内容に関する調べ学習と予備実験、学習指導案を作成しておくこと（4時間） 復習として授業の学習指導案を修正し、実験の改善等について振り返り、ノート等にまとめておくこと（2時間）	担当：糸目真也
14	模擬授業の実施及びその授業検討：「A 物質・エネルギー」（6年）の領域	予習として次回の実験内容に関する調べ学習と予備実験、学習指導案を作成しておくこと（4時間） 復習として授業の学習指導案を修正し、実験の改善等について振り返り、ノート等にまとめておくこと（2時間）	担当：糸目真也
15	模擬授業の実施及びその授業検討：「B 生命・地球」（6年）の領域	復習として授業の学習指導案を修正し、実験の改善等について振り返り、ノート等にまとめておくこと（2時間）	担当：糸目真也
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： KYOU9

授業形態： 演習

科目名： 生活科指導法

担当教員： 高橋 佳生(TAKAHASHI Yoshio)

【授業の紹介】

生活科の学習指導を行う上で基本となる学習指導要領の目標や内容について理解を深め、栽培活動やフィールドワークなどを通して生活科の指導法と理念を体験的に学びます。また、生活科の授業の内容や在り方についてレクチャーする演習や協議を通して、教育者となるための資質・能力の向上を図ります。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

1. 学習指導要領に示される生活科の目標や内容、指導上の留意点などについて、実習や討論を通して体験的に理解するとともに、児童主体の教育についての考えを深めることができる。
2. 生活科学習の在り方を考え実践する学修を通して、知識体系と実際の教育活動を関連付け、教員としての実践に向けた資質・能力を身に付けることができる。

【成績の評価】

授業ワークシート(80%)、小テスト(10%)、授業への参加態度・日常活動(10%)。
授業ワークシート、小テストについては、その都度、結果を授業時に説明・講評する。

【使用テキスト】

小学校学習指導要領解説生活編(平成29年3月告示 文部科学省)
教科書「あたらしいせいかつ(上)、新しい生活(下)」 東京書籍

【参考文献】

授業において適宜紹介、資料配布する。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業です。小学校現場での授業実践と教員指導の経験を活かし、具体的な活動や視覚的提示、事例紹介しながら授業を展開します。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション、 生活科学習のよさと課題	2年次の「生活」での学びをもとに、生活科のよさや課題についてまとめておく。（30分）	
2	生活科のねらいと内容（ディスカッション）	小学校学習指導要領解説生活編をもとに、生活科の目標と内容を復習しておく。（30分）／資料・ワークシートを見直し整理する。（30分）	
3	生活科の教科書とその概要	教科書（上・下）を概観し、その特徴や課題を調べておく。（30分）／資料・ワークシートを見直し整理する。（30分）	
4	年間指導計画の作成と単元計画の基本（グループワーク）	教科書（上・下）を調べ、単元の順序や特徴を調べておく。（1時間）／資料・ワークシートを見直し整理する。（30分）	
5	各学年の目標及び内容のポイントと解説 ・レクチャーの計画	小学校学習指導要領解説生活編P87～「単元計画の作成」を読み、要点をまとめておく。（1時間）／資料・ワークシートを見直し整理する。（30分）	
6	生活科の内容の実際（自然のフィールドワーク）	野外での自然探索に必要なものや図鑑を調べ、準備する。（1時間）／資料・ワークシートを見直し整理する。（30分）	
7	レクチャーと協議 「学校と生活」【演習】 （タイトルは見込み）	<レクチャー実施グループ>：該当レクチャーの内容を計画し、実施の準備をする。（4時間）<他のグループ>：該当レクチャーの要点を学習指導要領・教科書で調べておく。（30分）／資料・ワークシートを見直し整理する。（30分）	レクチャーのタイトルや実施グループは、話し合いによって決めます。（以降同様）
8	レクチャーと協議 「公共物の利用」【演習】 （タイトルは見込み）	<レクチャー実施グループ>：該当レクチャーの内容を計画し、実施の準備をする。（4時間）<他のグループ>：該当レクチャーの要点を学習指導要領・教科書で調べておく。（30分）／資料・ワークシートを見直し整理する。（30分）	
9	生活科の内容の実際（栽培活動の準備と実際）	教科書（下）P9～P17を参考に、栽培活動の要点を調べておく。（30分）／資料・ワークシートを見直し整理する。（30分）／ 日常生活活動として毎日の水やり・記録を行う。（日々20分）	
10	レクチャーと協議 「季節の変化と生活」【演習】 （タイトルは見込み）	<レクチャー実施グループ>：該当レクチャーの内容を計画し、実施の準備をする。（4時間）<他のグループ>：該当レクチャーの要点を学習指導要領・教科書で調べておく。（30分）／資料・ワークシートを見直し整理する。（30分）	
11	レクチャーと協議 「地域と生活」【演習】 （タイトルは見込み）	<レクチャー実施グループ>：該当レクチャーの内容を計画し、実施の準備をする。（4時間）<他のグループ>：該当レクチャーの要点を学習指導要領・教科書で調べておく。（30分）／資料・ワークシートを見直し整理する。（30分）	
12	レクチャーと協議 「自然や物を使った遊び」【演習】 （タイトルは見込み）	<レクチャー実施グループ>：該当レクチャーの内容を計画し、実施の準備をする。（4時間）<他のグループ>：該当レクチャーの要点を学習指導要領・教科書で調べておく。（30分）／資料・ワークシートを見直し整理する。（30分）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
13	レクチャーと協議 「自分の成長」【演習】 （タイトルは見込み）	<レクチャー実施グループ>：該当レクチャーの内容を計画し、実施の準備をする。（4時間）<他のグループ>：該当レクチャーの要点を学習指導要領・教科書で調べておく。（30分）／資料・ワークシートを見直し整理する。（30分）	
14	生活科授業の基本と実際 （栽培活動の収穫と片付け）	小学校学習指導要領解説生活編P94～「学習指導の進め方」を読み、要点をまとめておく。（1時間）／資料・ワークシートを見直し整理する。（30分）	
15	まとめと評価 生活科授業の在り方	これまで用いた資料・ワークシートを見直し整理しておく。（30分）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： KYOU10
授業形態： 演習
科目名： 生活科指導法
担当教員： 高橋 佳生(TAKAHASHI Yoshio)

【授業の紹介】

生活科の学習において求められる児童主体の学習展開や体験的な学習過程について、単元の構想や学習指導案づくりを通して学びます。また、模擬授業の実施・協議を通して、教員として教育を担い、社会に貢献できるための資質・能力の向上を図ります。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

1. 生活科の学習指導案づくり、模擬授業の実践を通して、授業づくりの基本を理解するとともに、児童主体の学習とするための学習展開や教材、指導技術の考えを深めることができる。
2. 生活科学習の在り方を考え実践する学修を通して、知識体系と実際の教育活動を関連付け、教員としての実践に向けた資質・能力を身に付けることができる。

【成績の評価】

授業ワークシート(80%)、小テスト(10%)、授業への参加態度・日常活動(10%)。
授業ワークシート、模擬授業評価については、その都度、授業時に説明・講評する。

【使用テキスト】

小学校学習指導要領解説生活編(平成29年3月告示 文部科学省)
教科書「あたらしいせいかつ(上)、新しい生活(下)」 東京書籍

【参考文献】

授業において適宜紹介、資料配布する。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業です。小学校現場での授業実践と教員指導の経験を活かし、具体的な活動や視覚的提示、事例紹介しながら授業を展開します。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション， 生活科学学習指導の進め方	小学校学習指導要領解説生活編「学習指導の進め方」について，自分の考えをまとめておく。（30分）	
2	模擬授業に向けた検討・計画づくり（ビデオ視聴）	教育実習などをもとに，授業の在り方について自分の考えをまとめておく。（30分）／資料・ワークシートを見直し整理する。（30分）	
3	単元構想案づくりとグループ検討（グループワーク）	小学校学習指導要領解説生活編P87～「単元計画の作成」を読み，要点を調べておく。（30分）／資料・ワークシートを見直し整理する。（30分）	
4	学習展開・体験的学習の基本（ディスカッション）	教科書や配布資料を参考に，自分が実施したい学習単元の内容を考えておく。（1時間）／資料・ワークシートを見直し整理する。（30分）	
5	学習指導案づくり(1)，教材研究（教材・教具）	配布資料等を参考に，模擬授業の在り方をイメージし，準備・計画をまとめておく。（1時間）／資料・ワークシートを見直し整理する。（30分）	
6	学習指導案づくり(2)，グループ別検討（グループワーク）	グループで協議して，模擬授業の内容を深める。（1時間）／資料・ワークシートを見直し整理する。（30分）	
7	模擬授業に向けた教材の準備（グループワーク）	グループで協議して，模擬授業の準備を分担し，進めていく。（1時間）／資料・ワークシートを見直し整理する。（30分）	
8	模擬授業及び研究討議(1)（授業実践）	< 模擬授業実施グループ >：該当模擬授業を計画し，指導案を含め実施の準備をする。（4時間）< 他のグループ >：該当授業の要点を学習指導要領・教科書で調べておく。（30分）／資料・ワークシートを見直し整理する。（30分）	模擬授業の単元や実施グループは，話し合いにより決めます。（以降同様）
9	模擬授業及び研究討議(2)（授業実践）	< 模擬授業実施グループ >：該当模擬授業を計画し，指導案を含め実施の準備をする。（4時間）< 他のグループ >：該当授業の要点を学習指導要領・教科書で調べておく。（30分）／資料・ワークシートを見直し整理する。（30分）	
10	模擬授業及び研究討議(3)（授業実践）	< 模擬授業実施グループ >：該当模擬授業を計画し，指導案を含め実施の準備をする。（4時間）< 他のグループ >：該当授業の要点を学習指導要領・教科書で調べておく。（30分）／資料・ワークシートを見直し整理する。（30分）	
11	模擬授業及び研究協議(4)（授業実践）	< 模擬授業実施グループ >：該当模擬授業を計画し，指導案を含め実施の準備をする。（4時間）< 他のグループ >：該当授業の要点を学習指導要領・教科書で調べておく。（30分）／資料・ワークシートを見直し整理する。（30分）	
12	模擬授業及び研究協議(5)（授業実践）	< 模擬授業実施グループ >：該当模擬授業を計画し，指導案を含め実施の準備をする。（4時間）< 他のグループ >：該当授業の要点を学習指導要領・教科書で調べておく。（30分）／資料・ワークシートを見直し整理する。（30分）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
13	模擬授業及び研究協議(6)（授業実践）	< 模擬授業実施グループ >：該当模擬授業を計画し、指導案を含め実施の準備をする。（4時間）< 他のグループ >：該当授業の要点を学習指導要領・教科書で調べておく。（30分）／資料・ワークシートを見直し整理する。（30分）	
14	模擬授業の振り返りと生活科学習の要件（グループワーク）	これまでの模擬授業の実践について振り返り、よさや課題などをまとめておく。（1時間）／資料・ワークシートを見直し整理する。（30分）	
15	まとめ 生活科が小学校教育に果たす役割	これまで用いた資料・ワークシートを見直し整理しておく。（30分）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： KYOU13
授業形態： 演習
科目名： 音楽指導法
担当教員： 水嶋 育(MIZUSHIMA Ikumu)

【授業の紹介】

- ・子どもの育ちを支えるために必要な教育の一環として音楽科の授業、および音楽表現関連の特別活動を指導する上で求められる専門的知識、技能と実践力を修得する。
 - ・将来教育現場において自ら継続的に学ぶことができるよう、個々に適応した準備や練習の工程を作成する。
 - ・児童が生活の中で音楽に親しみ味わえるようサポートするための授業を行なえる力を磨く。
 - ・共通教材を用いたピアノの弾き歌いやリコーダー、指揮等の技能と共に必要な理論を修得する。
- また教材を研究し自ら指導案を作成、模擬授業や相互評価を行い実践的な流れを体験する。
- ・定期的に筆記、実技の小テストを行い進歩の様子をチェックする。次回授業の課題の予習は必須とする。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	3.子どもの育ちを支えるために必要な教育・保育の実践力を有する。
		7.教育・保育に係る資質向上に向けて継続的に学ぶ能力を持っている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

1. 小学校学習指導要領に示された音楽科の教科の目標と第1から第3学年までの内容を理解できる。
2. 授業を円滑に行うために必要な演奏技術と音楽理論を修得し、教材となる曲を堅実に演奏することができる。
3. 指導上の留意点を理解し、学習指導要領に忠実な指導案を作成できる。
4. 児童を導き評価を行うための聴く力（共通教材演奏時、音程やリズムの違いを判断できる力、こことよい響きを判定できる力）を身に付け、また適切な表現でコメントすることができる。
5. 教材と学習のねらいを的確に判断し、自ら継続的に学ぶ能力を獲得することができる。
6. 音楽教科の幅広く体系的な理解を礎に、具体的な授業の計画を行うことができる。

【成績の評価】

定期試験-筆記（35%）、定期試験-実技（35%）、作成した学習指導案（10%）、予習・復習と授業に取り組む姿勢（20%）
実技の試験や発表に対する評価は個別に説明を行う。筆記試験や提出物は採点、添削の上返却する。

【使用テキスト】

小学校教員養成課程用 最新 初等科音楽教育法 2017年告示「小学校学習指導要領」準拠
(平成30年2月発行、初等科音楽教育研究会 編、音楽之友社)

【参考文献】

文部科学省「小学校学習指導要領解説 音楽編」平成29年7月

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション、学習指導要領に示された教科の目標と指導内容	予習（30分）：第1～第3学年歌唱共通教材のうち、任意の1曲について調べ、ノートに纏めておく。 復習（30分）：指定のワークシートを仕上げる。	
2	第1～第3学年歌唱共通教材の概要	予習（30分）：第1～第3学年歌唱共通教材のうち、任意の1曲について調べ、ノートに纏めておく。 復習（30分）：指定のワークシートを仕上げる。	
3	弾き歌いの指導（1）「うみ」ト長調と階名、拍子	予習（60分）：授業で取り上げる歌唱共通教材の譜読みをし、ピアノ伴奏の練習を行う。楽典上の疑問点をリストアップ、あるいは自分なりの曲の解釈をノートに纏めておく。 復習（60分）：指定された実技練習。練習状況を配付されたワークシートへ記載する。	
4	弾き歌いの指導（2）「日のまる」へ長調と階名、コードネームによる伴奏	予習（60分）：授業で取り上げる歌唱共通教材の譜読みをし、ピアノ伴奏の練習を行う。楽典上の疑問点をリストアップ、あるいは自分なりの曲の解釈をノートに纏めておく。 復習（60分）：指定された実技練習。練習状況を配付されたワークシートへ記載する。	
5	弾き歌いの指導（3）「春がきた」美しい発声法	予習（60分）：授業で取り上げる歌唱共通教材の譜読みをし、ピアノ伴奏の練習を行う。楽典上の疑問点をリストアップ、あるいは自分なりの曲の解釈をノートに纏めておく。 復習（60分）：指定された実技練習。練習状況を配付されたワークシートへ記載する。	
6	弾き歌いの指導（4）「虫のこえ」擬声語と打楽器による表現	予習（60分）：授業で取り上げる歌唱共通教材の譜読みをし、ピアノ伴奏の練習を行う。楽典上の疑問点をリストアップ、あるいは自分なりの曲の解釈をノートに纏めておく。 復習（60分）：指定された実技練習。練習状況を配付されたワークシートへ記載する。	
7	弾き歌いの指導（5）「うさぎ」日本古謡と陰音階	予習（60分）：授業で取り上げる歌唱共通教材の譜読みをし、ピアノ伴奏の練習を行う。楽典上の疑問点をリストアップ、あるいは自分なりの曲の解釈をノートに纏めておく。 復習（60分）：指定された実技練習。練習状況を配付されたワークシートへ記載する。	
8	弾き歌いの指導（6）「茶つみ」ヨナ抜き音階、手遊び、リズム打ち	予習（60分）：授業で取り上げる歌唱共通教材の譜読みをし、ピアノ伴奏の練習を行う。楽典上の疑問点をリストアップ、あるいは自分なりの曲の解釈をノートに纏めておく。 復習（60分）：指定された実技練習。練習状況を配付されたワークシートへ記載する。	
9	リコーダー奏法	予習（60分）：リコーダーの運指表を見て、1点八音から2点へ音までの指使いを思い出ししておく。配付されたワークシートへの記入。 復習（60分）：指定された実技練習、練習状況を配付されたワークシートへ記載する。	
10	指揮法と器楽および声楽アンサンブル	予習（30分）：配付されたワークシートに	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		従い、学習する。 復習（30分）：配付されたワークシートに従い、学習する。	
11	「音楽づくり」の意義と指導法	予習（30分）：配付されたワークシートに従い、学習する。 復習（30分）：配付されたワークシートに従い、学習する。	
12	鑑賞」の教材研究と指導法、ICT機器の使用	予習（30分）：配付されたワークシートに従い、学習する。 復習（30分）：配付されたワークシートに従い、学習する。	
13	学習指導案の作成	予習（30分）：配付されたワークシートに従い、学習する。 復習（30分）：配付されたワークシートに従い、学習する。	
14	第1回模擬授業と振り返り、音楽科における学習評価の考え方について	予習（30分）：配付されたワークシートに従い、学習する。 復習（30分）：配付されたワークシートに従い、学習する。	
15	第2回模擬授業と振り返り、第1～第3学年の指導法についての総括	予習（30分）：配付されたワークシートに従い、学習する。 復習（30分）：配付されたワークシートに従い、学習する。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： KYOU14
授業形態： 演習
科目名： 音楽指導法
担当教員： 水嶋 育(MIZUSHIMA Ikumu)

【授業の紹介】

- ・子どもの育ちを支えるために必要な教育の一環として音楽科の授業、および音楽表現関連の特別活動を指導する上で必要な専門的知識、技能と実践力を修得する。
 - ・音楽指導法Iで得た基礎能力にさらに磨きをかけ、また反復によって指導者としての資質を高める。
 - ・児童が生活の中で音楽に親しみ味わえるようサポートするための授業を行なえる力を磨く。
 - ・共通教材を用いたピアノの弾き歌いやその他の楽器、指揮等の技能と共に必要な理論を習得する。
- また教材を研究し自ら指導案を作成、模擬授業や相互評価を行い実践的な流れを体験する。
- ・将来、教育現場において自ら継続的に学ぶことができるよう、個々に適応した準備や練習の工程を作成する。また邦楽と洋楽の比較、他教科や特別活動との関連付けを通して視野の拡大と内容の理解を深め、幅広く音楽に係わるシーンを知っていく。
 - ・定期的に筆記、実技の小テストを行い進歩の様子をチェックする。次回授業の課題の予習は必須とする。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	3.子どもの育ちを支えるために必要な教育・保育の実践力を有する。
		7.教育・保育に係る資質向上に向けて継続的に学ぶ能力を持っている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

1. 小学校学習指導要領に示された音楽科の教科の目標と第4から第6学年までの内容を理解できる。
2. 授業を円滑に行うために必要な演奏技術と音楽理論を修得し、教材となる曲を楽しむ（実技試験で滑らかに演奏する）ことができる。
3. 教材を多様な側面から研究し、自らのアイデアで学習指導案を作成できる。
4. 児童を導き評価を行うための聴く力（共通教材演奏時、音程やリズムの違いを判断する力、こちよい響きを判定できる力）を身に付け、また適切な表現でコメントすることができる。
5. 教材と学習のねらいを的確に判断し、自ら継続的に学ぶ能力を獲得することができる。
6. 音楽教科の幅広く体系的な理解を礎に、具体的な授業の計画を行うことができる。
7. 学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深め、より豊かな指導へと結びつけることができる。

【成績の評価】

定期試験-筆記（35%）、定期試験-実技（35%）、作成した学習指導案（10%）、予習・復習と授業に取り組む姿勢（20%）
実技の試験や発表に対する評価は個別に説明を行う。筆記試験や提出物は採点、添削の上返却する。クラスで共有できると判断したフィードバックについてはクラスルーム上に掲載する。

【使用テキスト】

小学校教員養成課程用 最新 初等科音楽教育法 2017年告示「小学校学習指導要領」準拠（平成30年2月発行、初等科音楽教育研究会編、音楽之友社）

【参考文献】

文部科学省「小学校学習指導要領解説 音楽編-平成29年7月」

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	学習指導要領に示された教科の目標と指導内容	予習（45分）：ワークシートに従い、実技練習を含めた歌唱共通教材の研究を行う。 復習（45分）：ワークシートに従い、実技練習を含めた歌唱共通教材の研究を行う。	週に最低1時間以上次回授業で取り上げる歌唱共通教材の譜読みをし、ピアノ伴奏の練習を行う。楽典上の疑問点をリストアップ、あるいは自分なりの曲の解釈をノートに纏めておく。学習指導案の草稿を作成し、授業後には念入りに修正を行い、より洗練されたものへと仕上げる。必要であれば教具を作成する。
2	弾き歌いの指導（1）「とんび」美しい発声法	予習（45分）：ワークシートに従い、実技練習を含めた歌唱共通教材の研究を行う。 復習（45分）：ワークシートに従い、実技練習を含めた歌唱共通教材の研究を行う。	
3	弾き歌いの指導（2）「もみじ」へ長調と階名、（2部合唱への試み）	予習（45分）：ワークシートに従い、実技練習を含めた歌唱共通教材の研究を行う。 復習（45分）：ワークシートに従い、実技練習を含めた歌唱共通教材の研究を行う。	
4	弾き歌いの指導（3）「子もり歌」日本古謡、五音音階、（リコーダーとの重奏）	予習（45分）：ワークシートに従い、実技練習を含めた歌唱共通教材の研究を行う。 復習（45分）：ワークシートに従い、実技練習を含めた歌唱共通教材の研究を行う。	
5	弾き歌いの指導（4）「冬げしき」二部合唱、3拍子と抑揚の体得	予習（45分）：ワークシートに従い、実技練習を含めた歌唱共通教材の研究を行う。 復習（45分）：ワークシートに従い、実技練習を含めた歌唱共通教材の研究を行う。	
6	弾き歌いの指導（5）「おぼろ月夜」弱起、歌詞の理解と情景の味わい	予習（45分）：ワークシートに従い、実技練習を含めた歌唱共通教材の研究を行う。 復習（45分）：ワークシートに従い、実技練習を含めた歌唱共通教材の研究を行う。	
7	弾き歌いの指導（6）「われは海の子」二長調と階名、明瞭な発音、滑舌や発声のまとめ	予習（45分）：ワークシートに従い、実技練習を含めた歌唱共通教材の研究を行う。 復習（45分）：ワークシートに従い、実技練習を含めた歌唱共通教材の研究を行う。	
8	打楽器の奏法と指導法	予習（30分）：ワークシートに従い、予習を行う。 復習（30分）：ワークシートに従い、復習を行う。	
9	指揮法と器楽・声楽アンサンブル	予習（30分）：ワークシートに従い、予習を行う。 復習（30分）：ワークシートに従い、復習を行う。	
10	日本の伝統音楽と外国の民族音楽 ICT機器の使用	予習（30分）：ワークシートに従い、予習を行う。 復習（30分）：ワークシートに従い、復習を行う。	
11	音楽科と他教科、特別活動との関連	予習（30分）：ワークシートに従い、予習を行う。 復習（30分）：ワークシートに従い、復習を行う。	
12	「鑑賞」の教材研究と指導法、ICT機器の	予習（30分）：ワークシートに従い、予習	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	使用	を行う。 復習（30分）：ワークシートに従い、復習を行う。	
13	学習指導案の作成	予習（20分）：ワークシートに従い、予習を行う。 復習（100分）：各自指導案の修正を行い、仕上げる。	
14	第1回模擬授業と振り返り、音楽科における学習評価の考え方について	予習（30分）：ワークシートに従い、予習を行う。 復習（30分）：ワークシートに従い、模擬授業の振り返りを行う。	
15	第2回模擬授業と振り返り、第4～6学年の指導法についての総括	予習（30分）：ワークシートに従い、予習を行う。 復習（30分）：ワークシートに従い、模擬授業の振り返りを行う。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： KYOU15

授業形態： 講義

科目名： 図画工作指導法

担当教員： 速水 史朗(HAYAMI Shiro),速水 規里(HAYAMI Misato)

【授業の紹介】

この授業は、造形作家であり、中学と高校の美術教員の経験を活かした、実務経験のある教員による授業科目です。

平面や立体（紙、粘土、木等の素材）の造形表現実習及び、美術館の鑑賞などの活動を通して、作り出す喜び、美術にふれる楽しさを自身で体験します。「造形的な見方・考え方」を働かせるにはどうしてゆくかを、授業の体験から考察し図画工作の学習指導法の構築に活かしていきます。

「理論と実践の接点」を開拓すべく、その活動から、課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力を身につけ、教育（図画工作指導）の知識・能力や態度・指向性を修得してゆきます。

指導案を作成するにあたり、2回のうち1回はグループワークとし、グループディスカッションを通して実践の場での問題点や成果をあげる方法を考察します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	4. 子どもとはもちろんのこと、保護者や子育てに関わる人々と十分なコミュニケーションをとることができ、また、多様な専門性を持つ人材と協力・協働できる。
		5. 子どもの教育・保育にかかる諸問題を自ら発見し、その問題を解決することができる。
		6. 教育・保育に関する多様な情報を収集・分析して、論理的な思考力と創造力を用いて適切に判断できる。
		7. 教育・保育に係る資質向上に向けて継続的に学ぶ能力を持っている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

・「表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成することをめざす」授業を行えるために、図画工作のいろいろな教育内容を適切に具体的に体験ができる。

・体験した中での問題点や課題に気づいて解決する力を身につけることをめざす。

・それをいろいろな場面にあてはめながら、「児童生徒一人一人が表現の楽しさを覚え、感性を働かせながらつくりだす喜びを味わい、造形的な能力を培い、豊かな情操を養う」という目標を持った指導方法を考察し、構築してゆく力を身につけることをめざす。

（図画工作指導法研究における教育目的、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された図画工作指導法研究の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につけることをめざす。）

【成績の評価】

受講態度、課題提出状況、発表、授業に対する理解度等を総合的に判断します。

各課題・レポート（70％）、学習指導案（30％）

各課題については数回に分けて授業の冒頭もしくは授業中に講評を行います。

【使用テキスト】

小学校学習指導要領解説図画工作編（平成29年告示）

【参考文献】

なし

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 講師自己紹介、学生自己紹介 授業の方針と進め方の説明 学生からの要望の聴き取り	次回授業の準備 作成するテーマを考える 使えそうな色紙などを探しそろえる	授業中に、指導をす るにあたって思いつ いたことや困ったこ となどのメモをとり 、 それに基づいて指導 についてのレポート を作成
2	色彩構成（平面）色紙による色彩構成（1） 考えてきた構図を作成 配色を考える	時間内に出来なかった構図を完成させる 考えた配色で足りない材料をそろえる	
3	色彩構成（平面）色紙による色彩構成（2） 配色を考えながら、貼りこみ制作	時間内に出来なかった貼りこみを完成させる 次回の立体構成のアイデアを考え、材料の調 達をする	
4	色彩構成（平面）（3）、立体構成（1） 色彩構成の仕上がりチェックを教師に受ける 画用紙での立体造形に取り掛かる	細部の構成を考え、必要な材料をそろえる 平面構成の指導について、400字程度のレポ ート作成（次回提出）	
5	立体構成（2） 組み立て、および配色	授業中に足りなかった構成の補充	
6	立体構成（3） 構成を再度検討、仕上がりチェックを教師に 受ける 次回授業の説明	立体構成の指導について、400字程度のレポ ート作成（次回提出）	
7	絵を描く（人物、彩色）（1） 友人を描く、デッサン	色々な人物画の鑑賞（ネット検索など）で、 制作中の人物画を、どのようなイメージに仕 上げるかを考える	
8	絵を描く（人物、彩色）（2） 友人を描く、彩色 次回授業の説明	人物画の指導について、400字程度のレポ ート作成（次回提出） 次回授業に必要な素材集め	
9	美術の鑑賞（香川県立ミュージアム、高松市 立美術館等）2時間(1-1) 学芸員の説明を受けての美術の鑑賞他、	美術の鑑賞、美術館博物館との取り組みを考 えて、レポートの作成（次回提出）	
10	美術の鑑賞（香川県立ミュージアム、高松市 立美術館等）2時間(1-2) 学芸員の説明を受けての美術の鑑賞、学校な どとの美術館の取り組みの説明他	美術の鑑賞、美術館博物館との取り組みを考 えて、レポートの作成（次回提出）	
11	提出課題の講評及び各課題のレポートについ ての講評 粘土による造形（1） 粘土の扱い方、立体のとらえ方等	美術作品（人物の塑像）の鑑賞（ネット検索 など）で、制作中の作品を、どのようなイメ ージに仕上げるかを考える	
12	粘土による造形（2） 細かい部分の仕上げ等 （乾燥後焼成して返却）	粘土などの造形の指導について、400字程度 のレポート作成（次回提出）	
13	学習指導要案作成（1） 粘土を使った授業の指導案作成（グループワ ーク）	指導案作成についての資料集め	
14	学習指導要案作成（2） 粘土を使った授業の指導案作成及び発表（グ ループワーク）	指導案作成についてのレポート作成	
15	提出課題の講評 絵手紙制作（1） 出す相手を決めて、構図を考える	絵手紙の研究（ネットなどで調べる）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
16	絵手紙制作（2） 絵手紙作成、消しゴムはんこで落款を押して完成	絵手紙の指導について、400字程度のレポート作成（次回提出）	
17	美術の鑑賞（香川県立ミュージアム、高松市立美術館等）2時間(1-1) 学芸員の説明を受けての美術の鑑賞他、	美術の鑑賞、美術館博物館との取り組みを考えて、レポートの作成（次回提出）	
18	美術の鑑賞（香川県立ミュージアム、高松市立美術館等）2時間(1-2) 学芸員の説明を受けての美術の鑑賞、学校などとの美術館の取り組みの説明他	美術の鑑賞、美術館博物館との取り組みを考えて、レポートの作成（次回提出） 次回のレリーフの構図を考える	
19	木のレリーフの制作（1） デザインを考える	デザインを完成させる	
20	木のレリーフの制作（2） 木に図案をうつし、彫り始める	彫りに時間がかかるため、彫の作業をする	
21	木のレリーフの制作（3） 木を彫り進める	彫りに時間がかかるため、彫の作業をする	
22	木のレリーフの制作（4） 木を彫り進める	彫った作品の色付けを考えておく 木のレリーフ、版画など授業の内容の検討	
23	木のレリーフの制作（5） 彫り上げた作品に色を付ける	木のレリーフ、版画など授業の内容の検討 指導について、400字程度のレポート作成	
24	木のレリーフの制作（6） 作品の色付け及び仕上げ 次回授業の説明	木のレリーフ、版画など授業の内容の検討 指導について、400字程度のレポート作成（次回提出） 次回授業に必要な素材集め	
25	コラージュ制作（1） 印刷物を切り取りイメージの再構築	制作したいイメージに合わせて、足りない素材を集める	
26	コラージュ制作（2） 切り取った素材の貼りこみ 仕上がり状態のチェックをうける 低学年でのコラージュの活用法	コラージュの指導について、400字程度のレポート作成（次回提出）	
27	提出課題の講評及び各課題のレポートについての講評 具象と抽象表現（1） 花、動物など具体的な事象をどのように表すかの考察 香川県で活動した作家（藤川雄三、猪熊弦一郎、イサムノグチなど）たちの話	香川県で活動した作家について、調べる	
28	具象と抽象表現（2） 前回の、「香川県で活動した作家たちの話から、自由な表現を考える 時間があれば、制作してみる	指導案作成についての資料集め	
29	学習指導要案作成（1） 前回の指導案の注意点を踏まえて、指導案作成	指導案作成についての資料集め	今までのレポートを踏まえて、個々に話しながら進める
30	学習指導要案作成及び発表（2） 指導案作成及び発表		
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： KYOU11
授業形態： 講義
科目名： 家庭科指導法
担当教員： 大西 えい子(OONISHI Eiko)

【授業の紹介】

家庭科は、家庭生活を中心にした生活を学習対象として、体験的・実践的に学習し、ひとりひとりがよりよく生きることを目標としている教科です。この授業では、家庭科の教科としての歴史の変遷や独自性を理解し、学習指導要領に示された目標、内容、指導上の留意点などを踏まえた上で、学習指導案を作成し、グループごとに模擬授業を行います。また、家庭科の授業において必要不可欠な被服製作実習の指導に必要な基礎的・基本的な知識や技能を、実習を交えて修得します。授業を通して、家庭科の指導に必要な資質である生活者としての視点と生活実践力を養おうと継続的に学ぶ能力や実践的指導力を身に付けるようにします。実習の授業の際には裁縫道具や布地など資材の準備が必要です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

1. 小学校学習指導要領における家庭科の目標及び内容、指導上の留意点を理解できる。
2. 家庭科教育における体験的・実践的学習の意義が理解できる。
3. 児童の意欲や認識、生活等の実態を視野に入れた授業計画を構想することができる。
4. 具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成し、模擬授業を実施することができる。
5. 児童の実践的・体験的な学習を展開するために必要な基礎的・基本的な知識や技能を修得することができる。

【成績の評価】

授業態度及び意欲（10%）、予習復習の課題（10%）、提出物の提出状況及びその内容（50%）、模擬授業への取り組み方等（30%）。提出物の未提出、本人からの事前連絡なしの遅刻、欠席は減点とする。30分以上の遅刻、または遅刻3回で欠席1回とみなす。被服製作実習については準備なしでの授業への出席は認めない。被服製作実習での製作物の提出は必須である。レポート等の課題及び評価については授業時間内に解説する。

【使用テキスト】

「小学校学習指導要領解説 家庭編」文部科学省, 東洋館出版社, 2017年
「わたしたちの家庭科 5・6」開隆堂, 2020年

【参考文献】

「初等家庭科の研究—指導力につなげる専門性の育成」, 大竹美登利 倉持清美著, 萌文書林, 2018年
「小学校家庭科教育法」大竹美登利編纂, 建帛社, 2018年
その他関連する参考文献については講義の中で適宜説明する。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。小学校現場での家庭科指導の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（授業のねらいと進め方について）	予習として次回の授業内容を確認し、その範囲のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと（2時間）。	
2	小学校家庭科教育の変遷 家庭科教育の意義とねらい及び内容	予習として次回の授業内容を確認し、その範囲のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと	
3	家庭科の授業づくり 題材と年間指導計画	予習として次回の授業内容を確認し、その範囲のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと	
4	家庭科の授業づくり 学習指導と評価	予習として次回の授業内容を確認し、その範囲のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと	
5	「生活を豊かにするための布を用いた製作」 フェルトの小物製作 計画表作成と製作	予習として次回の授業内容を確認し、その範囲のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと	
6	「生活を豊かにするための布を用いた製作」 フェルトの小物製作 製作の仕上げ	予習として次回の授業内容を確認し、その範囲のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと	
7	家庭科の指導方法、家庭科教員に求められる資質	予習として次回の授業内容を確認し、その範囲のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと	
8	板書計画、ワークシート作成	予習として次回の授業内容を確認し、その範囲のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと	
9	模擬授業の計画（教材研究・指導案作成の仕方）	予習として次回の授業内容を確認し、その範囲のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと	
10	模擬授業の役割分担、教材研究	予習として次回の授業内容を確認し、その範	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>困のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと</p>	
11	模擬授業の教材研究、教具作成	<p>予習として次回の授業内容を確認し、その範囲のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと</p>	
12	模擬授業及び授業観察（衣生活領域）	<p>予習として次回の授業内容を確認し、その範囲のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと</p>	
13	模擬授業及び授業観察（食生活領域）	<p>予習として次回の授業内容を確認し、その範囲のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと</p>	
14	模擬授業及び授業観察（住生活・環境領域）	<p>予習として次回の授業内容を確認し、その範囲のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと</p>	
15	まとめ・家庭科教育の展望	<p>予習として次回の授業内容を確認し、その範囲のことを調べ、疑問点や気付いたこと等をノートにまとめておくこと（2時間）。 復習として授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、感想や意見、さらに関連して調べたことなどを記入しておくこと</p>	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： KYOU112
授業形態： 演習
科目名： 体育指導法
担当教員： 上野 耕平(UENO Kouhei)

【授業の紹介】

小学校学習指導要領「体育科」では、体育科の目標を「心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する」としています。つまり、小学校体育では児童のスポーツ愛好度を高めることを重視した授業を求めています。本授業では児童が「夢中になって取り組める授業づくり」ができる知識や技能を修得し、創造的な教材開発力と授業実践力を身に付けることをめざします。
なおこの授業では、グーグルクラスルーム（クラスコード【uejzquv】）を使用します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	6. 教育・保育に関する多様な情報を収集・分析して、論理的な思考力と創造力を用いて適切に判断できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

授業の到達目標及びテーマ

1. 小学校学習指導要領体育科における教科目標及び内容、指導上の留意点について説明できる。
2. 児童の意欲や思考力、判断力などの実態に応じた授業づくり・教材づくりができる。
3. 教育に係る資質向上に向けて、自らの体育授業を客観的に評価・反省し、継続的に学習することができる。
4. 「良い体育授業」の基礎的・内容的条件を踏まえ、具体的な授業場面を想定した授業設計を行うことができる。

【成績の評価】

中間テスト（30％）、模擬授業の発表内容（30％）、模擬授業実施後のレポート（40％）で評価する。レポートは模擬授業を実施した次の週に全員で振り返りますので、それまでに必ず提出して下さい。

【使用テキスト】

テキストは特に使用せず、授業中に適宜資料を配付する。

【参考文献】

体育科教育学入門（高橋健夫ほか編著、大修館書店）2010年
小学校学習指導要領、小学校学習指導要領解説（平成29年3月公示 文部科学省）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構成し、他者に説明ができるようにしておいてください。（1時間）	
2	スポーツ・運動の価値	復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構成し、他者に説明ができるようにしておいてください。（1時間）	
3	体育の目的	復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構成し、他者に説明ができるようにしておいてください。（1時間）	
4	体育の目標の変遷	復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構成し、他者に説明ができるようにしておいてください。（1時間）	
5	体育の学習指導要領	復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構成し、他者に説明ができるようにしておいてください。（1時間）	
6	良い体育授業の条件	復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構成し、他者に説明ができるようにしておいてください。（1時間）	
7	体育における指導・学習スタイル	復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構成し、他者に説明ができるようにしておいてください。（1時間）	
8	体育における教材と教具	復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構成し、他者に説明ができるようにしておいてください。（1時間）	
9	体育の学習評価	復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構成し、他者に説明ができるようにしておいてください。（1時間）	
10	体育授業の観察・評価の方法	復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構成し、他者に説明ができるようにしておいてください。（1時間）	
11	学習指導案づくり	復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構成し、他者に説明ができるようにしておいてください。（1時間）	
12	体育の模擬授業（体づくり：体ほぐしの運動）	復習として模擬授業の反省をもとに、自分が指導者であった場合を想定して、自分なりの改善案をまとめておいてください（1時間）	
13	体育の模擬授業（体づくり：体の動きを高める運動）	復習として模擬授業の反省をもとに、自分が指導者であった場合を想定して、自分なりの改善案をまとめておいてください（1時間）	
14	体育の模擬授業（器械運動：マット運動 接点技群）	復習として模擬授業の反省をもとに、自分が指導者であった場合を想定して、自分なりの改善案をまとめておいてください（1時間）	
15	授業のまとめ（要点整理）と今後の課題の提示	復習としてこれまでの授業の反省をもとに、自分が教員となって体育を指導する際の課題をまとめてください（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： KYOU112
授業形態： 演習
科目名： 体育指導法
担当教員： 上野 耕平(UENO Kouhei)

【授業の紹介】

小学校学習指導要領「体育科」では、体育科の目標を「心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する」としています。つまり、小学校体育では児童のスポーツ愛好度を高めることを重視した授業を求めています。本授業では児童が「夢中になって取り組める授業づくり」ができる知識や技能を修得し、創造的な教材開発力と授業実践力を身に付けることをめざします。

なおこの授業では、グーグルクラスルーム（クラスコード【uejzquv】）を使用します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	6.教育・保育に関する多様な情報を収集・分析して、論理的な思考力と創造力を用いて適切に判断できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

授業の到達目標及びテーマ

1. 小学校学習指導要領体育科における教科目標及び内容、指導上の留意点について説明できる。
2. 児童の意欲や思考力、判断力などの実態に応じた授業づくり・教材づくりができる。
3. 教育に係る資質向上に向けて、自らの体育授業を客観的に評価・反省し、継続的に学習することができる。
4. 「良い体育授業」の基礎的・内容的条件を踏まえ、具体的な授業場面を想定した授業設計を行うことができる。

【成績の評価】

中間テスト（30%）、模擬授業の発表内容（30%）、模擬授業実施後のレポート（40%）で評価する。レポートは模擬授業を実施した次の週に全員で振り返りますので、それまでに必ず提出して下さい。

【使用テキスト】

テキストは特に使用せず、授業中に適宜資料を配付する。

【参考文献】

体育科教育学入門（高橋健夫ほか編著、大修館書店）2010年
小学校学習指導要領、小学校学習指導要領解説（平成29年3月公示 文部科学省）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	体育の模擬授業（器械運動：マット運動 翻転技群）	復習として模擬授業の反省をもとに、自分が指導者であった場合を想定して、自分なりの改善案をまとめておいてください（1時間）	
2	体育の模擬授業（器械運動：跳び箱運動 切り返し系）	復習として模擬授業の反省をもとに、自分が指導者であった場合を想定して、自分なりの改善案をまとめておいてください（1時間）	
3	体育の模擬授業（器械運動：跳び箱運動 回転系）	復習として模擬授業の反省をもとに、自分が指導者であった場合を想定して、自分なりの改善案をまとめておいてください（1時間）	
4	体育の模擬授業（陸上運動：短距離走）	復習として模擬授業の反省をもとに、自分が指導者であった場合を想定して、自分なりの改善案をまとめておいてください（1時間）	
5	体育の模擬授業（陸上運動：リレー）	復習として模擬授業の反省をもとに、自分が指導者であった場合を想定して、自分なりの改善案をまとめておいてください（1時間）	
6	体育の模擬授業（ボール運動：ゴール型 宝取り鬼）	復習として模擬授業の反省をもとに、自分が指導者であった場合を想定して、自分なりの改善案をまとめておいてください（1時間）	
7	体育の模擬授業（ボール運動：ゴール型 コロコロボール）	復習として模擬授業の反省をもとに、自分が指導者であった場合を想定して、自分なりの改善案をまとめておいてください（1時間）	
8	体育の模擬授業（ボール運動：ゴール型 ハンドボール）	復習として模擬授業の反省をもとに、自分が指導者であった場合を想定して、自分なりの改善案をまとめておいてください（1時間）	
9	体育の模擬授業（ボール運動：ネット型 キャッチバレーボール）	復習として模擬授業の反省をもとに、自分が指導者であった場合を想定して、自分なりの改善案をまとめておいてください（1時間）	
10	体育の模擬授業（ボール運動：ネット型 ソフトバレーボール）	復習として模擬授業の反省をもとに、自分が指導者であった場合を想定して、自分なりの改善案をまとめておいてください（1時間）	
11	体育の模擬授業（ボール運動：ベースボール型 キックベースボール）	復習として模擬授業の反省をもとに、自分が指導者であった場合を想定して、自分なりの改善案をまとめておいてください（1時間）	
12	体育の模擬授業（表現運動：表現・フォークダンス）	復習として模擬授業の反省をもとに、自分が指導者であった場合を想定して、自分なりの改善案をまとめておいてください（1時間）	
13	体育の模擬授業（保健：心の発達）	復習として模擬授業の反省をもとに、自分が指導者であった場合を想定して、自分なりの改善案をまとめておいてください（1時間）	
14	体育の模擬授業（保健：心と体の相互の影響）	復習として模擬授業の反省をもとに、自分が指導者であった場合を想定して、自分なりの改善案をまとめておいてください（1時間）	
15	授業のまとめ（要点整理）と今後の課題の提示	復習としてこれまでの授業の反省をもとに、自分が教員となって体育を指導する際の課題をまとめてください（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： KYOU16
授業形態： 演習
科目名： 外国語指導法
担当教員： 竹田 忠弘(TAKEDA Tadahiro)

【授業の紹介】

小学校外国語教育についての基礎的な知識・理解を深め、子どもの第二言語習得についての知識とその活用法を学び、授業実践に必要な基礎的な指導技術を修得する。知識・理解を深めるために、調べてきたことや準備してきたことを発表する授業形態をとり、知識の活用法や指導技術を身に付けるために、ペアワークやグループワークによる言語活動を学生が自ら体験しながら学ぶ。

また、講義、演習、実習を組み合わせ、主体的・対話的で深い学びになるよう、講義中心ではなくワークショップ中心の授業を行うとともに、実際の授業づくりにも取り組む。Google Classroom Code: lir77i7

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	6. 教育・保育に関する多様な情報を収集・分析して、論理的な思考力と創造力を用いて適切に判断できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

- ・小学校における外国語活動（英語）の学習、指導、評価に関する基本的な知識や指導技術を身に付けることができる。
- ・英語を使ってコミュニケーションを図るための素地を児童に効果的に習得させることができる。
- ・英語の発音やアクセントなど、音声指導が確実にできる。
- ・小学校英語教育に求められる英語力を身に付けることができる。

【成績の評価】

「授業への関心・意欲・態度」20%、「授業時間以外に課すレポート等提出課題」20%、「小テスト」20%、「インタビューテスト及び模擬授業」40%の4項目を総合的に評価します。レポート、小テスト、インタビューテスト及び模擬授業については、その都度フィードバックを行います。
なお、30分以上の遅刻は欠席とみなし、また、遅刻3回で欠席1回とみなします。

【使用テキスト】

小学校英語 はじめる教科書 改訂版
外国語科・外国語活動指導者養成のために コア・カリキュラムに沿って
(小川隆夫、東仁美著、mpi松香フォニックス、2021)

【参考文献】

小学校学習指導要領、小学校学習指導要領解説 外国語編及び外国語活動編
(平成29年3月 文部科学省)

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高校現場での英語指導の経験を活かして授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 「第一部 外国語の指導法」について	予習として、テキストの各回に実施する範囲を読み、内容を発表できるようにして授業に臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）	
2	Unit 1 外国語活動と外国語科の目標 Unit 2 小・中の連携と小学校の役割	予習として、テキストの各回に実施する範囲を読み、内容を発表できるようにして授業に臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）	
3	Unit 3 児童や学校の多様性への対応 Unit 4 言語使用を通じた言語習得・音声によるインプット	予習として、テキストの各回に実施する範囲を読み、内容を発表できるようにして授業に臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）	
4	Unit 5 コミュニケーションの目的や場面、状況等を明確にした言語活動 Unit 6 音声から文字へ	予習として、テキストの各回に実施する範囲を読み、内容を発表できるようにして授業に臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）	
5	Unit 7 国語教育との連携 Unit 8 Classroom English, Small Talk, Teacher Talk	予習として、テキストの各回に実施する範囲を読み、内容を発表できるようにして授業に臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）	
6	Unit 9 「読むこと」と「書くこと」への導き方 Unit 10 題材の選定と教材	予習として、テキストの各回に実施する範囲を読み、内容を発表できるようにして授業に臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）	
7	Unit 11 学習到達目標、指導計画（カリキュラム・マネジメント） Unit 12 学習指導案の作り方	予習として、テキストの各回に実施する範囲を読み、内容を発表できるようにして授業に臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）	
8	Unit 13 ALT等とのチーム・ティーチングによる指導の在り方 Unit 14 ICT等の活用の仕方	予習として、テキストの各回に実施する範囲を読み、内容を発表できるようにして授業に臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）	
9	Unit 15 外国語科の学習評価	予習として、テキストの各回に実施する範囲を読み、内容を発表できるようにして授業に	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）	
10	学習指導案作成	予習として、学習指導案の作成をしてください。（2時間） 復習として、模擬授業の練習をしてください。（2時間）	
11	模擬授業（1）	予習として、模擬授業の準備及び練習をしてください。（2時間） 復習として、模擬授業の反省点をまとめてください。（2時間）	
12	模擬授業（2）	予習として、模擬授業の準備及び練習をしてください。（2時間） 復習として、模擬授業の反省点をまとめてください。（2時間）	
13	模擬授業（3）	予習として、模擬授業の準備及び練習をしてください。（2時間） 復習として、模擬授業の反省点をまとめてください。（2時間）	
14	インタビューテストの準備	予習として、インタビューテストの準備及び練習をしてください。（2時間） 復習として、インタビューテストの練習をしてください。（2時間）	
15	インタビューテスト	予習として、インタビューテストの練習をしてください。（2時間） 復習として、うまく答えられなかった項目について、復習してください。（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： KYOU16
授業形態： 演習
科目名： 外国語指導法
担当教員： 竹田 忠弘(TAKEDA Tadahiro)

【授業の紹介】

小学校外国語教育についての基礎的な知識・理解を深め、子どもの第二言語習得についての知識とその活用法を学び、授業実践に必要な基礎的な指導技術を修得する。知識・理解を深めるために、調べてきたことや準備してきたことを発表する授業形態をとり、知識の活用法や指導技術を身に付けるために、ペアワークやグループワークによる言語活動を学生が自ら体験しながら学ぶ。
また、講義、演習、実習を組み合わせ、主体的・対話的で深い学びになるよう、講義中心ではなくワークショップ中心の授業を行うとともに、実際の授業づくりにも取り組む。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	6. 教育・保育に関する多様な情報を収集・分析して、論理的な思考力と創造力を用いて適切に判断できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

- ・小学校における外国語活動（英語）の学習、指導、評価に関する基本的な知識や指導技術を身に付けることができる。
- ・英語を使ってコミュニケーションを図るための素地を児童に効果的に習得させることができる。
- ・英語の発音やアクセントなど、音声指導が確実にできる。
- ・小学校英語教育に求められる英語力を身に付けることができる。

【成績の評価】

「授業への関心・意欲・態度」20%、「レポート等、授業以外に課す課題」20%、「小テスト」20%、「"Speech"テスト及び模擬授業」40%の4項目を総合的に評価します。レポート、小テスト、「Speech」テスト及び模擬授業については、その都度フィードバックを行います。
なお、30分以上の遅刻は欠席とみなし、また、遅刻3回で欠席1回とみなします。

【使用テキスト】

小学校英語 はじめる教科書 改訂版
外国語科・外国語活動指導者養成のために コア・カリキュラムに沿って
(小川隆夫、東仁美著、mpi松香フォニックス、2021)

【参考文献】

小学校学習指導要領、小学校学習指導要領解説 外国語編及び外国語活動編
(平成29年3月 文部科学省)

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高校現場での英語指導の経験を活かして授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 「第三部 外国語活動の指導法」について	予習として、テキストの各回に実施する範囲を読み、内容を発表できるようにして授業に臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）	
2	Unit 1 小学校教育の理念と現状理解 Unit 2 中学年外国語活動から高学年外国語科への接続	予習として、テキストの各回に実施する範囲を読み、内容を発表できるようにして授業に臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）	
3	Unit 3 発達心理学の基礎 Unit 4 外国語（英語）活動のねらいと活動の在り方	予習として、テキストの各回に実施する範囲を読み、内容を発表できるようにして授業に臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）	
4	Unit 5 児童の認知・情緒発達に即した指導法 Unit 6 学級担任とJTEとのチーム・ティーチング	予習として、テキストの各回に実施する範囲を読み、内容を発表できるようにして授業に臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）	
5	Unit 7 ことばへの気づきをもたらず指導 Unit 8 外国語活動の学習評価	予習として、テキストの各回に実施する範囲を読み、内容を発表できるようにして授業に臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）	
6	Unit 9 中学年に適したさまざまな活動 Unit 10 中学年に適した教材	予習として、テキストの各回に実施する範囲を読み、内容を発表できるようにして授業に臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）	
7	Unit 11 英語によるやり取りの仕方 Unit 12 児童の発話の引き出し方・児童とのやり取りの進め方	予習として、テキストの各回に実施する範囲を読み、内容を発表できるようにして授業に臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）	
8	Unit 13 語彙や表現に慣れ親しませる方法 Unit 14 読み聞かせ指導	予習として、テキストの各回に実施する範囲を読み、内容を発表できるようにして授業に臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）	
9	Unit 15 発表活動の指導	予習として、テキストの各回に実施する範囲	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>を読み、内容を発表できるようにして授業に臨んでください。（2時間）また、復習として、授業中に体験した言語活動を自ら繰り返し練習するとともに、単語や熟語等の語彙やクラスルームイングリッシュ等の表現を暗記してください。（2時間）</p>	
10	学習指導案作成	<p>予習として、模擬授業を実施するUnitの指導案を作成して持参してください。（2時間）また、復習として、授業中に学んだことを活かして指導案を訂正するとともに、模擬授業の練習を行ってください。（2時間）</p>	
11	模擬授業（1）	<p>予習として、模擬授業を実施するUnitの指導案を作成して持参してください。（2時間）また、復習として、授業中に学んだことを活かして指導案を訂正するとともに、模擬授業の練習を行ってください。（2時間）</p>	
12	模擬授業（2）	<p>予習として、模擬授業を実施するUnitの指導案を作成して持参してください。（2時間）また、復習として、授業中に学んだことを活かして指導案を訂正するとともに、模擬授業の練習を行ってください。（2時間）</p>	
13	模擬授業（3）	<p>予習として、模擬授業を実施するUnitの指導案を作成して持参してください。（2時間）また、復習として、授業中に学んだことを活かして指導案を訂正するとともに、模擬授業の練習を行ってください。（2時間）</p>	
14	模擬授業（4）	<p>予習として、模擬授業を実施するUnitの指導案を作成して持参してください。（2時間）また、復習として、授業中に学んだことを活かして指導案を訂正するとともに、模擬授業の練習を行ってください。（2時間）</p>	
15	"Speech"テスト	<p>予習として、準備したスピーチの原稿を何度も読んで覚え、練習してテストに臨んでください。（2時間）また、復習として、スピーチの結果を反省し、改善のために何が必要かについて考えてください。（2時間）</p>	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： KIS02
授業形態： 講義
科目名： 教育学原論
担当教員： 松原 勝敏(MATSUBARA Katsutoshi)

【授業の紹介】

Google Classroom クラスコード：ku26zyk

教育学原論では、教育課程編成・実施の方針に基づき、教育に関係する領域を広範囲に、かつ、多角的に追求することをおして、この領域の基礎的な知識を獲得するための科目として位置づけられます。今日、人々の教育に関する意見や要望、そして批判には、いろんな立場から多様な意見が噴出して、答えを出すのが非常に難しい状況にあります。教育学原論では、教育という社会事象を専門的な立場から理解するために必要な基礎的な知識を獲得します。そして、自らの教育観の基礎を作り、教育に関する事柄について、専門的・客観的な立場から、自分なりの意見表明ができる力を形成します。なお、「教育」と言うと幼児の段階からの教育を意識するかもしれませんが、保育においては養護と教育を一体的に実現するところに特色があります。そこで、0歳児からの教育の可能性や目的および目標についても検討します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	1. 教育・保育に携わる者に求められる高い使命感・倫理観や豊かな心を持っている。
		2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

1. 教育という社会事象を専門的な立場から理解するために必要な基礎的な知識を獲得することができる。
2. 教育の基本的概念や教育の理念の基礎を理解することができる。
3. 教育の歴史や思想の学習をおして、今日の教育の基本理念の形成過程を理解することができる。
4. 自らの教育観の基礎を作り、教育に関する事柄について、専門的・客観的な立場から、自分なりの意見表明ができる力の獲得することができる。
5. 上の4つの到達目標を達成することで、卒業認定・学位授与の方針に示す、教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解することができる。

【成績の評価】

毎回の授業終了時に課するミニレポート（約30%）、レポート（約20%）、定期試験（約50%）の3つを以て、総合的に評価します。

- ・ミニレポートについては、次の授業の冒頭の部分で内容についてコメントします。
- ・主たるレポート課題については、15回目の授業でフィードバックします。
- ・定期試験の内容については、学内ネットを通じてフィードバックします。

【使用テキスト】

新初等教育原理（平成26年 佐々木正治編著、福村出版）

【参考文献】

授業時に、適宜、紹介します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・教育の意味と本質	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
2	教育の目的と目標	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
3	人間社会における教育の役割	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
4	家族や社会における教育の思想と教育の役割	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
5	主要な教育思想	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
6	近代学校制度の成立と展開	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
7	日本の学校教育の歴史	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
8	義務教育の概要	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
9	今日の我が国における学校制度と主要国の学校制度	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		提出。(1時間)	
10	教育課程の基礎	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
11	学習指導の基礎	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
12	家庭教育	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
13	生涯学習	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
14	教員養成	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
15	今日の教育課題	予習：1～14回のワークシートの点検。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： KIS04
授業形態： 講義
科目名： 教師論
担当教員： 藤本 駿(FUJIMOTO Syun)

【授業の紹介】

教職や保育職は、皆さんにとって最も身近な職業の一つです。幼稚園や小学校でお世話になった先生に憧れて、この大学に入学した人も多いのではないのでしょうか。では、先生の仕事はどのようなものなのか知っていますか。先生の仕事の実際は、保育や教育を受ける立場からは見えづらいものです。教職や保育職を目指すならば、教師や保育者としての視点を持つことが必要です。

そこで本授業では、教職や保育職にかかわる歴史、制度、理論など様々な視点から検討し、その理解を深めていきます。また、現代社会における教職や保育職の重要性や課題を通して、教職への意欲を高め、各自の教職の在り方を考えることを目指します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	1. 教育・保育に携わる者に求められる高い使命感・倫理観や豊かな心を持っている。
		2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	使命感・倫理観	3
		向上心	1
		多様な人材との協力・協働	1
		専門的知識と実践力	5

【到達目標】

1. 公教育の担い手である教職・保育職の社会的意義やその役割について理解できる。
2. 教師観や保育者観の変遷を通して、今日に求められる資質能力を理解できる。
3. 教師・保育者の職務内容や、服務上・身分上の義務を理解できる。
4. 教職・保育職が学校内外の専門家等と連携・分担し、チームとして諸課題に対応する重要性を理解できる。
5. 教職・保育職についての自分の考えを深め、自分の適性や意欲を確かめることができる。

【成績の評価】

毎回授業後に配布する振り返りシートの提出（30％）、4回行う小レポートの作成（20％）、定期試験の結果（50％）から総合的に評価する。

定期試験のフィードバックは、試験終了後に解答例を配付する。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

- ・佐々木司・三山緑編著『これからの学校教育と教師 - 「失敗」から学ぶ教師論入門 - 』ミネルヴァ書房、2014年。
- ・大豆生田啓友他編著『アクティベート保育学 保育者論』ミネルヴァ書房、2019年。
- ・佐久間亜紀・佐伯胖編著『アクティベート教育学 現代の教師論』ミネルヴァ書房、2019年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション、教師・保育者とは何か	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
2	教師観・保育者観の歴史（1）江戸時代の教師・保育者	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
3	教師観・保育者観の歴史（2）戦前の教師・保育者	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
4	教師観・保育者観の歴史（3）戦後の教師・保育者	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、教師観・保育者観の歴史に関する全体の内容を振り返り、整理した内容や自分の考えを小レポートにまとめること（2時間）。	
5	教師・保育者の役割（1）保育者の仕事とその魅力	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
6	教師・保育者の役割（2）教師の仕事とその魅力	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
7	教師・保育者の役割（3）教師・保育者の職業的特徴	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、教師・保育者の役割に関する全体の内容を振り返り、整理した内容や自分の考えを小レポートにまとめること（2時間）。	
8	教師・保育者の専門性（1）授業づくり	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
9	教師・保育者の専門性（2）子ども理解	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
10	教師・保育者の専門性（3）学級経営	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、教師・保育者の専門性に関する全体の内容を振り返り、整理した内容や自分の考えを小レポートにまと	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		めること（2時間）。	
11	教師・保育者の職務内容（1）服務上・身分上の義務	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
12	教師・保育者の職務内容（2）教員研修	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
13	教師・保育者の職務内容（3）勤務条件	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
14	教師・保育者の職務内容（4）チーム学校運営への対応	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、教師・保育者の職務内容に関する全体の内容を振り返り、整理した内容や自分の考えを小レポートにまとめること（2時間）。	
15	全体のまとめ、これからの教師・保育者を取り巻く課題	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： KIS03
授業形態： 講義
科目名： 教育制度論
担当教員： 松原 勝敏(MATSUBARA Katsutoshi)

【授業の紹介】

Google Classroom クラスコード：kcvykpI

「教育制度」という言葉は、やや「お堅い」言葉に聞こえるかもしれませんが、また、制度や法規に関連することは難しいのでできれば避けて通りたい…と思う人も少なくないと思います。

しかし、学校は、今日、私たちの暮らしを支える制度の1つとして機能しています。それ故に、学校には、その目的や制度のあり方、保育内容について様々な規定が設けられるとともに、多くの税金やその他の財貨が投入され、そこに教員をはじめといたくさんの人々が関わって、子どもたちの生活を支えています。それゆえに、教員に対する社会的使命や期待には大きなものがあると同時に厳しいものがあります。

本講義は、そのような点を考慮して、責任を果たせる教員としての意識づくりを図りたいと思います。また、採用試験も考慮して、法制面からのアプローチによって教育制度の理解を目指します。できるだけ、丁寧にわかりやすく講義することに努めますので、肩肘張らず受講して下さい。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

- ・教育現場での1つ1つの行為が、社会的な制度の枠の中で運営されていることを理解し、自らの教育実践に取り組む姿勢を形成することができる。
- ・この授業では、教育制度の基本的な枠組みを理解すると共に、制度構築の理念を理解して、教育制度に関する問題に自分なりの意見表明ができる。

【成績の評価】

毎回の授業時におけるミニレポートへのコメント(約30%)、レポート(約20%)及び定期試験(約50%)の合計点によって成績を評価し、単位を認定します。

毎回の授業時に、各学生の学びを点検し、学習成果の改善のためのフィードバックを行います。また、最終的な学習の成果については、私の学内HPを通じて学生に以後の学びへの示唆をフィードバックします。

【使用テキスト】

河野和清編著『現代教育の制度と行政 改訂版』福村出版 2017

【参考文献】

文部科学省「幼稚園教育要領」2017
文部科学省「小学校学習指導要領」2017

その他、授業時に、適宜紹介します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション&教育制度を学ぶ意義	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
2	教育法規の全体像	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
3	学校制度とその課題	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
4	教育行政制度とその課題	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
5	教育財政制度とその課題	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
6	教育課程行政	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
7	学校経営の理論と実際	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
8	学校経営における地域や保護者との連携	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
9	幼児・児童の管理	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
10	学校における安全管理	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
		提出。(1時間)	
11	教員養成制度	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
12	特別支援教育制度	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
13	学校を巡る社会状況の変化と学校の課題	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
14	生涯学習社会に向けた教育制度の在り方	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
15	我が国及び諸外国における教育事情と教育改革	予習：1～14回のワークシートの点検。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： KOK02
授業形態： 演習
科目名： 教育心理学
担当教員： 横川 和章(YOKOGAWA Kazuaki)

【授業の紹介】

教師は、幼児・児童・生徒の発達や学習状態を適切にとらえ、それに応じて指導することが求められています。本講義では、幼児・児童・生徒の発達、性格、知的能力（記憶、思考、学習）、やる気、学習指導と評価、学級集団などについての基本的知識を扱います。心理学に基づく教育の充実を目標として、学校や幼稚園・保育所で直接に子どもの教育・保育に関わる際に有用となる理論を紹介し、受講した学生が理論と教育実践を結びつけられることを目指します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

1. 学生が子どもの教育・保育にあたるための幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、理論を含めた基礎的な知識を身に付けることができる。
2. 学生が各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解できる。
3. 学生がそのような知識をどのようにして子どもの教育・保育の実践に生かせるのか考える態度を身に付けることができる。

【成績の評価】

- ・ 定期試験（80％）、授業時に出される課題（20％）。
- ・ 定期試験及び課題については、オフィスアワーにてフィードバックします。

【使用テキスト】

富永大介・平田幹夫・竹村明子・金武育子（2016）『教職をめざすひとのための発達と教育の心理学』（ナカニシヤ出版）

【参考文献】

鎌原雅彦・竹綱誠一郎（2019）『やさしい教育心理学』（有斐閣）
武田明典（2020）『教師と学生が知っておくべき教育心理学』（北樹出版）
藤原和政・谷口弘一（2021）『学校現場で役立つ教育心理学』（北大路書房）
高櫻綾子（2021）『子どもの育ちを考える教育心理学』（朝倉書店）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	教育心理学の内容・方法	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
2	学習と記憶	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
3	動機づけ	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
4	知能・創造性と学力	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
5	自己理解とパーソナリティ	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
6	心理検査	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
7	測定と評価	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
8	幼児児童生徒の理解	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
9	発達の原理	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
10	発達段階の特徴	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
11	社会化と個性化	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
12	学校不適応行動の理解	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		こと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
13	学級経営	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
14	学級集団	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
15	発達障害と支援	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： TOKU26
授業形態： 講義
科目名： 特別支援教育
担当教員： 湯浅 恭正(YUASA Takamasa)

【授業の紹介】

特別な支援を必要とする子ども理解を進めるための基本を講義し、学校における教育内容・教育方法について学ぶ。そのために特別な支援を必要とする子どもの心理特性・発達特性、学級づくり・授業づくりの指導方法と教育課程の概要を講義する。これらを通して教師の資質・能力として必要な知識・技術・教育観について学ぶ。さらにインクルーシブ教育の理念・国際的動向・制度の基本を押さえ、「通級による指導」や「自立活動」の意義に触れるとともに、特別支援学校・学級で求められる個別の指導計画・個別の教育支援計画の意義、関係機関との連携等、インクルーシブ教育時代の特別支援教育の現代的課題を学ぶ。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。
		5. 子どもの教育・保育にかかる諸問題を自ら発見し、その問題を解決することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	多様な人材との協力・協働	5
		専門的知識と実践力	5

【到達目標】

1. 特別な支援を必要とする子どもの生活・発達・学習における困難さとニーズを把握するための基本を理解することができ、それを表現して他者に伝えることができる。
2. 特別な支援を必要とする子どもが授業や学級活動に参加するための支援に必要な知識・支援方法・関係機関との連携の在り方の基本を理解することができ、それを表現して他者に伝えることができる。
3. 特別な支援を必要とする子どもとともに生きるインクルーシブな共生社会の在り方の基本を理解することができ、それを表現して他者に伝えることができる。

【成績の評価】

授業の各回をいくつかにまとめたテーマごとに特別支援教育の基本的な知識と指導技術の理解、さらに教育観について各自が総括した報告を評価する(80%)。総括の視点は授業において適宜説明し、学生からの質問等を受けて質の高い総括報告を求める。

授業の毎回において小報告を提出し、それをトータルに評価する(20%)。毎回の小報告について特に重要だと思われる学生からの指摘や質問を取り上げて、次の授業でフィードバックする。

【使用テキスト】

『よくわかる特別支援教育 第2版』(湯浅恭正編、ミネルヴァ書房、2018)

【参考文献】

授業において適宜資料を配布する。また参考文献として、渡部昭男『障害のある子の就学・進学ガイドブック 改訂版』日本標準、2022。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	特別支援教育を学ぶために-授業のガイダンス	予習内容:指定したテキストの目次を含めて特別支援教育の内容を概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、特別支援教育の概要を要約し、講義で紹介した関連する文献等を図書館やネット等で調べて、総括報告に備える(2時間)。	
2	インクルーシブ教育を含めた特別支援教育の理念と制度	予習内容:指定したテキストの内容のうち、インクルーシブ教育と特別支援教育制度の関連を概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、特別支援教育の理念とインクルーシブ教育の関連のポイントを整理し、図書館やネット等で関連する内容を調べて総括報告に備える(2時間)。	
3	特別なニーズのある子どもの発達特性	予習内容:指定したテキストの内容のうち、特別なニーズのある子どもの発達特性を概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、発達障害などの子どもの発達特性の理解についてポイントを整理し、図書館やネット等で関連する内容を調べて、総括報告に備える(2時間)。	
4	特別なニーズのある子どもの心理特性	予習内容:指定したテキストの内容のうち、特別なニーズのある子どもの心理特性を概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、発達障害などの子どもの心理特性の理解についてポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
5	特別支援学校・学級に在籍する子どもの学習・発達における困難さ	予習内容:指定したテキストの内容のうち、特別支援学校・学級に在籍する子どもの学習・発達における困難さを概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、特別支援学校・学級に在籍する子どもの学習と発達の困難さを理解するためのポイントを整理し、図書館やネット等で調べて、総括報告に備える(2時間)。	
6	特別な支援を必要とする幼児の支援方法	予習内容:指定したテキストの内容のうち、特別な支援を必要とする幼児の支援方法について概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、特別な支援を必要とする幼児の支援方法のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて、総括報告に備える(2時間)。	
7	特別な支援を必要とする児童・生徒の支援方法	予習内容:指定したテキストの内容のうち、通常学級での指導事例を読み、口頭発表に備える(3時間)。復習内容:口頭発表を踏まえて、通常学級での特別な支援を必要とする児童・生徒の支援方法のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて、総括報告に備える(2時間)。	
8	教育課程における「通級による指導」「自立活動」の位置づけ	予習内容:指定したテキストの内容のうち、「通級による指導」「自立活動」の内容を概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、「通級による指導」「自立活動」の内容と教育課程における位置づけのポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
9	「通級による指導」の内容と指導方法	予習内容:指定したテキストの内容のうち、「通級による指導」の内容と指導方法を概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、「通級による指導」の内容と指導方法のポイントを整理し、図	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		書館やネット等で調べて、総括報告に備える(2時間)。	
10	「自立活動」の内容と指導方法	予習内容:指定したテキストの内容のうち、「自立活動」の内容と指導方法を概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、「自立活動」の内容と指導方法のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
11	個別の指導計画・個別の教育支援計画の意義と教育課程	予習内容:指定したテキストの内容のうち、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の意義を概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の意義と教育課程の関連のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
12	個別の指導計画・個別の教育支援計画を作成する方法	予習内容:指定したテキストの内容のうち、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成する方法をメモし、講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」作成する方法のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
13	関係機関と連携して特別支援教育の体制を整備する意義	予習内容:指定したテキストの内容のうち、関連機関と連携して特別支援教育の体制を整備する意義を概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、関連機関と連携して特別支援教育の体制を整備する意義のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて、総括報告に備える(2時間)。	
14	外国につながるのある子ども・貧困等により困難な課題のある子どもへの支援	予習内容:指定したテキストの内容のうち、外国につながるのある子どもを含めた特別なニーズのある子どもの支援について概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、外国につながるのある子どもを含めた特別なニーズのある子どもの支援のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて、総括報告に備える(2時間)。	
15	インクルーシブ教育時代の特別支援教育の方向	予習内容:講義全体を振り返り、総括報告に備える(3時間)。復習内容:講義を踏まえて、図書館等を活用して、インクルーシブ教育時代の特別支援教育の方向を整理し、最終の総括報告のための準備をするとともに、講義全体を振り返り、教職における特別支援教育の意義を確かめる(4時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： KIS06
授業形態： 講義
科目名： 教育課程論
担当教員： 山岸 知幸(YAMAGISHI Tomoyuki)

【授業の紹介】

教育課程とは、学校教育を行っていく上での根幹をなすものです。子どもの「資質・能力」を確実に育成するために、様々なレベルでの計画が示されているものと言ってもよいでしょう。

この授業では、教育課程・カリキュラムに関する歴史、意義や編成原理、現在の学習指導要領の重要なポイントについて学んでいきます。教育課程についての具体的な事例にも基づいて考察していきます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。
		7. 教育・保育に係る資質向上に向けて継続的に学ぶ能力を持っている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	5
		自己研修力	5

【到達目標】

1. 教育課程・カリキュラムに関わる歴史や理論を理解することができる。
2. 学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程の意義や編成方法を体系的に理解することができる。
3. 各学校の実情にあわせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解することができる。

【成績の評価】

レポート試験（60％）、毎回の授業後に提出する小レポート（40％）

レポートについては、採点基準を説明する。

毎回の授業後に提出する小レポートについては、次の授業時間にコメントを添えて返却する。

【使用テキスト】

小学校学習指導要領解説 総則編（平成29年7月 文部科学省）

【参考文献】

授業中に適宜資料を配付する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション - 教育課程とは -	シラバスを読み、また教科書に目を通し、考えたことや疑問点についてノートにまとめておくこと（2時間）。 本授業のねらいについて、A5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
2	我が国の戦後の教育課程の変遷	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントにA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
3	カリキュラム改革の歴史（1） - 児童中心主義思想を中心に -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントにA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
4	カリキュラム改革の歴史（2） - 教育内容の現代化を中心に -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントにA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
5	教育課程の編成原理と類型	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントにA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
6	教育課程の編成・実施・評価・改善	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントにA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
7	学習指導要領を学ぶ（1） - 総則を中心に -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントにA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
8	学習指導要領を学ぶ（2） - カリキュラム・マネジメントの視点から -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントにA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
9	学習指導要領を学ぶ（3） - 学校間連携の視点から -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントにA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
10	教育課程の実際（1） - 年間行事計画 -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントにA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	教育課程の実際（２） - 時間割の作成 -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（２時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントをA５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	
12	教育課程の実際（３） - 日課・週時程の編成 -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（２時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントをA５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	
13	教育課程の実際（４） - 教科年間指導計画 -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（２時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントをA５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	
14	教育課程の実際（５） - 特色ある学校づくりと学校評価 -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（２時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントをA５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	
15	まとめ - これからの教育課程・カリキュラムの課題 -	これまでに配布された資料及びテキストを復習し、質問項目をノートにまとめておくこと（２時間）。 これまで学んだことを整理し、A４一枚程度にまとめること（２時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： KOK08
授業形態： 講義
科目名： 道徳教育論
担当教員： 藤本 駿(FUJIMOTO Syun)

【授業の紹介】

皆さんはどのような道徳教育を受けてきましたか。そもそも道徳教育とはどのようなものでしょうか。2018年4月から、これまでの「道徳の時間」は「特別の教科 道徳」（道徳科）として位置付けられています。道徳科では、「考え、議論する道徳」を実現することが目指されています。小学校教諭は、道徳科の授業も担当することになるため、その意義や内容をしっかりと理解し、実践できる力を身に付けておく必要があります。この授業では、道徳科の学習指導要領の基つき、道徳科の目標や内容、指導計画等について概観します。また、教材研究や学習指導案の作成、模擬授業を通して、道徳科の実践的な指導力を身に付けることを目指します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	1. 教育・保育に携わる者に求められる高い使命感・倫理観や豊かな心を持っている。
		2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

- 1 道徳の意義や原理等を踏まえ、学校における道徳教育の目標や内容を理解できる。
- 2 道徳教育及びその要となる道徳科における指導計画や指導方法を理解できる。

【成績の評価】

この授業では、毎回の授業後に配布する振り返りシート（20%）、3回行う小レポート（20%）、指導案や模擬授業への取り組み状況（20%）、定期試験（40%）から総合的に評価する。指導案、小レポートはコメントを付けた上で授業内に返却する。定期試験は、試験終了後に解答例を配布する。

【使用テキスト】

小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編（平成29年6月 文部科学省）。

【参考文献】

毎回、授業の内容にそった資料を配布し、それを用いて講義する。他の参考書等については授業中に適宜紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション、道徳教育とは何か	予習として、教員から指示された資料に関する疑問点や気づいた点などをノートに整理しておくこと（2時間）。復習として、講義資料を読み返し、感想や意見などをノート等に整理し、授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
2	道徳教育の基本（1）道徳性の発達	予習として、教員から指示された資料に関する疑問点や気づいた点などをノートに整理しておくこと（2時間）。復習として、講義資料を読み返し、感想や意見などをノート等に整理し、授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
3	道徳教育の基本（2）道徳教育の歴史	予習として、教員から指示された資料に関する疑問点や気づいた点などをノートに整理しておくこと（2時間）。復習として、講義資料を読み返し、感想や意見などをノート等に整理し、授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
4	道徳教育の基本（3）道徳教育の現状	予習として、教員から指示された資料に関する疑問点や気づいた点などをノートに整理しておくこと（2時間）。復習として、講義資料を読み返し、感想や意見などをノート等に整理し、授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
5	道徳科の目標、内容構成、指導方針	予習として、教員から指示された資料に関する疑問点や気づいた点などをノートに整理しておくこと（2時間）。復習として、講義資料を読み返し、感想や意見などをノート等に整理し、授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
6	道徳科の学習指導案の形式	予習として、教員から指示された資料に関する疑問点や気づいた点などをノートに整理しておくこと（2時間）。復習として、講義資料を読み返し、感想や意見などをノート等に整理し、授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
7	道徳科の内容項目（1）自分自身に関すること	予習として、教員から指示された資料に関する疑問点や気づいた点などをノートに整理しておくこと（2時間）。復習として、講義資料を読み返し、感想や意見などをノート等に整理し、授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
8	道徳科の内容項目（2）人との関わり	予習として、教員から指示された資料に関する疑問点や気づいた点などをノートに整理しておくこと（2時間）。復習として、講義資料を読み返し、感想や意見などをノート等に整理し、授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
9	道徳科の内容項目（3）集団や社会との関わり	予習として、教員から指示された資料に関する疑問点や気づいた点などをノートに整理しておくこと（2時間）。復習として、講義資料を読み返し、感想や意見などをノート等に整理し、授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
10	道徳科の内容項目（4）生命や自然、崇高なものとの関わり	予習として、教員から指示された資料に関する疑問点や気づいた点などをノートに整理しておくこと（2時間）。復習として、講義資料を読み返し、感想や意見などをノート等に整理し、授業クラスルームに投稿すること	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		（2時間）。	
11	道徳科の指導方法	予習として、教員から指示された資料に関する疑問点や気づいた点などをノートに整理しておくこと（2時間）。復習として、講義資料を読み返し、感想や意見などをノート等に整理し、授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
12	模擬授業の実施（1）導入段階の模擬授業	予習として、教員から指示された資料に関する疑問点や気づいた点などをノートに整理しておくこと（2時間）。復習として、講義資料を読み返し、感想や意見などをノート等に整理し、授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
13	模擬授業の実施（2）展開段階の模擬授業	予習として、教員から指示された資料に関する疑問点や気づいた点などをノートに整理しておくこと（2時間）。復習として、講義資料を読み返し、感想や意見などをノート等に整理し、授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
14	模擬授業の実施（3）まとめ段階の模擬授業	予習として、教員から指示された資料に関する疑問点や気づいた点などをノートに整理しておくこと（2時間）。復習として、講義資料を読み返し、感想や意見などをノート等に整理し、授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
15	まとめ、今後の道徳教育の動向	予習として、教員から指示された資料に関する疑問点や気づいた点などをノートに整理しておくこと（2時間）。復習として、講義資料を読み返し、感想や意見などをノート等に整理し、授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： TISE22
授業形態： 講義
科目名： 総合的な学習の時間の指導法
担当教員： 野村 一夫(NOMURA Kazuo)

【授業の紹介】

総合的な学習の時間の趣旨やねらい、カリキュラム上の位置付けなどについて、小学校学習指導要領に示された目標、内容及び内容の取扱い等を分析し、考えることを通じて理解を図ります。

また、地域や学校の実情に応じた全体計画や年間指導計画、単元計画等の作成方法をグループワークを通して学びます。さらに、グループでテーマ設定型の探究活動を行い、プレゼンテーションすることを通して、総合的な学習の時間の意義を考えます。

これらの学修から授業設計や指導法、評価等についての基礎的な理解と実践力の育成を図り、小学校教員としての資質・能力の基礎を培うことを目指します。

この授業ではClassroom(クラスコード：w612kce)を使用し、資料配付や課題「授業リフレクション」の提示などを行います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	5. 子どもの教育・保育にかかる諸問題を自ら発見し、その問題を解決することができる。
		6. 教育・保育に関する多様な情報を収集・分析して、論理的な思考力と創造力を用いて適切に判断できる。
		7. 教育・保育に係る資質向上に向けて継続的に学ぶ能力を持っている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	5
		自己研修力	5

【到達目標】

1. 総合的な学習の時間創設の経緯を知り、カリキュラム論に基づく位置付けを説明することができる。
2. 総合的な学習の時間の目標を踏まえ、各学校や地域の実情に応じた指導計画を作成できるようになる。

【成績の評価】

学修内容の理解はもとより、学修に対する意欲と態度を評価します。

現代的な諸課題に係る「私たちの考える探究課題〇〇について」の作成及び提出(30%)、「授業リフレクション」の提出(20%)、定期試験(50%)とします。

「授業リフレクション」は、Classroomで提出し、返却時にコメントします。

期末定期試験は、採点基準を説明します。

【使用テキスト】

小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編 平成30年 文部科学省
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(小学校総合的な学習の時間) 令和2年
国立教育政策研究所教育課程センター

【参考文献】

随時紹介する。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。教育行政と小学校教員の経験を活かし、総合的な学習の時間の実務的な課題や具体的な指導法の在り方などを解説します。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（総合的な学習の時間のイメージ）	予習として、小学校から高等学校における総合的な学習の時間の学習経験（テーマ、特に記憶に残っている学習活動、学習を通じていたことなど）を振り返り、ノート等にまとめておくこと。（1時間）復習として、総合的な学習の時間の現状と課題を整理し、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
2	総合的な学習の時間創設の経緯と背景	予習として、総合的な学習の時間を学習することの必要性について考え、ノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、総合的な学習の時間創設の経緯を踏まえて、その意義授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
3	総合的な学習の時間の教育課程上の位置付けとカリキュラム論	予習として、小学校における現行の教育課程（カリキュラム構成）を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）復習として、総合的な学習の時間を教育課程に位置付けられていることに関する自らの考え授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
4	学習指導要領における総合的な学習の時間の目標、内容及び内容の取扱い	予習として、総合的な学習の時間と各教科との目標、内容及び内容の取扱いの異同について調べ、ノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、各教科と総合的な学習の時間の違いから考えたことを授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
5	総合的な学習の時間で育成することを目指す資質・能力	予習として、総合的な学習の時間で身に付けたい力を具体的に考えノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、総合的な学習の時間で育成する資質・能力をどのように活かすのかを授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
6	総合的な学習の時間における三つの課題	予習として、総合的な学習の時間における三つの課題を調べノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、三つの課題に関する自らの考えを授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
7	各学校において目標及び内容等を定める際の留意事項	予習として、実習校等における総合的な学習の時間の全体計画を収集しておくこと。（1時間）復習として、各学校において目標と内容等を定めることの意義を考え、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
8	総合的な学習の時間の全体計画の作成（グループワーク）	予習として、実習校等における総合的な学習の時間の全体計画を収集しておくこと。（1時間）復習として、全体計画を作成することの意義を授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
9	総合的な学習の時間の年間指導計画の作成（グループワーク）	予習として、実習校等における総合的な学習の時間の年間指導計画を収集しておくこと。（1時間）復習として、総合的な学習の時間において年間指導計画を作成することの意義を考え、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
10	総合的な学習の時間の単元計画の作成（グループワーク）	予習として、実習校等における総合的な学習の時間の学習指導案等を収集しておくこと。（1時間）復習として、総合的な学習の時間	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		の学習活動の在り方を考え、授業リフレクションに記述すること。 。（1時間）	
11	探究的な学習の過程における「主体的・対話的で深い学び」の視点（グループワーク：テーマ設定型探究活動）	予習として、探究的な学習を中核とする単元計画を考えノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、最適な学習活動の在り方を考え、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
12	探究的な学習の指導のポイント（グループワーク：テーマ設定型探究活動）	予習として、探究的な学習を指導する際の留意事項を考えノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、探究的な学習における指導上留意したいことを考え、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
13	総合的な学習の時間の評価（グループワーク：テーマ設定型探究活動）	予習として、各教科における評価上の留意点を整理しノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、総合的な学習の時間における評価方法を振り返り、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
14	総合的な学習の時間の指導体制と時間の弾力的運用（グループワーク：テーマ設定型探究活動）	予習として、各教科等における学習形態と指導体制等の工夫を調べノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、時間の弾力的運用の工夫を考え、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
15	総合的な学習の時間の環境整備と地域との連携・協働（グループワーク：テーマ設定型探究活動）	予習として、学校と地域との連携・協働の在り方について調べ、ノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、これからの学習活動の在り方を考え、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： TISE18
授業形態： 講義
科目名： 特別活動論
担当教員： 平畑 博人(HIRAHATA Hiroto)

【授業の紹介】

学校における多様な集団活動による課題の発見や解決を通してよりよい集団の形成や学校での生活を目指す特別活動の意義を理解するとともに、取り上げた問題やトピックを様々な視点から考察することで、学年の違いによる活動の変化、各教科等との往還的な関連、地域住民や他校の教職員と連携した組織的な対応等、特別活動の特質を踏まえた指導に必要な知識や素養を身に付けます。
経営学部学生も受講します。

また、アクティブ・ラーニング（ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、3分間スピーチ）を通して授業の理解を深め自分の意見を表明し他人の考え方を知ることにより、学校現場で教壇に立った際の思考・行動の可能性も検討します。

この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：ulx55hf）を使用します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。
		5. 子どもの教育・保育にかかる諸問題を自ら発見し、その問題を解決することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	多様な人材との協力・協働	5
		専門的知識と実践力	5

【到達目標】

学習指導要領における特別活動の目標及び主な内容を理解することができる。
教育課程における特別活動の位置付けと各教科等との関連を理解することができる。
学級活動、児童会活動、学校行事の特質を理解することができる。
教育課程全体で取り組む特別活動の指導の在り方を理解することができる。
特別活動における取り組みの評価・改善活動の重要性を理解することができる。
合意形成に向けた話し合い活動、意思決定につながる指導及び集団活動の意義や指導の在り方を例示することができる。
特別活動における家庭・地域住民や関係機関との連携の在り方を理解することができる。

【成績の評価】

授業への取り組み（30％）提出物（40％）、模擬授業体験（30％）。
提出物は後日返却し、模擬授業体験はその都度コメントするとともに評価のコメントはオフィスアワーで行う。

【使用テキスト】

文部科学省『小学校学習指導要領解説 特別活動編』（平成29年）東洋館出版社...文部科学省のHPからダウンロードしたものでかまわない

【参考文献】

その都度指示する。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高等学校や教育委員会での教育や指導、管理の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を進めます。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	特別活動の意義・目標・内容と教育課程における位置づけ	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
2	特別活動の歴史的変遷	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
3	特別活動と生徒指導	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
4	特別活動と学級経営	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
5	学級活動	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
6	児童会活動	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
7	クラブ活動	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
8	学校行事	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
9	特別活動の今	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
10	特別活動の指導の在り方（模擬体験授業の解説）	予習として、どのような模擬体験授業を行うのかを想定し授業の構成を考え、ノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
11	特別活動の指導の在り方（模擬体験授業の内容検討）	予習として、どのような模擬体験授業を行うのかを想定し授業の構成を考え、ノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
12	特別活動の指導の在り方（模擬体験授業の構成検討）	予習として、どのような模擬体験授業を行うのかを想定し授業の構成を考え、ノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
13	模擬体験（グループ発表）と振り返り	予習として、これまでの授業を振り返るために使用テキストを読み直し、特別活動の目標や意義を、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
14	模擬体験（グループ発表）と振り返り	予習として、これまでの授業を振り返るために使用テキストを読み直し、特別活動の目標や意義を、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
15	これからの特別活動	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： TISE1

授業形態： 講義

科目名： 教育の方法及び技術

担当教員： 佃 昌道(TSUKUDA Masamichi),河田 祥司

【授業の紹介】

現代は高度情報通信社会と言われるように、スマホやタブレット等に代表される各種の情報メディアが開発され、よりに大量の情報生成、蓄積、流通等が可能になりました。このような社会で求められる能力とは、インターネットや新しいICTを活用でき、必要とする情報の選択、加工、創造、伝達等に関わる新しいコミュニケーション能力です。なおこの授業過程では、「学習者の新たな学びという、主体的で対話的な深い学び」を目標にアクティブラーニング(以下、ALと称する)の手法を取り入れた新しい教育改革の一端を経験することができます。

この科目では、学習者の豊かな発想や興味・関心に対応できる学習形態の中で、経験、観察や調査、情報検索、映像やCGなどが活用できる自由度の高いメディアの選択と活用を可能にする教育の方法と技術の修得を目指します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。
		5. 子どもの教育・保育にかかる諸問題を自ら発見し、その問題を解決することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

1. 教育実践に必要な教育の方法に関する基礎的・基本的な知識の理解、技術の習得ができる。
2. 新しい学力観に対応した教授学習システムを設計することができる。
3. 情報ネットワークや情報メディアなど、ICTを活用した教育技術の習得ができる。
4. ALを体験することで、新しい教育方法・技術の活用方法が習得でき、教育者としての資質・力量の向上が養われる。

【成績の評価】

予習レポート(15%)、復習レポート(15%)、研究レポート(70%)、なお、予習レポートとは、主として授業前に予習した内容を、復習レポートとは、授業後に行った復習の結果をまとめて提出するもので、後日採点したものは返却する。研究レポートとは、最終試験に代わるものとして、当該科目に関するいくつかの課題から、幾つかを選択して報告書としてまとめて提出するものを指す。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

授業の中で適宜印刷物(資料)を配布します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	良い授業の調査から見る教育（保育）方法・技術の分析	予習（1時間）：良い授業の調査から見る教育（保育）方法・技術の分析の予習 復習（3時間）復習1時間：良い授業の調査から見る教育（保育）方法・技術の分析の復習	
2	子供の成長・発達段階における教育の役割の考察	予習（1時間）子供の成長・発達段階における教育の役割の予習 復習（3時間）子供の成長・発達段階における教育の役割の考察のまとめ	
3	学習指導要領における「確かな学力」の分析	予習（1時間）学習指導要領における「確かな学力」の分析の予習 復習（3時間）学習指導要領における「確かな学力」の分析の復習	
4	学習意欲の向上を図る動機付け理論の考察	予習（1時間）学習意欲の向上を図る動機付け理論の予習 復習（3時間）学習意欲の向上を図る動機付け理論の復習	
5	指導技術の向上を目指す方策の検討	予習（1時間）指導技術の向上を目指す方策の予習 復習（3時間）指導技術の向上を目指す方策の復習	
6	学習と成長を支える教育目標の分類体系の検討	予習（1時間）指導技術の向上を目指す方策の予習 復習（3時間）指導技術の向上を目指す方策の復習	
7	AL先進校の教育記録からみる有効性と限界の分析	予習（1時間）AL先進校の教育記録からみる有効性と限界の分析の予習 復習（3時間）AL先進校の教育記録からみる有効性と限界の分析の復習	
8	ICTの特徴と教育（保育）利用の有効性と限界の検討	予習（1時間）ICTの特徴と教育（保育）利用の有効性と限界の検討の予習 復習（3時間）ICTの特徴と教育（保育）利用の有効性と限界の検討の復習	
9	ICTを活用した学習指導案（教育・保育案）の作成	予習（1時間）ICTを活用した学習指導案（保育案）の作成の予習 予習（3時間）ICTを活用した学習指導案（保育案）の作成の復習	
10	情報社会の光と影（1）情報モラルと教育	予習（1時間）情報社会の光と影（1）情報モラルと教育の予習 復習（3時間）情報社会の光と影（1）情報モラルと教育の復習	
11	情報社会の光と影（2）未来への展望	予習（1時間）情報社会の光と影（2）未来への展望の予習 復習（3時間）情報社会の光と影（2）未来への展望の復習	
12	AL「主体的・対話的で深い学び」の授業過程の設計	予習（1時間）AL「主体的・対話的で深い学び」の授業過程の設計の予習 復習（1時間）AL「主体的・対話的で深い学び」の授業過程の設計の復習	
13	ALによる教育の円滑な実施（1）指導内容・方法の検討	予習（1時間）ALによる教育の円滑な実施（1）指導内容・方法の検討の予習 復習（1時間）ALによる教育の円滑な実施（1）指導内容・方法の検討の復習	
14	ALによる教育の円滑な実施（2）人的環境等	予習（1時間）ALによる教育の円滑な実施	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
	の検討	(2) 人的環境等の予習 復習 (1 時間) ALによる教育の円滑な実施 (2) 人的環境等の検討復習	
15	教育の方法及び技術のまとめと展望	予習 (1 時間) 教育の方法及び技術全体の振り返り 復習 (3 時間) 教育の方法及び技術のまとめ	
	定期試験 (実施しない)		

科目ナンバリング： TISE23
授業形態： 演習
科目名： 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法
担当教員： 松田 圭司

【授業の紹介】

この授業では、現代のICTの現状を知り、教育現場や校務でのICT（情報通信技術）活用状況等を学ぶ。講義および視聴覚資料による解説・事例紹介と、学生自身が各種ICT機器、環境を活用し、体験的に学修する機会を設けながら、授業における児童生徒および教員によるICT活用の他、授業の準備、学習評価に関する活用、校務における活用や教育データの活用を学ぶ。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

授業のテーマ及び到達目標

1. 情報通信技術の活用の意義と理論を理解する。
2. 情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方について理解する。
3. 児童及び生徒に情報活用能力（情報モラルを含む。）を育成するための基礎的な指導法を身につける。

【成績の評価】

学生に対する評価

授業への取組みとレポート課題（50%）、定期試験（50%）

提出されたレポートを返却することにより、フィードバックを行います。

オフィスアワーを設定しているの、利用すること。

【使用テキスト】

テキスト

教室へのICT活用入門（藤本 かおる 著、国書刊行会）ISBN-13：978-4336063397

【参考文献】

参考書・参考資料等

無理なくできる 学校のICT活用 タブレット・電子黒板・デジタル教科書などを使ったアクティブ・ラーニング（長谷川 元洋 著、学事出版）ISBN-13：978-4761921903

小学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	現代のICTの現状（ICTを支えるさまざまな技術要素を学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
2	ICTの教育現場および校務での活用状況（現在学校で導入されているICT技術の具体例を学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
3	教育現場でのICTの重要性および生かし方（教育現場で必要とされているICTの要素を学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
4	特別の支援を必要とする児童、生徒のためのICTの活用（特別支援の各種ケースとICT適用の可能性の判断方法を学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
5	ICT支援員など外部人材や大学などの外部機関やサポート機関との連携のありかた（ベンダのサポートIPAなど公的機関にはどのようなものがあるか？その活用方法について学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
6	学習場面に応じたICTを効果的に活用した指導事例【教材の作成方法】（実際に教材を作る際に有効なツールについて学ぶ。講義スライドや動画作成ツールなどを学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
7	学習場面に応じたICTを効果的に活用した指導事例【教材の活用、セキュリティ】（効果的な教材の活用方法およびネットワークセキュリティを確保するためのツールについて学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
8	教育データの採取、保管による指導、評価の実践（教務パッケージシステムやLMSの現状について学ぶ。クラウドストレージの有効活用について学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
9	遠隔、オンライン教育の意義およびシステムの利用方法（教務パッケージシステムやLMSそれらの操作方法などを学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
10	遠隔、オンライン教育の事例および問題点を確認（各種オンラインシステムの効果的な活用方法および問題点と改善策（将来像）などの方法を学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		間)	
11	統合型校務支援システムを含む情報通信技術を効果的に活用した校務の推進の方法（重要な校務の抽出、分析とそれらの概略業務フローについて学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
12	総合的な学習の時間において、横断的に育成する情報活用能力の内容について（科目の特性に関わらず、スムーズにICTを導入するための手法について学ぶ。）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
13	情報活用能力について各科目の指導事例を理解し、その指導方法の習得1（具体的な指導案の作成および対象科目の選定とその科目の特徴の明確化する。）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
14	情報活用能力について各科目の指導事例を理解し、その指導方法の習得2（指導案策定訓練、レポートの作成及び提出）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
15	将来の理想ICT教育のありかたについて、グループディスカッションおよびレポート作成（機器訓練も含む）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： KOK09

授業形態： 講義

科目名： 生徒・進路指導論

担当教員： 平畑 博人(HIRAHATA Hiroto)

【授業の紹介】

生徒指導の進め方や進路指導・キャリア教育のあり方についての様々な問題やトピックを取り上げ、児童が抱える課題などを見つけ解決する手法を身に付けます。

経営学部の学生も受講します。

また、アクティブ・ラーニング（ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、3分間スピーチ）を通して授業の理解を深め自分の意見を表明し他人の考え方を知ることにより、学校現場で教壇に立った際の思考・行動の可能性も検討します。

この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：2rnsi66）を使用します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。
		5. 子どもの教育・保育にかかる諸問題を自ら発見し、その問題を解決することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

生徒指導、進路指導・キャリア教育の理論と方法について理解することができる。

生徒指導、進路指導・キャリア教育を進めていくために必要な知識・技能や素養を身につけることができる。

【成績の評価】

提出物及び小レポート（50%）、学年末の最終レポート（50%）。

小レポートは後日返却し、最終レポートはオフィスアワーでコメントする。

【使用テキスト】

文部科学省『生徒指導提要（改訂版）』（令和4年）。… 文部科学省のHPからダウンロードしたものでかまわない

【参考文献】

随時資料を配布する

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高等学校や教育委員会での教育や指導、管理の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を進めます。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	生徒指導の基礎	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるように自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
2	生徒指導の方法原理	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるように自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
3	生徒指導の組織的な取組みと学校内外の連携	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるように自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
4	こども基本法	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるように自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
5	進路指導の進め方 - ほめ方と叱り方	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるように自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
6	生徒指導の諸問題（1）- インターネットと携帯電話	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるように自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
7	生徒指導の諸問題（2）- 校則	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるように自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
8	生徒指導の諸問題（3）- いじめ	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるように自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
9	生徒指導の諸問題（4）- 不登校	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
10	生徒指導の諸問題（5）- 懲戒と体罰	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
11	生徒指導の諸問題（6）- 暴力行為と少年非行	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
12	進路指導・キャリア教育の意義と教育課程における位置づけ	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
13	進路指導・キャリア教育の組織的な推進体制と連携	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
14	職業に関する体験活動とキャリア教育	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
15	生涯を通じたキャリア形成とキャリア・カウンセリング	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： KOK03
授業形態： 講義
科目名： 教育相談
担当教員： 織田 幸美(ODA Yukimi)

【授業の紹介】

教育相談は、幼児・児童の心理的発達を支援するための日常的な教育活動であり、教育の専門家としての教師にとって、教育相談に関する基礎の習得は不可欠です。幼児・児童・生徒の発達上直面する問題について柔軟に対応し、援助するためのスキルについて、体験的な活動も取り入れながら心理的成長を支える予防的援助について学習します。
この授業ではGoogle Classroom(クラスコード：gl7ixql)を使用し、ICTを活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	コミュニケーション能力	4
		思考力・判断力・表現力	6

【到達目標】

1. 学校における教育相談の意義と理論を理解することができる。
2. 教育相談を進める際に必要な基礎的知識を理解することができる。
3. 教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取り組みや連携の必要性を理解することができる。
4. 学校での予防的心理教育の方法について理解し、実践力を高めることができる。

【成績の評価】

定期試験（60％）と小レポート（40％）
小レポートについては、その都度、授業時に講評する。定期試験については教員研究室において模範解答を閲覧できるようにする。
30分以上の遅刻、離席は欠席特別な場合を除いて欠席とみなす。

【使用テキスト】

教師のための教育相談（2018年 西本絹子 萌文書林）

【参考文献】

絶対役立つ教育相談（2017年 藤田哲也監修 ミネルヴァ書房）
生徒指導提要（改訂版）デジタルバージョン（2022年 文部科学省）

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。小・中学校の現場での教育相談担当教員やスクールカウンセラーの経験を活かし、具体的な事例を示しながら受講者が実感を持って授業内容を理解できるように工夫して授業を行います。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	現代の子どもと子育てをめぐる状況と教師に求められる役割	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
2	教育相談とは何か 教師のおこなう教育相談の役割・特徴	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
3	相談援助の理論 カウンセリングとカウンセリングマインドの考え方を理解する	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
4	相談援助の技術1 カウンセリングマインドを活かす聴き方	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
5	相談援助の技術2 カウンセリングマインドを活かす保護者との関係づくり	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
6	子ども理解1 発達の視点から子ども理解する	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
7	子ども理解2 問題のアセスメント	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
8	子ども理解3 問題行動のとらえ方	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
9	いじめ問題への対応	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
10	不登校への対応	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまと	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		めて提出すること。（2時間）	
11	特別な要する要する子どもへの対応1 理解と支援の考え方	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
12	特別な支援を要する子どもへの対応2 支援の実際の基礎	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
13	障害のある子ども・気になる子どもの保護者への対応	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
14	「困った保護者」・不適切な養育環境への対応	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
15	子ども支援と学級経営	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： JISS5
授業形態： 実習
科目名： 教育実習事前事後指導 【幼】
担当教員： 山田 純子(YAMADA Junko)

【授業の紹介】

本授業は、教育実習を円滑に、より効果的にその目標を達成させるために行うものであり、実習の前後に講義・演習を行います。幼稚園教育実習の目的・目標・方法等の概要、実習の心得等の理解を深め、課題をもって実習に取り組めるように学びを深めていきましょう。また、保育に必要な知識・技能を取得しようとする意欲を高め、保育技術を身に付けることをめざします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	1. 教育・保育に携わる者に求められる高い使命感・倫理観や豊かな心を持っている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	使命感・倫理観	2
		向上心	2
		専門的知識と実践力	3
		自己研修力	3

【到達目標】

1. 事前指導では教育実習生として幼稚園の教育活動に参画する意識を高めることができる。
2. 事後指導では教育実習を経て得られた成果と課題等を省察するとともに、教員免許取得までに習得すべき知識や技能等について理解できる。
3. これらのことを通して教育実習の意義を理解することができる。
教育実習生として遵守すべき義務等について理解するとともに、その責任を自覚したうえで意欲的に教育実習に参加することができる。
教育実習を通して得られた知識と経験を振り返り、教員免許取得までにさらに習得することが必要な知識や技能等を理解することができる。

【成績の評価】

課題・学習シートのまとめ（50%）、実習の振り返りのまとめ（50%）
なお、教育実習事前事後指導は、教育実習 及び教育実習 と連動している科目のため、単独で単位認定されることはありません。
ワークシートは、たとえ欠席であっても必ず取組み、提出すること。
課題については、その都度授業時に講評します。教員から講評を受けることでフィードバックを行います。

【使用テキスト】

幼稚園教育要領解説(平成30年 文部科学省)

【参考文献】

適宜、資料を配布します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。幼稚園の現場での保育・教育の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	教育実習の意義と目的	<p>予習として、授業計画によるテーマに基づき、事前に指示された課題及び資料を熟読し、疑問点や気づいたことをノート等にまとめておくこと。そして、毎回のワークシートを基に授業内容を復習し、ノートに整理しておくこと。（各1時間）</p> <p>部分保育指導案及び研究保育指導案、全日保育指導案を作成し、期日までに提出すること（10時間）</p> <p>また、様々な保育技能を保育現場で活用できるように、教材製作やピアノ等の練習を行うこと。（10時間）</p>	
2	教育実習の概要	<p>予習として、授業計画によるテーマに基づき、事前に指示された課題及び資料を熟読し、疑問点や気づいたことをノート等にまとめておくこと。そして、毎回のワークシートを基に授業内容を復習し、ノートに整理しておくこと。（各1時間）</p> <p>部分保育指導案及び研究保育指導案、全日保育指導案を作成し、期日までに提出すること（10時間）</p> <p>また、様々な保育技能を保育現場で活用できるように、教材製作やピアノ等の練習を行うこと。（10時間）</p>	
3	保育実践の要件	<p>予習として、授業計画によるテーマに基づき、事前に指示された課題及び資料を熟読し、疑問点や気づいたことをノート等にまとめておくこと。そして、毎回のワークシートを基に授業内容を復習し、ノートに整理しておくこと。（各1時間）</p> <p>部分保育指導案及び研究保育指導案、全日保育指導案を作成し、期日までに提出すること（10時間）</p> <p>また、様々な保育技能を保育現場で活用できるように、教材製作やピアノ等の練習を行うこと。（10時間）</p>	
4	保育を計画する 部分実習	<p>予習として、授業計画によるテーマに基づき、事前に指示された課題及び資料を熟読し、疑問点や気づいたことをノート等にまとめておくこと。そして、毎回のワークシートを基に授業内容を復習し、ノートに整理しておくこと。（各1時間）</p> <p>部分保育指導案及び研究保育指導案、全日保育指導案を作成し、期日までに提出すること（10時間）</p> <p>また、様々な保育技能を保育現場で活用できるように、教材製作やピアノ等の練習を行うこと。（10時間）</p>	
5	保育の計画と実践、実習日誌の書き方	<p>予習として、授業計画によるテーマに基づき、事前に指示された課題及び資料を熟読し、疑問点や気づいたことをノート等にまとめておくこと。そして、毎回のワークシートを基に授業内容を復習し、ノートに整理しておくこと。（各1時間）</p> <p>部分保育指導案及び研究保育指導案、全日保育指導案を作成し、期日までに提出すること（10時間）</p> <p>また、様々な保育技能を保育現場で活用できるように、教材製作やピアノ等の練習を行うこと。（10時間）</p>	
6	実習日誌の実際	<p>予習として、授業計画によるテーマに基づき、事前に指示された課題及び資料を熟読し、疑問点や気づいたことをノート等にまとめておくこと。そして、毎回のワークシートを基に授業内容を復習し、ノートに整理して</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>おくこと。（各1時間） 部分保育指導案及び研究保育指導案、全日保育指導案を作成し、期日までに提出すること(10時間) また、様々な保育技能を保育現場で活用できるように、教材製作やピアノ等の練習を行うこと。(10時間)</p>	
7	実習直前の準備と心得	<p>予習として、授業計画によるテーマに基づき、事前に指示された課題及び資料を熟読し、疑問点や気づいたことをノート等にまとめておくこと。そして、毎回のワークシートを基に授業内容を復習し、ノートに整理しておくこと。（各1時間） 部分保育指導案及び研究保育指導案、全日保育指導案を作成し、期日までに提出すること(10時間) また、様々な保育技能を保育現場で活用できるように、教材製作やピアノ等の練習を行うこと。(10時間)</p>	
8	部分保育指導案の作成	<p>予習として、授業計画によるテーマに基づき、事前に指示された課題及び資料を熟読し、疑問点や気づいたことをノート等にまとめておくこと。そして、毎回のワークシートを基に授業内容を復習し、ノートに整理しておくこと。（各1時間） 部分保育指導案及び研究保育指導案、全日保育指導案を作成し、期日までに提出すること(10時間) また、様々な保育技能を保育現場で活用できるように、教材製作やピアノ等の練習を行うこと。(10時間)</p>	
9	教育実習 の振り返り	<p>予習として、授業計画によるテーマに基づき、事前に指示された課題及び資料を熟読し、疑問点や気づいたことをノート等にまとめておくこと。そして、毎回のワークシートを基に授業内容を復習し、ノートに整理しておくこと。（各1時間） 部分保育指導案及び研究保育指導案、全日保育指導案を作成し、期日までに提出すること(10時間) また、様々な保育技能を保育現場で活用できるように、教材製作やピアノ等の練習を行うこと。(10時間)</p>	
10	幼児同士のトラブルの対応（事例研究	<p>予習として、授業計画によるテーマに基づき、事前に指示された課題及び資料を熟読し、疑問点や気づいたことをノート等にまとめておくこと。そして、毎回のワークシートを基に授業内容を復習し、ノートに整理しておくこと。（各1時間） 部分保育指導案及び研究保育指導案、全日保育指導案を作成し、期日までに提出すること(10時間) また、様々な保育技能を保育現場で活用できるように、教材製作やピアノ等の練習を行うこと。(10時間)</p>	
11	ロールプレイングを通して自己課題を克服する（日常保育）	<p>予習として、授業計画によるテーマに基づき、事前に指示された課題及び資料を熟読し、疑問点や気づいたことをノート等にまとめておくこと。そして、毎回のワークシートを基に授業内容を復習し、ノートに整理しておくこと。（各1時間） 部分保育指導案及び研究保育指導案、全日保育指導案を作成し、期日までに提出すること(10時間) また、様々な保育技能を保育現場で活用で</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		きるよう、教材製作やピアノ等の練習を行うこと。(10時間)	
12	ロールプレイングを通して自己課題を克服する（社会人のマナー）	予習として、授業計画によるテーマに基づき、事前に指示された課題及び資料を熟読し、疑問点や気づいたことをノート等にまとめておくこと。そして、毎回のワークシートを基に授業内容を復習し、ノートに整理しておくこと。(各1時間) 部分保育指導案及び研究保育指導案、全日保育指導案を作成し、期日までに提出すること(10時間) また、様々な保育技能を保育現場で活用できるよう、教材製作やピアノ等の練習を行うこと。(10時間)	
13	保育学生としての言葉（SST）	予習として、授業計画によるテーマに基づき、事前に指示された課題及び資料を熟読し、疑問点や気づいたことをノート等にまとめておくこと。そして、毎回のワークシートを基に授業内容を復習し、ノートに整理しておくこと。(各1時間) 部分保育指導案及び研究保育指導案、全日保育指導案を作成し、期日までに提出すること(10時間) また、様々な保育技能を保育現場で活用できるよう、教材製作やピアノ等の練習を行うこと。(10時間)	
14	教育実習 に向けて 日誌の作成	予習として、授業計画によるテーマに基づき、事前に指示された課題及び資料を熟読し、疑問点や気づいたことをノート等にまとめておくこと。そして、毎回のワークシートを基に授業内容を復習し、ノートに整理しておくこと。(各1時間) 部分保育指導案及び研究保育指導案、全日保育指導案を作成し、期日までに提出すること(10時間) また、様々な保育技能を保育現場で活用できるよう、教材製作やピアノ等の練習を行うこと。(10時間)	
15	教育実習 に向けて 指導案の作成	予習として、授業計画によるテーマに基づき、事前に指示された課題及び資料を熟読し、疑問点や気づいたことをノート等にまとめておくこと。そして、毎回のワークシートを基に授業内容を復習し、ノートに整理しておくこと。(各1時間) 部分保育指導案及び研究保育指導案、全日保育指導案を作成し、期日までに提出すること(10時間) また、様々な保育技能を保育現場で活用できるよう、教材製作やピアノ等の練習を行うこと。(10時間)	
16	教育実習 に向けて 自己点検	予習として、授業計画によるテーマに基づき、事前に指示された課題及び資料を熟読し、疑問点や気づいたことをノート等にまとめておくこと。そして、毎回のワークシートを基に授業内容を復習し、ノートに整理しておくこと。(各1時間) 部分保育指導案及び研究保育指導案、全日保育指導案を作成し、期日までに提出すること(10時間) また、様々な保育技能を保育現場で活用できるよう、教材製作やピアノ等の練習を行うこと。(10時間)	
17	教育実習 の振り返り	予習として、授業計画によるテーマに基づ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>き、事前に指示された課題及び資料を熟読し、疑問点や気づいたことをノート等にまとめておくこと。そして、毎回のワークシートを基に授業内容を復習し、ノートに整理しておくこと。（各1時間）</p> <p>部分保育指導案及び研究保育指導案、全日保育指導案を作成し、期日までに提出すること(10時間)</p> <p>また、様々な保育技能を保育現場で活用できるように、教材製作やピアノ等の練習を行うこと。(10時間)</p>	
18	教育実習 の振り返り （グループ協議）	<p>予習として、授業計画によるテーマに基づき、事前に指示された課題及び資料を熟読し、疑問点や気づいたことをノート等にまとめておくこと。そして、毎回のワークシートを基に授業内容を復習し、ノートに整理しておくこと。（各1時間）</p> <p>部分保育指導案及び研究保育指導案、全日保育指導案を作成し、期日までに提出すること(10時間)</p> <p>また、様々な保育技能を保育現場で活用できるように、教材製作やピアノ等の練習を行うこと。(10時間)</p>	
19	教育実習報告会に向けて 発表原稿作成	<p>予習として、授業計画によるテーマに基づき、事前に指示された課題及び資料を熟読し、疑問点や気づいたことをノート等にまとめておくこと。そして、毎回のワークシートを基に授業内容を復習し、ノートに整理しておくこと。（各1時間）</p> <p>部分保育指導案及び研究保育指導案、全日保育指導案を作成し、期日までに提出すること(10時間)</p> <p>また、様々な保育技能を保育現場で活用できるように、教材製作やピアノ等の練習を行うこと。(10時間)</p>	
20	教育実習報告会に向けて 発表原稿仕上げ	<p>予習として、授業計画によるテーマに基づき、事前に指示された課題及び資料を熟読し、疑問点や気づいたことをノート等にまとめておくこと。そして、毎回のワークシートを基に授業内容を復習し、ノートに整理しておくこと。（各1時間）</p> <p>部分保育指導案及び研究保育指導案、全日保育指導案を作成し、期日までに提出すること(10時間)</p> <p>また、様々な保育技能を保育現場で活用できるように、教材製作やピアノ等の練習を行うこと。(10時間)</p>	
21	教育実習報告会に向けて 最終確認と協議	<p>予習として、授業計画によるテーマに基づき、事前に指示された課題及び資料を熟読し、疑問点や気づいたことをノート等にまとめておくこと。そして、毎回のワークシートを基に授業内容を復習し、ノートに整理しておくこと。（各1時間）</p> <p>部分保育指導案及び研究保育指導案、全日保育指導案を作成し、期日までに提出すること(10時間)</p> <p>また、様々な保育技能を保育現場で活用できるように、教材製作やピアノ等の練習を行うこと。(10時間)</p>	
22	教育実習報告会	<p>予習として、授業計画によるテーマに基づき、事前に指示された課題及び資料を熟読し、疑問点や気づいたことをノート等にまとめておくこと。そして、毎回のワークシートを基に授業内容を復習し、ノートに整理しておくこと。（各1時間）</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		部分保育指導案及び研究保育指導案、全日保育指導案を作成し、期日までに提出すること(10時間) また、様々な保育技能を保育現場で活用できるように、教材製作やピアノ等の練習を行うこと。(10時間)	
23	まとめと今後の課題	予習として、授業計画によるテーマに基づき、事前に指示された課題及び資料を熟読し、疑問点や気づいたことをノート等にまとめておくこと。そして、毎回のワークシートを基に授業内容を復習し、ノートに整理しておくこと。(各1時間) 部分保育指導案及び研究保育指導案、全日保育指導案を作成し、期日までに提出すること(10時間) また、様々な保育技能を保育現場で活用できるように、教材製作やピアノ等の練習を行うこと。(10時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： JISS6

授業形態： 講義

科目名： 教育実習事前事後指導 【小】

担当教員： 峯 寛文(MINE Hirofumi), 藤本 駿(FUJIMOTO Syun), 佐々木 啓祐(SASAKI Keisuke)

【授業の紹介】

教育実習事前事後指導での学修を通して、教育実習が円滑且つ効果的に行われるよう、実習の前後に講義・演習を行うものです。教育実習の目的・目標・方法等の概要、実習の心得等について理解を深め、課題をもって実習に取り組めるようにするとともに、教育活動に必要な知識・技能の修得をめざします。2年次に履修した「学校支援ボランティア」の体験を生かし、質の高い実践力、豊かな人間性や主体的に生きる力を身に付けることができますようにします。

この授業ではGoogle classroom(クラスコード：dp6cgjz)を使用し、必要に応じてICTを活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	使命感・倫理観	2
		向上心	1
		専門的知識と実践力	6
		自己研修力	1

【到達目標】

1. 小学校教諭の業務や職業倫理について理解し、教師としての使命感や倫理観を培うことができる。
2. 学校教育活動に必要な知識や判断力を修得することができる。
3. 学習指導計画の作成・実践・記録・評価等を体験する中で、教師として必要な技能、実践力を修得することができる。
4. 自己評価及び自己課題の明確化を通して豊かな人間性を育むことができる。

【成績の評価】

授業への参加態度(40%)、教材研究のあり方(30%)、実習のまとめ(30%)等から評価します。報告会において、各自の成果と課題について、説明、講評する。

【使用テキスト】

小学校教育実習の手引き(2021年 高松大学)。

【参考文献】

なし。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は実務経験のある教員が担当する授業科目で、学校現場での経験を活かし具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	教育実習の意義と目的	授業で配布された「実習生個人票」「誓約書」「出勤簿」等の清書や下書きを行う。(1時間)	
2	教育実習の概要・心得・態度等	実習生個人票に記載する自らの学習課題の下書きについて推敲し清書する。(1時間)	
3	教育実習の内容と方法、実習日誌の書き方	授業での学びをワークシートにまとめて提出する。(1時間)	
4	学習指導案の書き方と教材準備の仕方	授業での学びをワークシートにまとめて提出する。(1時間)	
5	各種トラブル等の具体的解決策	授業での学びをワークシートにまとめて提出する。(1時間)	
6	実習直前の準備と心得	授業での学びをワークシートにまとめて提出する。(1時間)	
7	指導案作り(略案：本時の学習指導)	研究授業の教科を決めて、指導略案を作成する。(1時間)	
8	指導案作り(細案：単元の目標、単元について)	研究授業の教科を決めて、指導細案(単元の目標、単元について)を作成する。(1.5時間)	
9	指導案作り(細案：評価規準、単元計画、本時の学習指導)	研究授業の教科を決めて、指導細案(評価規準、単元計画、本時の学習指導)を作成する。(1.5時間)	
10	電子黒板、タブレットの活用について	授業での学びをワークシートにまとめて提出する。(1時間)	
11	特別の教科道徳について(学習指導要領から)	授業での学びをワークシートにまとめて提出する。(1時間)	
12	道徳科の授業づくり(ロールプレイの実際)	授業での学びをワークシートにまとめて提出する。(1時間)	
13	教育実習の成果・課題等についての振り返り	学校長、指導教員、子どもたちへの礼状を書く。(1.5時間)	
14	教育実習報告会に向けて(報告資料の作成)	報告資料原稿を完成させる。(1.5時間)	
15	教育実習報告会に向けて(役割分担、印刷、製本等)	報告会でのプレゼン資料及び質疑応答を見据えたQ & Aを作成する。(1.5時間)	
16	教育実習報告会(前半発表者)	報告会会場の設営と片付け(30分)	
17	教育実習報告会(後半発表者)	報告会会場の設営と片付け(30分)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： JISS7
授業形態： 実習
科目名： 教育実習 【幼】
担当教員： 山田 純子(YAMADA Junko)

【授業の紹介】

教育実習 は、観察・参加・実習という方法で教育実践に関わることを通して、教育者としての愛情と使命感を深め、将来教員になるうえでの能力や適性を考えるとともに課題を自覚する機会です。一定の実践的指導力を有する指導教員のもとで体験を積み、幼児教育の実際を体験的・総合的に理解し、教育実践ならびに教育実践研究の基礎的な能力と態度を身に付けることをめざします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	3. 子どもの育ちを支えるために必要な教育・保育の実践力を有する。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	使命感・倫理観	2
		向上心	2
		専門的知識と実践力	3
		自己研修力	3

【到達目標】

(1) 幼児や保育環境等に対して適切な観察を行うとともに、幼稚園実務に対する補助的な役割を担うことを通して、教育実習園の幼児の実態と、これを踏まえた園経営及び保育活動の特色を理解することができる。

幼児との関わりを通して、その実態や課題を把握することができる。

指導教員等の実施する保育を視点を持って観察し、事実即して記録することができる。

教育実習園の園経営方針及び特色ある教育活動並びにそれらを実施するための組織体制について理解できる。

学級担任の補助的な役割を担うことができる。

(2) 大学で学んだ領域や教職に関する専門的な知識・理論・技術等を保育実践に活かすことができる。

幼稚園教育要領及び幼児の実態等を踏まえた適切な指導案を作成し、保育を実践することができる。

保育に必要な基礎的技術（話法・保育形態・保育展開・環境構成など）を実地に即して身に付けるとともに、幼児の体験との関連を考慮しながら適切な場面で情報機器を活用することができる。

学級担任の役割と職務内容を实地に即して理解できる。

様々な活動の場面で適切に幼児と関わるることができる。

【成績の評価】

実習園の評価（60%）、実習日誌・提出物（20%）、実習状況（20%）

なお、教育実習 は、教育実習事前事後指導と連動している科目のため、単独で単位認定されることはありません。日誌は、配属のクラス担任の先生の指導を受け、返却されます。

【使用テキスト】

幼稚園教育要領解説(平成30年 文部科学省)

【参考文献】

適宜、紹介します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。幼稚園の現場での保育・教育の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	<p>第1週</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 実習園の概要を知る 2 実習園の1日の流れを把握する 3 幼児の遊びの状況を理解し、参加する 4 発達特性により、遊び、生活、課題への取組みの違いを知る 5 幼児の行動観察、記録とその活用について学ぶ 6 実習記録の取り方、反省、評価について学ぶ 7 安全に対する配慮、清掃、環境整備の仕方を知る <p>第2週</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 年間指導計画の中での現在の保育を理解する 2 配属クラスの個々の子どもの特徴を知る 3 いろいろな子どもとの関係を深める 4 保育における指導と援助のあり方を探る 5 部分実習をする 6 保育実践の反省、評価を受ける 7 園行事に参加し、行事のあり方について考える <p>上記内容と順序は、実習園の都合、指導方針により変更することがあります。</p>	<p>事前：部分保育・研究保育指導案を作成しておくこと。また、様々な保育技能を保育現場で活用できるよう、教材製作やピアノ等の練習を行うこと。（15時間）</p> <p>事後：毎日、実習日誌を記録し一日を振り返る。そこから自己の課題を見出し日誌等に記載すること。</p> <p>また、実習園の教員からご指導いただいたことを記録しておくこと。（15時間）</p>	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： JISS8
授業形態： 実習
科目名： 教育実習 【幼】
担当教員： 山田 純子(YAMADA Junko)

【授業の紹介】

教育実習 は、教育実習 の学習を踏まえたうえで、幼児教育の特質を知り、幼稚園保育の実際を理解し、実践力を培うことをねらいとします。実習園では、指導教員の指導を受けながら、観察・部分保育・全日保育・研究保育などの実習を行います。実習とはいえ一定期間、教師としての職責を果たすことになるので、実習生の主体的、意欲的な学習への取組が不可欠となります。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	3. 子どもの育ちを支えるために必要な教育・保育の実践力を有する。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	発達科学部	使命感・倫理観	2
		向上心	2
		専門的知識と実践力	3
		自己研修力	3

【到達目標】

- (1) 幼児や保育環境等に対して適切な観察を行うとともに、幼稚園実務に対する補助的な役割を担うことを通して、教育実習園の幼児の実態と、これを踏まえた園経営及び保育活動の特色を理解することができる。
幼児との関わりを通して、その実態や課題を把握することができる。
指導教員等の実施する保育を視点を持って観察し、事実即して記録することができる。
教育実習園の園経営方針及び特色ある教育活動並びにそれらを実施するための組織体制について理解できる。
学級担任の補助的な役割を担うことができる。
- (2) 大学で学んだ領域や教職に関する専門的な知識・理論・技術等を保育実践に活かすことができる。
幼稚園教育要領及び幼児の実態等を踏まえた適切な指導案を作成し、保育を実践することができる。
保育に必要な基礎的技術（話法・保育形態・保育展開・環境構成など）を実地に即して身に付けるとともに、幼児の体験との関連を考慮しながら適切な場面で情報機器を活用することができる。
学級担任の役割と職務内容を实地に即して理解できる。
様々な活動の場面で適切に幼児と関わるることができる。

【成績の評価】

実習園の評価（60%）、実習日誌・提出物（20%）、実習状況（20%）
なお、教育実習 は、教育実習事前事後指導と連動している科目のため、単独で単位認定されることはありません。
日誌は、配属のクラス担任の先生の指導を受け、返却されます。

【使用テキスト】

幼稚園教育要領解説(平成30年 文部科学省)

【参考文献】

適宜、紹介します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員が担当する授業科目です。幼稚園の現場での保育・教育の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	<p>第1週</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 子どもの成長発達を理解する 2 集団生活における子どもの学びを知る 3 学級経営について学ぶ（グループ編成、当番活動を含む） 4 特別な配慮を必要とする子どもへのかかわり方を知る 5 季節の行事に関するの保育を知る 6 研究保育をする（保育計画を立案し、実践する） 7 保育実践の反省、評価を受け、その問題点を整理する 8 幼稚園と家庭との連携についてその意義と方法を知る <p>第2週</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保育室の環境整備・経営について知り、実践する 2 幼稚園教諭についての職務内容を理解する 3 地域との協力関係、幼稚園の社会的意義を理解する 4 幼稚園の特色ある保育についての理解を深める 5 子育て支援についての現状を知る（預かり、延長、未就園児保育等） 6 全日保育の計画、実践を行う 7 総合的に子ども・保護者・幼稚園を理解する 8 実習反省会・お別れ会 9 これからの課題についてまとめ、指導助言を受ける <p>上記内容と順序は、実習園の都合、指導方針により変更することがある。</p>	<p>事前：必ず全日及び研究保育指導案を作成しておくこと。また、様々な保育技能を保育現場で活用できるよう、教材製作やピアノ等の練習を行うこと。（15時間）</p> <p>事後：毎日、実習日誌を記録し、一日を振り返る。そこから自己の課題を見出し日誌等に記載すること。</p> <p>実習園の教員からご指導いただいたことを具体的に記録しておくこと。（15時間）</p>	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： JISS9
授業形態： 実習
科目名： 教育実習 【幼】
担当教員： 山田 純子(YAMADA Junko)

【授業の紹介】

教育実習は、教育実習の実習経験を生かして、さらに子どもの特性や発達への理解を深め、教職の専門性の理論を学ぶとともに実践力を身に付けていくことをねらいとしています。

実習園では、指導教員の指導を受けながら、指導技術の向上を図るとともに、広い視野に立った幼稚園教育のあり方について学習し、将来、幼稚園の教員としての使命を認識し、保育の楽しさと責務を体感することをめざします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	3. 子どもの育ちを支えるために必要な教育・保育の実践力を有する。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	使命感・倫理観	2
		向上心	2
		専門的知識と実践力	3
		自己研修力	3

【到達目標】

(1)事前指導では教育実習生として幼稚園の教育活動に参画する意識を高め、事後指導では教育実習を経て得られた成果と課題等を省察するとともに、教員免許取得までに習得すべき知識や技能等について理解する。これらを通して教育実習の意義を理解する。

教育実習生として遵守すべき義務等について理解するとともに、その責任を自覚したうえで意欲的に教育実習に参加することができる。

教育実習を通して得られた知識と経験を振り返り、教員免許取得までにさらに習得することが必要な知識や技能等を理解できる。

(2)幼児や保育環境等に対して適切な観察を行うとともに、幼稚園実務に対する補助的な役割を担うことを通して、教育実習園の幼児の実態と、これを踏まえた園経営及び保育活動の特色を理解する。

幼児との関わりを通して、その実態や課題を把握することができる。

指導教員等の実施する保育を視点を持って観察し、事実即して記録することができる。

教育実習園の園経営方針及び特色ある教育活動並びにそれらを実施するための組織体制について理解できる。

学級担任の補助的な役割を担うことができる。

(3)大学で学んだ領域や教職に関する専門的な知識・理論・技術等を保育実践に活かすことができる。

幼稚園教育要領及び幼児の実態等を踏まえた適切な指導案を作成し、保育を実践することができる。

保育に必要な基礎的技術（話法・保育形態・保育展開・環境構成など）を実地に即して身に付けるとともに、幼児の体験との関連を考慮しながら適切な場面で情報機器を活用することができる。

学級担任の役割と職務内容を实地に即して理解できる。

様々な活動の場面で適切に幼児と関わるすることができる。

【成績の評価】

実習園の評価（60%）、実習日誌・提出物（20%）、実習状況（20%）により評価をします。

日誌は、配属のクラス担任の先生の指導を受け、返却されます。

【使用テキスト】

幼稚園教育要領解説(平成30年 文部科学省)

【参考文献】

適宜、紹介します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。幼稚園の現場での保育・教育の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	<p>事前事後指導</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 実習・の課題の抽出と目標の設定 2 保育の記録 3 指導計画の作成 4 保育の展開と教師の援助 5 指導計画の評価・改善 <p>6 実習後の振り返りと自己課題の明確化</p> <p>第1週</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 幼稚園の教育方針や特色ある保育について理解する 2 幼稚園教諭の職務内容について理解する 3 教育課程と指導計画について理解する 4 全日保育の計画を立案し、実践する 5 研究保育の計画を立案し、実践する 6 学級経営について理解する 7 保育実践の反省、評価を受け、その問題点を整理する 8 その他教員として必要な事項について理解する <p>第2週</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保育室の環境整備について理解する 2 全日保育、研究保育の計画を立案し、実践する 3 地域との連携、幼稚園の社会的意義を理解する 4 小学校との連携について理解する 5 子育て支援についての現状を知る（預かり、延長、未就園児保育等） 6 人権・同和教育、特別支援教育について理解する 7 総合的に子ども・保護者・幼稚園を理解する 8 実習反省会・お別れ会 9 これからの課題についてまとめ、指導助言を受ける <p>上記内容と順序は、実習園の都合、指導方</p>	<p>実習園の評価（60％）、実習日誌・提出物（20％）、実習状況（20％）により評価をします。 日誌は、配属のクラス担任の先生の指導を受け、返却されます。</p>	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： JISS10

授業形態： 実習

科目名： 教育実習 【小】

担当教員： 峯 寛文(MINE Hirofumi),佐々木 啓祐(SASAKI Keisuke)

【授業の紹介】

教育実習生として、教科等の指導をはじめ、生徒指導、教育相談、学校事務などの実践を通して、学級経営、学校経営及び教育活動の特色や小学校教育全般についての理解を深めていきます。また、カリキュラム・ポリシーに掲げる「教育者に求められる使命感・倫理観の涵養」等をめざすとともに、大学で学ぶ教育理論と教育実践を関連づけて理解することをめざします。さらに、教育実習を通して、改めて教師としての自らの適性や進路を見つめ直す機会とします。

この授業ではGoogle classroom(クラスコード：dp6cgjz)を使用し、必要に応じてICTを活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	3.子どもの育ちを支えるために必要な教育・保育の実践力を有する。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	使命感・倫理観	2
		向上心	1
		専門的知識と実践力	6
		自己研修力	1

【到達目標】

1. 経験豊かな担当教員の指導を受けながら、学校教育の実際を体験的、総合的に理解して、教育実践並びに教育実践研究の基礎的な能力と態度を身に付けることができる。
2. 学校現場での教育実践に関わることを通して、教育者としての愛情と使命感を高めるとともに、その資質・能力や適性を身に付けることができる。

【成績の評価】

教育実習校からの評価(40%)、担当教員による研究授業評価(30%)、実習日誌や提出物(30%)等により評価。教育実習事前事後指導の報告会において、各自の成果、課題を明らかにして、参加者の講評をもってフィードバックを行う。

【使用テキスト】

＼小学校教育実習の手引き(2021年 高松大学)

【参考文献】

小学校学習指導要領 全解説編(平成29年3月告示 文部科学省)

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は実務経験のある教員が担当する授業科目で、学校現場での経験を活かし巡回指導等を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	この授業計画に示す回数（日数）と内容を各学校の計画に従って実施する。 学校の教育方針や特色ある教育（校長）、配属学級での活動	その日の実習内容を実習日誌に記録することによって、一日の反省と明日への準備の機会とする。 気付いた課題については、その具体的対策を検討、実践に生かす。（30～60分程度）	
2	指導講話 実習全般（教頭）、授業参観と授業記録の取り方	その日の実習内容を実習日誌に記録することによって、一日の反省と明日への準備の機会とする。 気付いた課題については、その具体的対策を検討、実践に生かす。（30～60分程度）	
3	学級の実態と学級経営	その日の実習内容を実習日誌に記録することによって、一日の反省と明日への準備の機会とする。 気付いた課題については、その具体的対策を検討、実践に生かす。（30～60分程度）	
4	指導講話 学習指導（現職教育主任）、授業参観（学習過程、板書、発問等）	その日の実習内容を実習日誌に記録することによって、一日の反省と明日への準備の機会とする。 気付いた課題については、その具体的対策を検討、実践に生かす。（30～60分程度）	
5	指導講話 生徒指導（生徒指導主事）、授業参観（児童の反応、つぶやき等）	その日の実習内容を実習日誌に記録することによって、一日の反省と明日への準備の機会とする。 気付いた課題については、その具体的対策を検討、実践に生かす。（30～60分程度）	
6	指導講話 保健指導（養護教諭、保健主事）、師範授業の参観と研究	その日の実習内容を実習日誌に記録することによって、一日の反省と明日への準備の機会とする。 気付いた課題については、その具体的対策を検討、実践に生かす。（30～60分程度）	
7	学習指導案の立案、考え方、学級事務についての考え方と実習	その日の実習内容を実習日誌に記録することによって、一日の反省と明日への準備の機会とする。 気付いた課題については、その具体的対策を検討、実践に生かす。（30～60分程度）	
8	指導講話 褒め方、叱り方（主幹教諭等）、朝の会、帰りの会の運営	その日の実習内容を実習日誌に記録することによって、一日の反省と明日への準備の機会とする。 気付いた課題については、その具体的対策を検討、実践に生かす。（30～60分程度）	
9	児童の人間関係の把握、給食・清掃指導、授業研究（各教科等）	その日の実習内容を実習日誌に記録することによって、一日の反省と明日への準備の機会とする。 気付いた課題については、その具体的対策を検討、実践に生かす。（30～60分程度）	
10	教室環境の整備、学級事務の処理、授業研究（道徳、特別活動）	その日の実習内容を実習日誌に記録することによって、一日の反省と明日への準備の機会とする。 気付いた課題については、その具体的対策を検討、実践に生かす。（30～60分程度）	
11	日常活動、特別活動への参加、指導、授業研究（総合的な学習の時間、外国語活動）	その日の実習内容を実習日誌に記録することによって、一日の反省と明日への準備の機会とする。 気付いた課題については、その具体的対策を検討、実践に生かす。（30～60分程度）	
12	授業研究（選択した教科の学習指導案の作	その日の実習内容を実習日誌に記録すること	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	成)	によって、一日の反省と明日への準備の機会とする。 気付いた課題については、その具体的対策を検討、実践に生かす。(30～60分程度)	
13	授業研究（選択した教科外の学習指導案の作成）	その日の実習内容を実習日誌に記録することによって、一日の反省と明日への準備の機会とする。 気付いた課題については、その具体的対策を検討、実践に生かす。(30～60分程度)	
14	問題のある児童の実態把握の仕方	その日の実習内容を実習日誌に記録することによって、一日の反省と明日への準備の機会とする。 気付いた課題については、その具体的対策を検討、実践に生かす。(30～60分程度)	
15	授業研究 で作成した学習指導案に基づく模擬授業の反省と指導案の修正	その日の実習内容を実習日誌に記録することによって、一日の反省と明日への準備の機会とする。 気付いた課題については、その具体的対策を検討、実践に生かす。(30～60分程度)	
16	授業研究 で作成した学習指導案に基づく模擬授業の反省と指導案の修正	その日の実習内容を実習日誌に記録することによって、一日の反省と明日への準備の機会とする。 気付いた課題については、その具体的対策を検討、実践に生かす。(30～60分程度)	
17	研究授業 選択した教科の授業実践と指導、評価	その日の実習内容を実習日誌に記録することによって、一日の反省と明日への準備の機会とする。 気付いた課題については、その具体的対策を検討、実践に生かす。(30～60分程度)	
18	研究授業 選択した教科外の授業実践と指導、評価	その日の実習内容を実習日誌に記録することによって、一日の反省と明日への準備の機会とする。 気付いた課題については、その具体的対策を検討、実践に生かす。(30～60分程度)	
19	教育実習のまとめと反省、関係者懇談、指導	その日の実習内容を実習日誌に記録することによって、一日の反省と明日への準備の機会とする。 気付いた課題については、その具体的対策を検討、実践に生かす。(30～60分程度)	
20	学級での諸活動、実習記録の整理	その日の実習内容を実習日誌に記録することによって、一日の反省と明日への準備の機会とする。 気付いた課題については、その具体的対策を検討、実践に生かす。(30～60分程度)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： KYOU18

授業形態： 演習

科目名： 教職実践演習（小）

担当教員： 峯 寛文(MINE Hirofumi), 秋山 達也(AKIYAMA Tatsuya), 山口 明乙香(YAMAGUCHI Asuka), 堺 るり子(SAKAI Ruriko), 藤本 駿(FUJIMOTO Syun), 佐々木 啓祐(SASAKI Keisuke), 糸目 真也(ITOME Shinya)

【授業の紹介】

本授業は教職課程やそれ以外の授業科目、あるいはその他の種々の学修活動を通して身に付けた資質・能力が、教員として最小限必要なものとして形成され、有機的に統合されたかについて、個々の授業計画の中で確認するものです。1年次から記録してきた教職ポートフォリオの活用による振り返り、討議、現地調査、事例研究、ロールプレイング、演習などを通して「理論」と「実践力」の定着を図ります。この授業ではGoogle classroom(クラスコード：5nkvta)を使用し、必要に応じてICTを活用した双方向型授業を実施します。

なお、後期開講ですが、一部を前期に実施することがあります。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	1. 教育・保育に携わる者に求められる高い使命感・倫理観や豊かな心を持っている。
		2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。
		3. 子どもの育ちを支えるために必要な教育・保育の実践力を有する。
		4. 子どもとはもちろんのこと、保護者や子育てに関わる人々と十分なコミュニケーションをとることができ、また、多様な専門性を持つ人材と協力・協働できる。
		5. 子どもの教育・保育にかかる諸問題を自ら発見し、その問題を解決することができる。
		6. 教育・保育に関する多様な情報を収集・分析して、論理的な思考力と創造力を用いて適切に判断できる。
		7. 教育・保育に係る資質向上に向けて継続的に学ぶ能力を持っている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	使命感・倫理観	2
		向上心	1
		コミュニケーション能力	1
		思考力・判断力・表現力	1
		多様な人材との協力・協働	1
		専門的知識と実践力	3
		自己研修力	1

【到達目標】

1. 小学校の教員としての使命感や責任感、教育的愛情等を身に付けることができる。
2. 小学校の教員としての社会性や対人関係能力を身に付けることができる。
3. 児童についての理解や学級経営等に関する知識を身に付けることができる。
4. 小学校の教育課程や指導についての知識や技能、指導力等を高めることができる。

【成績の評価】

討議や発表における参加度(50%)や毎回のまとめ(30%)、ワークシート(20%)によって評価。まとめやワークシートは、その都度添削して授業時間に返却する。

【使用テキスト】

小学校学習指導要領解説 総則編（平成29年3月告示 文部科学省）

【参考文献】

適宜紹介、資料として配付する。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員も担当する授業科目で、小学校、特別支援学校等の現場での経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	1～15回の各回とも2コマ実施する。 社会性や対人関係能力に関する事項(1) 教員に求められるマナーや社会性 模擬面接	復習として、ワークシート、授業後の感想、 疑問、意見等をまとめて、次回に提出する。 (60分)	
2	教育内容の指導力に関する事項(1) (高松第一学園訪問) ・ 小中一貫教育の取り組みに学ぶ	復習として、ワークシート、授業後の感想、 疑問、意見等をまとめて、次回に提出する。 (60分)	
3	教育内容の指導力に関する事項(2) 本演習の目的と進め方 幼小接続 講話	復習として、ワークシート、授業後の感想、 疑問、意見等をまとめて、次回に提出する。 (60分)	
4	使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項 (1) 講話 現職若年教員と学校現場の課題に ついて討議	復習として、ワークシート、授業後の感想、 疑問、意見等をまとめて、次回に提出する。 (60分)	
5	使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項 (2) 教育内容の指導力に関する事項(3) 講話 作品鑑賞等	復習として、ワークシート、授業後の感想、 疑問、意見等をまとめて、次回に提出する。 (60分)	
6	使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項 (3) 教育行政関係職員との討議 教育改革の動向	復習として、ワークシート、授業後の感想、 疑問、意見等をまとめて、次回に提出する。 (60分)	
7	社会性や対人関係能力に関する事項(2) (高松市適応指導教室訪問) ・ 不登校対策	復習として、ワークシート、授業後の感想、 疑問、意見等をまとめて、次回に提出する。 (60分)	
8	社会性や対人関係能力に関する事項(3) ストレスとの付き合い方(講話) ストレスとの付き合い方(演習)	復習として、ワークシート、授業後の感想、 疑問、意見等をまとめて、次回に提出する。 (60分)	
9	児童理解や学級経営等に関する事項(1) 特別な支援を必要とする児童の理 解(講話) 特別な支援を必要とする児童の理 解(演習)	復習として、ワークシート、授業後の感想、 疑問、意見等をまとめて、次回に提出する。 (60分)	
10	児童理解や学級経営等に関する事項(2) (小学校訪問) 授業参観及び討議 学校、学級経営の理解(講話)	復習として、ワークシート、授業後の感想、 疑問、意見等をまとめて、次回に提出する。 (60分)	
11	教育内容の指導力に関する事項(4) 小学校管理職との討議 小学校理科 講話	復習として、ワークシート、授業後の感想、 疑問、意見等をまとめて、次回に提出する。 (60分)	
12	教育内容の指導力に関する事項(5) 新しい教育方法 模擬授業	復習として、ワークシート、授業後の感想、 疑問、意見等をまとめて、次回に提出する。 (60分)	
13	児童理解や学級経営等に関する事項(3) 学級経営計画について(講話) 学級経営計画の作成、発表、討議	復習として、ワークシート、授業後の感想、 疑問、意見等をまとめて、次回に提出する。 (60分)	
14	教育内容の指導力に関する事項(6) (高松市総合教育センター訪問)	復習として、ワークシート、授業後の感想、 疑問、意見等をまとめて、次回に提出する。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
	・ 電子黒板・タブレットの活用	(60分)	
15	教員に求められる資質・能力のまとめ 求められる教師像 総括	復習として、ワークシート、授業後の感想、 疑問、意見等をまとめて、次回に提出する。 (60分)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： JISS20
授業形態： 実習
科目名： 介護体験
担当教員： 山口 明乙香(YAMAGUCHI Asuka)

【授業の紹介】

介護体験は、介護等体験特例法によって教員免許状取得にあたり義務付けられたものです。高齢者の方や障害のある方などの社会福祉施設等で介護等の体験をすることが求められます。介護等体験は、特別支援学校で2日間、社会福祉施設で5日間の合計7日間行います。本科目では、介護等体験実習及び実習の事前学習、事後学習を行います。事前学習では、介護等体験の心得、特別支援学校や社会福祉施設の概要の理解、実習中の利用者の方と接し方についても学習します。介護等体験実習後は実習記録を整理し、レポートにまとめて報告します。この科目は、小学校教員免許状取得希望者のみ受講できます。また受講には、実習費など約1万円が必要になります。介護体験を通じて、教育者に求められる様々な人々とコミュニケーションを図るための態度や姿勢を身に付け、人間性の向上を目指し自律的に学ぶ意欲を育みます。本授業では、ICTを活用して、フィールドワーク、グループワークの結果をプレゼンテーションし、ディスカッションを行います。ICT端末を携帯して授業へ参加してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	1. 教育・保育に携わる者に求められる高い使命感・倫理観や豊かな心を持っている。
		2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	発達科学部	使命感・倫理観	3
		向上心	2
		コミュニケーション能力	2
		専門的知識と実践力	3

【到達目標】

特別なニーズのある子どもや利用者の方と交流を持ち、介護等を体験することにより、

1. 特別支援学校や社会福祉施設の役割を学び、人との関わり、援助する上で大切にすべき姿勢や視点を体験的に獲得することを目指す。
2. 教育を担うものに求められる受容的な態度及び豊かな人間性を高めることができる
3. 教育現場で求められる共生社会をめざす姿勢や視点を獲得できる

【成績の評価】

事前・事後学習の受講態度（35%）、課題の提出状況（50%）、報告会での発表（15%）などを総合して成績を評価します。
課題や学習の進捗状況に関する評価はその都度授業時に講評します。
また、必要に応じてオフィスアワーにおいて個別的にフィードバックします。

【使用テキスト】

高松大学発達科学部『介護体験の手引き』

【参考文献】

必要に応じて、講義内で紹介します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	介護等体験に関するガイダンス	予習として、シラバスを確認し、Googleクラスルームに提示された該当する資料を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された資料を再度読み直し、指定した課題を作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	"介護体験は、後期に社会福祉施設、特別支援学校へ行きませんが、前期から事前指導が行われます。6月頃から開始しますので、掲示板を確認し、事前指導には必ず出席するようにしてください。事前指導へ出席できない学生は、実習を行うことができませんので注意してください。詳細については、履修ガイドを確認してください。"
2	介護等体験の心得について学ぶ	予習として、シラバスを確認し、Googleクラスルームに提示された該当する資料を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された資料を再度読み直し、指定した課題を作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
3	事務手続きと申請書類の作成 申請手順の説明と作成	予習として、シラバスを確認し、Googleクラスルームに提示された該当する資料を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された資料を再度読み直し、指定した課題を作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
4	事務手続きと申請書類の作成 申請事項の確認と調整	予習として、シラバスを確認し、Googleクラスルームに提示された該当する資料を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された資料を再度読み直し、指定した課題を作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
5	特別支援学校の概要の理解や通っている児童・生徒との接し方について学ぶ	予習として、シラバスを確認し、Googleクラスルームに提示された該当する資料を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された資料を再度読み直し、指定した課題を作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
6	社会福祉施設の概要と利用者との接し方について学ぶ	予習として、シラバスを確認し、Googleクラスルームに提示された該当する資料を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された資料を再度読み直し、指定した課題を作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
7	介護体験実習 <特別支援学校又は社会福祉施設>	予習として、実習先の資料を確認し、実習の注意事項確認しておくこと(0.5時間)。復習として日誌の作成及び実習報告をクラスルーム経由で入力し、日誌を実習先担当者へ提出してください(0.5時間)。	学外実習です。

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
8	介護体験実習 < 特別支援学校又は社会福祉施設 >	予習として、実習先の資料を確認し、実習の注意事項確認しておくこと(0.5時間)。復習として日誌の作成及び実習報告をクラスルーム経由で入力し、日誌を実習先担当者へ提出してください(0.5時間)。	学外実習です。
9	介護体験実習 < 特別支援学校又は社会福祉施設 >	予習として、実習先の資料を確認し、実習の注意事項確認しておくこと(0.5時間)。復習として日誌の作成及び実習報告をクラスルーム経由で入力し、日誌を実習先担当者へ提出してください(0.5時間)。	学外実習です。
10	介護体験実習 < 特別支援学校又は社会福祉施設 >	予習として、実習先の資料を確認し、実習の注意事項確認しておくこと(0.5時間)。復習として日誌の作成及び実習報告をクラスルーム経由で入力し、日誌を実習先担当者へ提出してください(0.5時間)。	学外実習です。
11	介護体験実習 < 特別支援学校又は社会福祉施設 >	予習として、実習先の資料を確認し、実習の注意事項確認しておくこと(0.5時間)。復習として日誌の作成及び実習報告をクラスルーム経由で入力し、日誌を実習先担当者へ提出してください(0.5時間)。	学外実習です。
12	介護体験実習 < 特別支援学校又は社会福祉施設 >	予習として、実習先の資料を確認し、実習の注意事項確認しておくこと(0.5時間)。復習として日誌の作成及び実習報告をクラスルーム経由で入力し、日誌を実習先担当者へ提出してください(0.5時間)。	学外実習です。
13	介護体験実習 < 特別支援学校又は社会福祉施設 >	予習として、実習先の資料を確認し、実習の注意事項確認しておくこと(0.5時間)。復習として日誌の作成及び実習報告をクラスルーム経由で入力し、日誌を実習先担当者へ提出してください(0.5時間)。	学外実習です。
14	体験レポートの作成と報告書作成	予習として、シラバスを確認し、Googleクラスルームに提示された該当する資料を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された資料を再度読み直し、指定した課題を作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
15	介護体験のまとめ	予習として、シラバスを確認し、Googleクラスルームに提示された該当する資料を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された資料を再度読み直し、指定した課題を作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： JISS3

授業形態： 実習

科目名： 学校支援ボランティア

担当教員： 峯 寛文(MINE Hirofumi), 織田 幸美(ODA Yukimi)

【授業の紹介】

3年生で教育実習を実施する前段階として、学校現場で教育活動への理解を深め、児童への接し方、指導・支援のあり方を体験し、学ぶことを目的としています。

香川県内の要請のあった小学校等に出向き、児童と共に活動したり、教師の仕事を手伝ったりして、学校教育活動の補助を行います。そうした中で、得られる様々な実感や体感を通して、本学部カリキュラム・ポリシーに掲げる「教育者・保育者に求められる使命感・倫理観の涵養」等をめざすものです。

この授業ではGoogle classroom(クラスコード：sc2fzna)を使用し、必要に応じてICTを活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	1. 教育・保育に携わる者に求められる高い使命感・倫理観や豊かな心を持っている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	使命感・倫理観	4
		専門的知識と実践力	6

【到達目標】

1. 学校現場での実践を通して、使命感や倫理観に基づく判断・行動等、教員に求められる資質や能力を身に付けることができる。
2. 子どもの特性や発達への理解を深め、教育活動に必要な知識技能を習得できる。

【成績の評価】

活動開始前のオリエンテーションや反省会での参加態度と成果及び指導・支援記録(40%)、ボランティアへの参加状況及び参加態度等(60%)で評価する。学校支援ボランティア参加報告会において、各自の成果、課題を明らかにして、参加者の講評をもってフィードバックを行う。

【使用テキスト】

学校支援ボランティアQ&A (平成29年 高松大学)

【参考文献】

随時紹介、資料として配布する。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は実務経験のある教員による授業科目です。担当教員が小学校で勤務した経験を活かし、授業や巡回指導等において指導・助言を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（年間を通した授業計画等）	テキスト「学校支援ボランティアQ & A」を読み疑問点等についてメモする。(30分)	
2	オリエンテーション（学校支援ボランティアファイルの作成等）	テキスト「学校支援ボランティアQ & A」を読み疑問点等についてメモする。(30分)	
3	学校支援ボランティアの意義と目的	学校支援ボランティアを行う予定の小学校について、HP等で事前の情報収集を行いレジュメを作成する。(30分)	
4	学校支援ボランティアの形態・内容・方法	学校支援ボランティアを行う予定の小学校について、HP等で事前の情報収集を行いレジュメを作成する。(30分)	
5	学生ボランティアについての説明会(香川県教育委員会)	説明会において教育委員会から配布された資料等に再度目を通し、内容や留意点等について理解する。登録に必要な書類を作成し提出する。(30分)	
6	作成しているレジュメをもとに、学校支援ボランティア実施予定校の概要等について発表する。	説明会において教育委員会から配布された資料等に再度目を通し、内容や留意点等について理解する。登録に必要な書類を作成し提出する。(30分)	
7	支援者としての心得	学校支援ボランティアを行う小学校に電話連絡をし、事前打ち合わせを行う日時の日程調整を行った後に小学校に出向き、事前打ち合わせをする。(30分)	
8	支援者としての留意点	学校支援ボランティアを行う小学校に電話連絡をし、事前打ち合わせを行う日時の日程調整を行った後に小学校に出向き、事前打ち合わせをする。(30分)	
9	指導・支援記録について	支援者の心得や指導記録をとる際の留意点をレジュメにまとめ提出する。(30分)	
10	指導・支援記録のとり方の実際	支援者の心得や指導記録をとる際の留意点をレジュメにまとめ提出する。(30分)	
11	学校の要請に応じたボランティア活動 ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点	指導・支援結果について、提示された視点から記録用紙に記録し考察を行う。その際、活動の羅列だけではなく、課題を見つけ、次週での具体的対応策を考える。(30分)	
12	学校の要請に応じたボランティア活動 ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点	指導・支援結果について、提示された視点から記録用紙に記録し考察を行う。その際、活動の羅列だけではなく、課題を見つけ、次週での具体的対応策を考える。(30分)	
13	学校の要請に応じたボランティア活動 ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点	指導・支援結果について、提示された視点から記録用紙に記録し考察を行う。その際、活動の羅列だけではなく、課題を見つけ、次週での具体的対応策を考える。(30分)	
14	学校の要請に応じたボランティア活動 ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点	指導・支援結果について、提示された視点から記録用紙に記録し考察を行う。その際、活動の羅列だけではなく、課題を見つけ、次週での具体的対応策を考える。(30分)	
15	学校の要請に応じたボランティア活動	指導・支援結果について、提示された視点か	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点 	<p>ら記録用紙に記録し考察を行う。その際、活動の羅列だけではなく、課題を見つけ、次週での具体的対応策を考える。 (30分)</p>	
16	<p>学校の要請に応じたボランティア活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点 	<p>指導・支援結果について、提示された視点から記録用紙に記録し考察を行う。その際、活動の羅列だけではなく、課題を見つけ、次週での具体的対応策を考える。 (30分)</p>	
17	<p>学校の要請に応じたボランティア活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点 	<p>指導・支援結果について、提示された視点から記録用紙に記録し考察を行う。その際、活動の羅列だけではなく、課題を見つけ、次週での具体的対応策を考える。 (30分)</p>	
18	<p>学校の要請に応じたボランティア活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点 	<p>指導・支援結果について、提示された視点から記録用紙に記録し考察を行う。その際、活動の羅列だけではなく、課題を見つけ、次週での具体的対応策を考える。 (30分)</p>	
19	<p>学校の要請に応じたボランティア活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点 	<p>指導・支援結果について、提示された視点から記録用紙に記録し考察を行う。その際、活動の羅列だけではなく、課題を見つけ、次週での具体的対応策を考える。 (30分)</p>	
20	<p>学校の要請に応じたボランティア活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点 	<p>指導・支援結果について、提示された視点から記録用紙に記録し考察を行う。その際、活動の羅列だけではなく、課題を見つけ、次週での具体的対応策を考える。 (30分)</p>	
21	<p>学校の要請に応じたボランティア活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点 	<p>指導・支援結果について、提示された視点から記録用紙に記録し考察を行う。その際、活動の羅列だけではなく、課題を見つけ、次週での具体的対応策を考える。 (30分)</p>	
22	<p>学校の要請に応じたボランティア活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点 	<p>指導・支援結果について、提示された視点から記録用紙に記録し考察を行う。その際、活動の羅列だけではなく、課題を見つけ、次週での具体的対応策を考える。 (30分)</p>	
23	<p>学校の要請に応じたボランティア活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点 	<p>指導・支援結果について、提示された視点から記録用紙に記録し考察を行う。その際、活動の羅列だけではなく、課題を見つけ、次週での具体的対応策を考える。 (30分)</p>	
24	<p>学校の要請に応じたボランティア活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点 	<p>指導・支援結果について、提示された視点から記録用紙に記録し考察を行う。その際、活動の羅列だけではなく、課題を見つけ、次週での具体的対応策を考える。 (30分)</p>	
25	<p>学校の要請に応じたボランティア活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点 	<p>指導・支援結果について、提示された視点から記録用紙に記録し考察を行う。その際、活動の羅列だけではなく、課題を見つけ、次週での具体的対応策を考える。 (30分)</p>	
26	<p>学校の要請に応じたボランティア活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 	<p>指導・支援結果について、提示された視点から記録用紙に記録し考察を行う。その際、活動の羅列だけではなく、課題を見つけ、次週での具体的対応策を考える。 (30分)</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	・生徒指導の視点	での具体的対応策を考える。 (30分)	
27	学校の要請に応じたボランティア活動 ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点	指導・支援結果について、提示された視点から記録用紙に記録し考察を行う。その際、活動の羅列だけではなく、課題を見つけ、次週での具体的対応策を考える。 (30分)	
28	学校の要請に応じたボランティア活動 ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点	指導・支援結果について、提示された視点から記録用紙に記録し考察を行う。その際、活動の羅列だけではなく、課題を見つけ、次週での具体的対応策を考える。 (30分)	
29	前期活動を振り返っての発表(前半)	小学校で行ったボランティアの成果と課題をレジュメにまとめ提出する。(30分)	
30	前期活動を振り返っての発表(後半)	小学校で行ったボランティアの成果と課題をレジュメにまとめ提出する。(30分)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： JISS4

授業形態： 実習

科目名： 学校支援ボランティア

担当教員： 峯 寛文(MINE Hirofumi), 織田 幸美(ODA Yukimi)

【授業の紹介】

3年生で教育実習を実施する前段階として、学校現場で教育活動への理解を深め、児童への接し方、指導・支援のあり方を体験し、学ぶことを目的としています。

香川県内の要請のあった小学校等に出向き、児童と共に活動したり、教師の仕事を手伝ったりして、学校教育活動の補助を行います。そうした中で、得られる様々な実感や体感を通して、本学部カリキュラム・ポリシーに掲げる「教育者・保育者に求められる使命感・倫理観の涵養」等をめざすものです。

この授業ではGoogle classroom(クラスコード：sc2fzna)を使用し、必要に応じてICTを活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	1. 教育・保育に携わる者に求められる高い使命感・倫理観や豊かな心を持っている。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	発達科学部	使命感・倫理観	4
		専門的知識と実践力	6

【到達目標】

1. 学校現場での実践を通して、使命感や倫理観に基づく判断・行動等、教員に求められる資質や能力を身に付けることができる。
2. 子どもの特性や発達への理解を深め、教育活動に必要な知識技能を習得できる。

【成績の評価】

活動への参加状況及び意欲と態度(60%)、支援・援助記録(20%)、報告会の資料作成、参加態度(20%)で評価。支援・援助記録、報告資料の添削、報告会を講評して、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

学校支援ボランティアQ&A (平成29年 高松大学)

【参考文献】

随時紹介、資料として配布する。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は実務経験のある教員による授業科目です。担当教員が小学校で勤務した経験を活かし、授業や巡回指導等において指導・助言を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	前期のボランティア活動の振り返り（具体策の作成・検討）	前期活動の成果と課題から、後期の目標及び課題解決に迫る具体策を考えレジュメにまとめ提出する。（30分）	
2	前期のボランティア活動の振り返り（後期の目標と具体策の発表）	前期活動の成果と課題から、後期の目標及び課題解決に迫る具体策を考えレジュメにまとめ提出する。（30分）	
3	学校等との打ち合わせ（後期の活動計画、活動学年・学級、日程調整等）	次の点に留意し記録用紙に記録する。（30分） ・自らのテーマに照らし目標達成のための手立て等を考え、今後の支援や援助に生かす。 ・支援や援助を行った結果について、記録のみに留まることなく、背景や意図を探り、分析・考察する習慣を身に付ける。 ・日常的に子どもの言動に注意し、メモを取	
4	学校の要請に応じたボランティア活動 ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点	次の点に留意し記録用紙に記録する。（30分） ・自らのテーマに照らし目標達成のための手立て等を考え、今後の支援や援助に生かす。 ・支援や援助を行った結果について、記録のみに留まることなく、背景や意図を探り、分析・考察する習慣を身に付ける。 ・日常的に子どもの言動に注意し、メモを取	
5	学校の要請に応じたボランティア活動 ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点	次の点に留意し記録用紙に記録する。（30分） ・自らのテーマに照らし目標達成のための手立て等を考え、今後の支援や援助に生かす。 ・支援や援助を行った結果について、記録のみに留まることなく、背景や意図を探り、分析・考察する習慣を身に付ける。 ・日常的に子どもの言動に注意し、メモを取	
6	学校の要請に応じたボランティア活動 ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点	次の点に留意し記録用紙に記録する。（30分） ・自らのテーマに照らし目標達成のための手立て等を考え、今後の支援や援助に生かす。 ・支援や援助を行った結果について、記録のみに留まることなく、背景や意図を探り、分析・考察する習慣を身に付ける。 ・日常的に子どもの言動に注意し、メモを取	
7	学校の要請に応じたボランティア活動 ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点	次の点に留意し記録用紙に記録する。（30分） ・自らのテーマに照らし目標達成のための手立て等を考え、今後の支援や援助に生かす。 ・支援や援助を行った結果について、記録のみに留まることなく、背景や意図を探り、分析・考察する習慣を身に付ける。 ・日常的に子どもの言動に注意し、メモを取	
8	学校の要請に応じたボランティア活動 ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点	次の点に留意し記録用紙に記録する。（30分） ・自らのテーマに照らし目標達成のための手立て等を考え、今後の支援や援助に生かす。 ・支援や援助を行った結果について、記録のみに留まることなく、背景や意図を探り、分析・考察する習慣を身に付ける。 ・日常的に子どもの言動に注意し、メモを取	
9	学校の要請に応じたボランティア活動 ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点	次の点に留意し記録用紙に記録する。（30分） ・自らのテーマに照らし目標達成のための手立て等を考え、今後の支援や援助に生かす。 ・支援や援助を行った結果について、記録のみに留まることなく、背景や意図を探り、分析・考察する習慣を身に付ける。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		る習慣を付け、児童理解に努める。	
10	学校の要請に応じたボランティア活動 ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点	次の点に留意し記録用紙に記録する。(30分) ・自らのテーマに照らし目標達成のための手立て等を考え、今後の支援や援助に生かす。 ・支援や援助を行った結果について、記録のみに留まることなく、背景や意図を探り、分析・考察する習慣を身に付ける。 ・日常的に子どもの言動に注意し、メモを取	
11	学校の要請に応じたボランティア活動 ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点	次の点に留意し記録用紙に記録する。(30分) ・自らのテーマに照らし目標達成のための手立て等を考え、今後の支援や援助に生かす。 ・支援や援助を行った結果について、記録のみに留まることなく、背景や意図を探り、分析・考察する習慣を身に付ける。 ・日常的に子どもの言動に注意し、メモを取	
12	学校の要請に応じたボランティア活動 ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点	次の点に留意し記録用紙に記録する。(30分) ・自らのテーマに照らし目標達成のための手立て等を考え、今後の支援や援助に生かす。 ・支援や援助を行った結果について、記録のみに留まることなく、背景や意図を探り、分析・考察する習慣を身に付ける。 ・日常的に子どもの言動に注意し、メモを取	
13	学校の要請に応じたボランティア活動 ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点	次の点に留意し記録用紙に記録する。(30分) ・自らのテーマに照らし目標達成のための手立て等を考え、今後の支援や援助に生かす。 ・支援や援助を行った結果について、記録のみに留まることなく、背景や意図を探り、分析・考察する習慣を身に付ける。 ・日常的に子どもの言動に注意し、メモを取	
14	学校の要請に応じたボランティア活動 ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点	次の点に留意し記録用紙に記録する。(30分) ・自らのテーマに照らし目標達成のための手立て等を考え、今後の支援や援助に生かす。 ・支援や援助を行った結果について、記録のみに留まることなく、背景や意図を探り、分析・考察する習慣を身に付ける。 ・日常的に子どもの言動に注意し、メモを取	
15	学校の要請に応じたボランティア活動 ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点	次の点に留意し記録用紙に記録する。(30分) ・自らのテーマに照らし目標達成のための手立て等を考え、今後の支援や援助に生かす。 ・支援や援助を行った結果について、記録のみに留まることなく、背景や意図を探り、分析・考察する習慣を身に付ける。 ・日常的に子どもの言動に注意し、メモを取	
16	学校の要請に応じたボランティア活動 ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点	次の点に留意し記録用紙に記録する。(30分) ・自らのテーマに照らし目標達成のための手立て等を考え、今後の支援や援助に生かす。 ・支援や援助を行った結果について、記録のみに留まることなく、背景や意図を探り、分析・考察する習慣を身に付ける。 ・日常的に子どもの言動に注意し、メモを取	
17	学校の要請に応じたボランティア活動 ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点	次の点に留意し記録用紙に記録する。(30分) ・自らのテーマに照らし目標達成のための手立て等を考え、今後の支援や援助に生かす。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		みに留まることなく、背景や意図を探り、分析・考察する習慣を身に付ける。 ・日常的に子どもの言動に注意し、メモを取る習慣を付け、児童理解に努める。	
18	学校の要請に応じたボランティア活動 ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点	次の点に留意し記録用紙に記録する。(30分) ・自らのテーマに照らし目標達成のための手立て等を考え、今後の支援や援助に生かす。 ・支援や援助を行った結果について、記録のみに留まることなく、背景や意図を探り、分析・考察する習慣を身に付ける。 ・日常的に子どもの言動に注意し、メモを取	
19	要学校の請に応じたボランティア活動 ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点	次の点に留意し記録用紙に記録する。(30分) ・自らのテーマに照らし目標達成のための手立て等を考え、今後の支援や援助に生かす。 ・支援や援助を行った結果について、記録のみに留まることなく、背景や意図を探り、分析・考察する習慣を身に付ける。 ・日常的に子どもの言動に注意し、メモを取	
20	学校の要請に応じたボランティア活動 ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点	次の点に留意し記録用紙に記録する。(30分) ・自らのテーマに照らし目標達成のための手立て等を考え、今後の支援や援助に生かす。 ・支援や援助を行った結果について、記録のみに留まることなく、背景や意図を探り、分析・考察する習慣を身に付ける。 ・日常的に子どもの言動に注意し、メモを取	
21	学校の要請に応じたボランティア活動 ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点	次の点に留意し記録用紙に記録する。(30分) ・自らのテーマに照らし目標達成のための手立て等を考え、今後の支援や援助に生かす。 ・支援や援助を行った結果について、記録のみに留まることなく、背景や意図を探り、分析・考察する習慣を身に付ける。 ・日常的に子どもの言動に注意し、メモを取	
22	学校の要請に応じたボランティア活動 ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点	次の点に留意し記録用紙に記録する。(30分) ・自らのテーマに照らし目標達成のための手立て等を考え、今後の支援や援助に生かす。 ・支援や援助を行った結果について、記録のみに留まることなく、背景や意図を探り、分析・考察する習慣を身に付ける。 ・日常的に子どもの言動に注意し、メモを取	
23	学校の要請に応じたボランティア活動 ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点	次の点に留意し記録用紙に記録する。(30分) ・自らのテーマに照らし目標達成のための手立て等を考え、今後の支援や援助に生かす。 ・支援や援助を行った結果について、記録のみに留まることなく、背景や意図を探り、分析・考察する習慣を身に付ける。 ・日常的に子どもの言動に注意し、メモを取	
24	学校の要請に応じたボランティア活動 ・環境整備の視点 ・学習指導の視点 ・生徒指導の視点	次の点に留意し記録用紙に記録する。(30分) ・自らのテーマに照らし目標達成のための手立て等を考え、今後の支援や援助に生かす。 ・支援や援助を行った結果について、記録のみに留まることなく、背景や意図を探り、分析・考察する習慣を身に付ける。 ・日常的に子どもの言動に注意し、メモを取	
25	管理職との面談（活動報告）	校長、教頭等からの指導助言を記録用紙にま	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		とめる。(30分)	
26	管理職との面談（指導助言）	校長、教頭等からの指導助言を記録用紙にまとめる。(30分)	
27	後期の活動を振り返って ・活動記録の整理と成果と呼び課題の考察	報告会の原稿及びプレゼン資料の作成(1時間)	
28	後期の活動を振り返って(発表)	報告会の原稿及びプレゼン資料の作成(1時間)	
29	まとめ 報告会（前半）	報告会での質問を想定したQ & A作り(30分)	
30	まとめ 報告会（後半）	報告会での質問を想定したQ & A作り(30分)	
	定期試験(実施しない)		